

対象プロジェクト名	ネットワーク拡大プロジェクト
個別プロジェクト名	P P P 意識調査
資料名	公民連携意識調査報告書（2007）
年度	2007年度
年月日	2007.

公民連携意識調査報告書

東京都千代田区一番町10 相模屋第2ビル5F
Forum for Development Strategies 合同会社
代表 サム 田渕

記

I 内容

II まとめ報告書

III ヒヤリング報告書

以上

I 内容

仕様項目	仕様内容	納品内容
調査対象	<p>○地方自治体・民間企業の計200機関以上</p> <p>○本調査目的の達成に資する対象を選定</p> <p>○PPPに関する活動を行っている産業（建設、不動産、コンサルタント、メーカー、金融、情報・マスコミ、各業界団体など）の中から選定</p>	<p>○ヒヤリング先は、各地での講演会等への参加者、大学事務局が予め協力が可能と推測した方といたしました。</p> <p>○学生、教育、金融、国、経済団体、建設、コンサルタント、自治体、議員、市民団体、商社・サービス、製造・エンジニアリング、不動産、メディアに分類しました。</p> <p>○自治体に関しては、地方圏と都市圏、トップと職員に分類しました。</p> <p>○将来のPPP市場の発展を予測するため、学生、市民団体、メディアを追加しました。</p> <p>○同一組織でも部署・肩書によりPPPに対する姿勢に優位な差のある場合は別機関としてカウントいたしました。</p> <p>○有効ヒヤリング数は256でした。</p>
ヒヤリング項目	PPPの現状（特に海外におけるもの）に対する紹介を行う	○講演会等を含め、各人に、資料を用いて最低でも10分以上の説明を行った。多くは、サンディ・スプリングスの包括民間委託のケース、ビスケイン・ランディングPPPのプロジェクトを紹介しました。
	<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識</p>	○各人に聴取いたしました。対象の知識レベルが区々であることから状況に応じて臨機応変に対応いたしました。
	なし	○専攻事務局からの依頼に基づき、「東洋大学への期待」として、東洋大学の研究、教育、社会貢献活動への期待を聴取しました。

総合評価	なし	○専攻事務局からの依頼に基づき、回答者のPPPに対する姿勢や将来性をS～Dにて評価しました。
------	----	--

なお、ヒヤリング内容は機関内の機微に触れるもの、また個人情報に属するものも多く、具体的な機関名、回答者名は匿名にすることを前提に聴取いたしました。したがって、本報告書においては、匿名扱いにて表記いたしております。

II まとめ報告書

今回は階層属性を、学生、教育、金融、国、経済団体、建設、コンサルタント、自治体職員地方圏、自治体職員都市圏、自治体トップ地方圏、自治体トップ都市圏、議員、市民団体、商社・サービス、製造・エンジニアリング、不動産、メディアに分類した。この分類は、自治体職員が PPP にアプローチする際にコンタクトする民間企業の産業分類におおむね沿ったものである。この分類自体は有用であるため、並行して実施した PPP ポータルサイトの制作においても機関別リストの掲載においては、同様の分類を採用した。

ヒヤリング総数は 256 である。対象は図表 1 の通りである。評価欄は、回答者の PPP に対する姿勢や将来性に関して、S,A,B,C,D の順で評価した。S は「すでに修得している」、A は「かなり修得しているが発展の余地がある」、B は「修得中であり発展が期待される」、C は「かなり原始的であり修得には努力を要する」、D は「意識が異なっており相容れない」である。

図表 1 ヒヤリング総括表

評価	S	A	B	C	D	合計
学生		6	14	1	1	22
議員			3			3
教育		2	2			4
金融	1	1	1			3
国		2				2
経済団体		3	2	1		6
建設	3	3	3			9
コンサルタント	1	13	4	1		19
自治体職員地方圏		15	68	19	3	105
自治体職員都市圏	1	10	7	3		21
自治体トップ地方圏	2	1		1	1	5
自治体トップ都市圏	4	2				6
市民団体		2	3			5
商社・サービス	1	14	11			26
製造・エンジニアリング		4	4	3		11
不動産	2	3	1			6
メディア	1	1	1			3
合計	16	82	124	29	5	256

ヒヤリング形態は、個別もしくは講演会形式としたが、いずれの場合も 10 分以上の解説を行い PPP の概念を説明した上で質問を行った。逆に質問を受ける形でのやりとりの中で、質問者の評価を行ったものもある。ヒヤリングにあたっては、米国 PPP の最先端事例

であるサンデイ・スプリングスの完全 PPP 化の情報を提供した。また、場合により、廃棄物処分場を 200 年リースで民間に使用させているビスケイン・ランディングの情報も併せて提供した。下記の評価はその反応を踏まえたものである。(提示したサンデイ・スプリングスの情報は図表 2 の通りである)

図表 2 ヒヤリング時に提供したサンデイ・スプリングスの情報

サンデイ・スプリングス市は、米国ジョージア州アトランタ市に北部に隣接する人口約 9 万 9 千人の地域である。

行政的にはアトランタ市南部地域を含めてフルトン郡に属している。この住民は長年にわたって、郡からの自立を要望していたが、ジョージア州の上院、下院、知事が市場原理導入に寛容な共和党となったことが契機となり、2005 年 3 月、市制化法案がジョージア州議会で可決された。ちなみに、米国では、住民による自発的な行政サービスの確保のため、地方団体を創設することができる。ただし、設立には法律(州法)による州の合意が必要となる。

2005 年 6 月、市制化についての住民投票が実施され、実に 94% が賛成票を投じた。郡による公共サービス提供に不満を持ち、新しい形態での公のあり方が求められていたことがわかる。州は、同住民に対して市制施行に向けた委員会を設置する。元 AT&T 役員で企業経営に長年の経験を持っていたオリバー・ポーター氏が同委員会議長となったが、彼に与えられた時間はわずか 6 ヶ月であった。6 ヶ月以内に市民に満足のいくサービスを実行する体制を整えることが要求されたのである。早速、テーマごとに細分化された住民ボランティアによる委員会が多数組織され、それぞれの検討を行った結果、民間企業への全面委託方式を選択することになった。米国における通常の市の業務をすべて民間に委託するものであるが、公権力の性格が非常に強い緊急事業として警察・消防は除外されている。

市の業務とは、都市計画、地域開発などであり、教育や保健福祉は郡の事業となっている。したがって、日本の市よりは狭い担当範囲となっている。いずれにせよ、これらの業務の実施が民間企業に委ねられた。日本ではこうしたケースも“民営化”と呼称することがあるが、米国では、市が資産を保有し税収から契約料を支払うため民営化とは明確に区別して PPP と呼んでいる。

競争性を保つために民間企業は公募された。その結果、最終的に 3 社が残り、その中でもっとも持続性が高いと評価された CH2M HILL OMI 社が選定された。ちなみに、選定基準の 25% は事業主体の継続への信頼性があてられ、同社の財務やファイナンスが詳細に審査されたという。CH2M HILL OMI 社は、1946 年創業の全米有数の建設業で、全世界で 23,000 人の従業員数を有する CH2MHILL 社の子会社である。CH2M HILL OMI 社は、1980 年創業され、従業員数 1600 人。公共サービス、特に、下水道などの公益事業の運用・維持管理サービス、廃棄物浄化サービスなどの事業サービスを提供している。

公募手続きを経て 2005 年 12 月正式に市制が施行された。市長 1 名、議員 6 名が選挙で選ばれるとともに、市全体のプランを立て(シティ・マネージャー)、資金調達を行い(CFO)、民間会社との契約を履行させる目的のために市職員が雇用された。現在、市長部局の職員は 4 名(シティ・マネージャ次席を追加)、このほか、通常と同公務員型の形態で、警察 120 人、消防 90 人が存在する。

一般事務を受託した CH2M HILL OMI 社からは 135 人の従業員が同市運営に参画している。内訳は、プログラム・ディレクター(幹部) 7 人、業務管理部 48 人(財政、歳入管理、人事管理、コールセンターなど)、地域開発部 44 人(計画・ゾーニング、建築・開発、規制管理)、公共事業部 23 人(交通計画、フィールドサービス、交通管理)、公園・レクリエーション 6 人、広報その他である。一般的に市の窓口やバックオフィスにいる職員が全員民間企業の職員になったと考えればよいだろう。

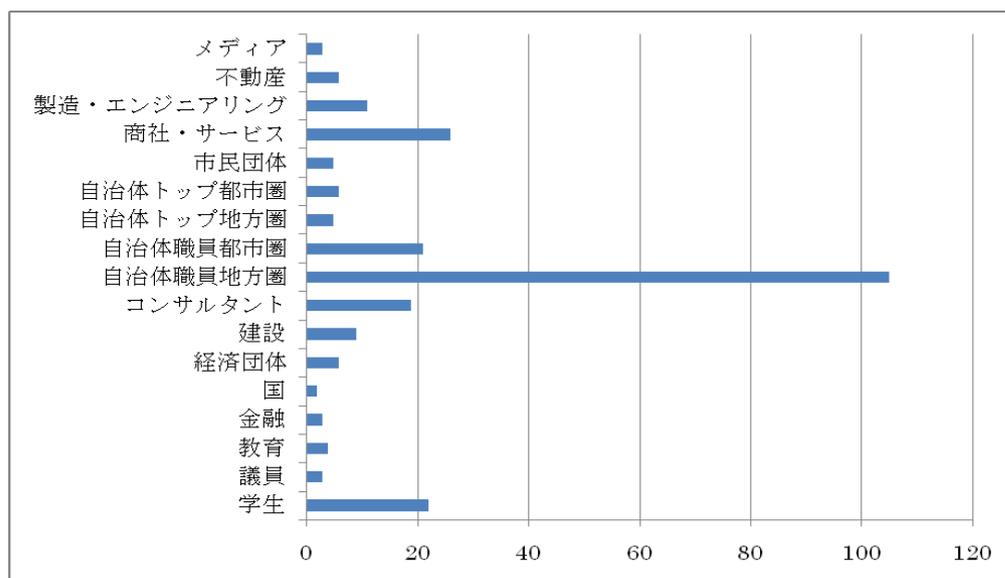
ちなみに、米国でも単独企業が所有する広大な土地に自治体格を持たせ、事実上当該企業が公共サービスを実施するケースはある。例えば、ウォルト・ディズニー・ワールドはディズニー社が所有する広大な土地の中に設立した自治体である。私有地とはいえ、州の規定に基づいたインフラ、自然保護などの義務は当然に及ぶが、課税権や予算議決支出権を有する独立自治体である。この場合、夢の国としてのディズニーの世界を維持するというきわめて私的な動機が背景にあることはもちろんであるが、その動機が法制

度と整合的に位置づけられているのである。

サンデイ・スプリングス市委託の効果として、同規模の市の予算に比べて半分以下の予算規模に効率化されたとの試算されている。元々市は存在していないため、同列の比較はできないが、同程度の人口規模の自治体と比較して算出されている。また、効率的な運営のため、収入自体も圧縮することが可能になり、米国の市の主要な税源である固定資産税に関しては税率が周囲の都市の半分以下に設定されている。こうした成果から周辺地域住民も自分たちの地域を市として独立させ、民経営に移行する人々が生じた。これがサンデイ・スプリングス同様に CH2M HILL OMI 社に委託する動きとなった。サンデイ・スプリングスのさらに北側に位置するジョーンズ・クリーク市 (65 千人)、ミルトン市 (20 千人)、そしてアトランタ市の南側のチャタフーチー・ヒル・カントリー市 (3 千人) である。

図表 3 は、カテゴリーごとの対象者数をグラフ化したものである。PPP 意識の喚起が必要な自治体職員を中心にヒヤリングを行ったため、自治体職員層が最多のサンプル数となっている。

図表 3 カテゴリーごとの対象者数 (人)

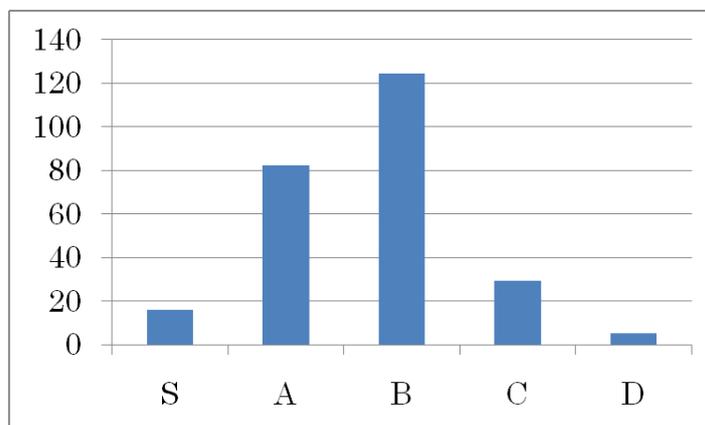


図表 4 は、S~D 評価の集計である。割合としては、S (6%)、A (32%)、B (48%)、C (11%)、D (2%) である。ちなみに、このうち、東洋大学がターゲットとするべきは A、B 層である。S はすでに支援のレベルを脱している。D は基本理念が相容れず議論しても平行線となる可能性が高い。C は意識レベルが低い状態であるが、支援次第で B、A と上昇する可能性があるが、覚醒の過程で D となる可能性もある。いずれにせよ、費用対効果の観点からは働きかけの対象としては劣後である。

結論として、A、B で 8 割を占めたことは PPP の将来性にとって特記すべきである。もともと、意識の高い階層に働きかけた上に、冒頭サンデイ・スプリングスの話をするという、

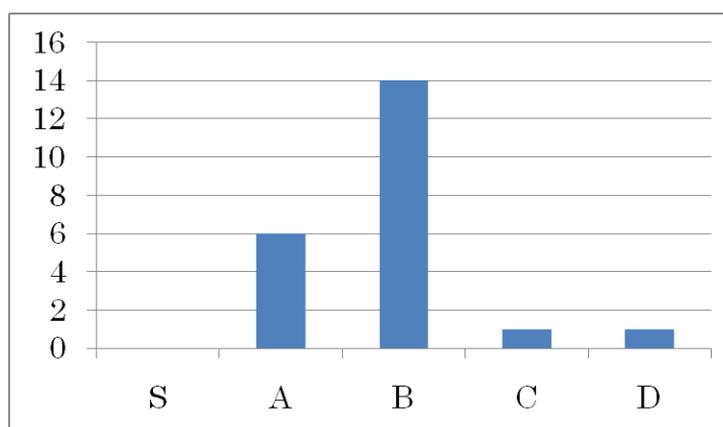
通常ではない対象者であったことは事実であるが、言い換えると、そうした働きかけを行えば、8割が主対象になりうるということである。今後の大きな示唆となったと考える。

図表4 評価の集計 (人)



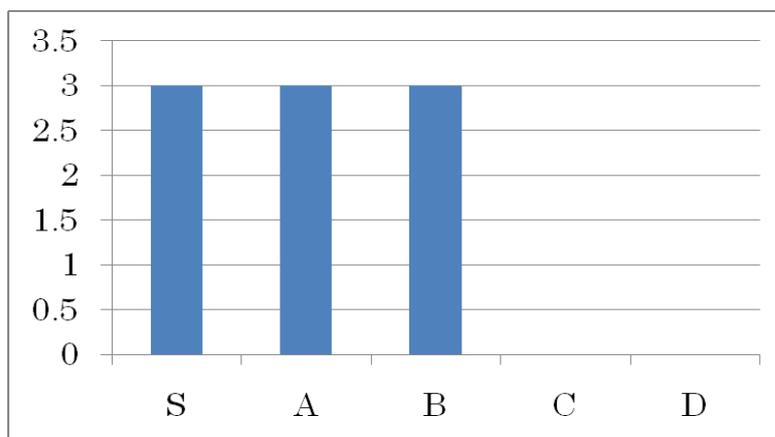
次いで、主要なカテゴリー別に評価を分類する。まず学生である。学生は、すでに予備知識のある東洋大学ではなく、早稲田、慶応、中央、明治などの学生で作る公共政策関係の研究サークルでの講演を通じて行った。予備知識が低い分Sは皆無であったが、A、B計で9割近い反応が得られている。学部生であっても十分関心を引きつけられることが分かった。

図表5 学生の評価の分類 (人)



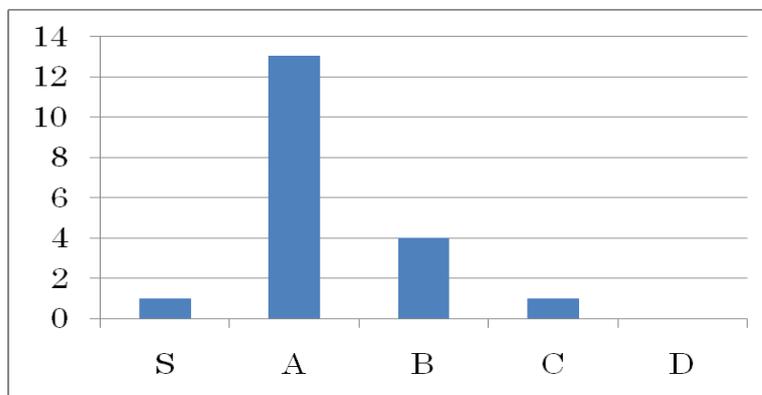
次いで建設である。建設は、S、A、Bが同数であった。建設業界は、PFI、指定管理者において、もっとも関連の深い産業である。中には得られた知見を積極的に外部に問うている者もあり、総じて非常に高い値を示している。また、C、Dがないという点も特筆すべきであろう。建設会社としてはPPPが不可欠な概念として認識されていることを示している。

図表6 建設の評価の推計（人）



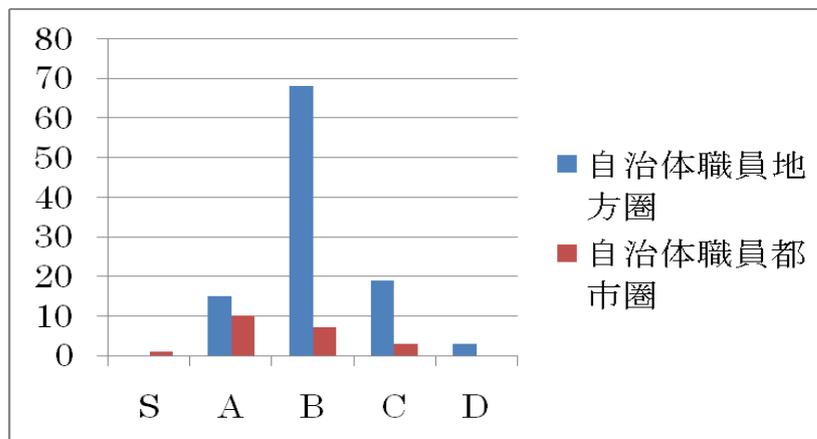
コンサルティング業界は回答者数の大きな産業である。少数ながら S、C が存在するが、大半は A、B である。また、B よりも A が多いことがこの業界の特徴となっている。主に自治体をアドバイスするこの業界の特筆からすれば、その理解度が高いのは当然といえるが、引き続き、PPP のけん引役となることが期待される。

図表7 コンサルタントの評価の推計（人）



図表8は、自治体職員を地方圏と都市圏に分類して表現したものである。実数自体が地方圏の方が多いが、特徴としては、都市圏の方が評価ランクが相対的に高い点である。都市圏には少数であるが S ランクも存在する。一方地方圏では C、D ランクも少なくない。PFI の浸透が都市部中心であり、その次の概念である PPP についても都市圏を中心に関心が高いことを示唆している。今後普及啓蒙を図るときの大きな特徴となっている。

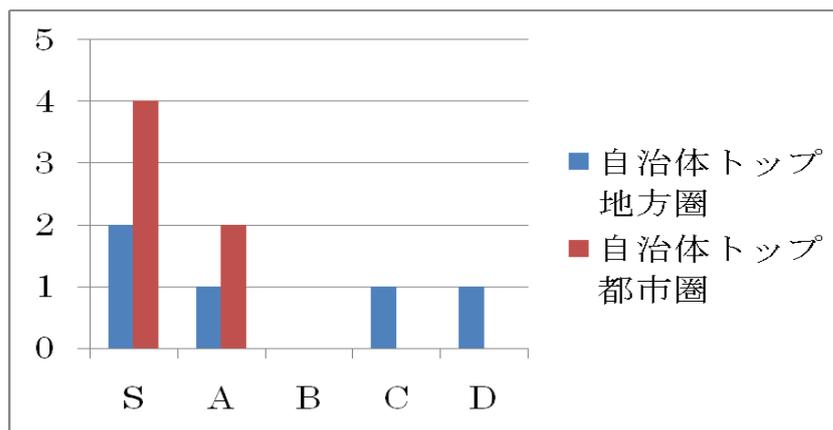
図表8 自治体職員の評価の推計（人）



また、図表には現れていないが、担当部局ごとの差はほとんど優位には見られなかった点も指摘しておく。当初は、民との関係に比較的馴染みの強い企画、観光、企業誘致等の分野での優位性が指摘しうると想定したが、結論としてはその傾向は確認できなかった。言い換えると、すべての部局に浸透しうることが示唆される（部局の明細は、総括表を参照）。

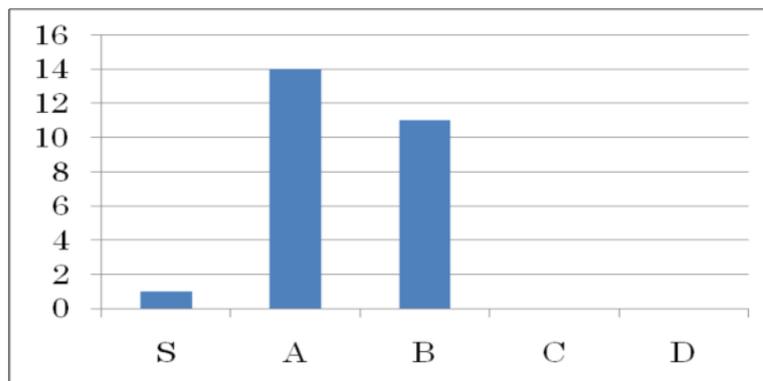
図表9は自治体トップの結果である。ここでいうトップとは、首長、元首長、準トップ（副市長など）を指している。これによると、地方圏同様、都市圏優位の傾向が現れている。ただし、サンプル数が少ないため統計的に優位とまでは言えない。

図表9 自治体トップの評価の推計（人）



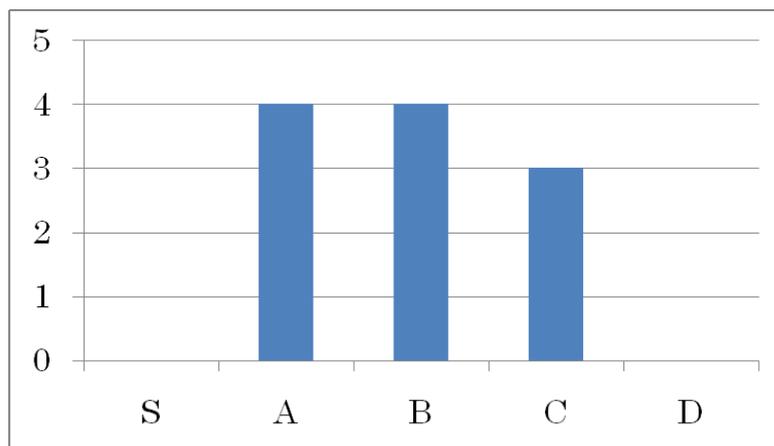
図表10は商社・サービスである。全体平均よりは上位に位置づけられている。これは、すでにPFI等に参入済の機関が多いことから、PPPへの関心も高いことが理由である。少数ながらS評価も存在する。

図表 1 0 商社・サービスの評価の推計（人）



図表 1 1 は、製造・エンジニアリングである。同業界は、相対的には劣位にある。図表 1 0 の商社・サービスの結果と比較するとその傾向が顕著である。これは、我が国の PPP が新設型の PFI よりも、既設型（したがって新しい機械等の搬入を伴わない）の業務委託や指定管理者制度の方が多数を占めていることと関係があるものと推測される。

図表 1 1 製造・エンジニアリング



以上から得られる結論を再整理すると、

- (1) ある程度の知識を持ち、さらに発展の余地のある階層が 8 割と太宗を占める。
- (2) 自治体では、トップ層、職員層の別を問わず、地方圏よりも都市圏の方が優位にある。
- (3) 業界別には、コンサルタント、建設、商社・サービス、製造・エンジニアリングの順に優位性が高い。
- (4) 学生は、職業人よりは低位であるが関心は高く、今後に期待がもてる。となろう。

上記作業によって明確となった点をまず整理する。

まず肯定的に評価される要素である。

第1は、業種や立場にかかわらず広い意味での PPP の概念自体は広く浸透している点である。既に日本では PFI、指定管理者などの PPP 手法が広く浸透し、少なくともこれらの概念はほとんどすべての対象者が知っていることから、その包括的な概念である PPP に関しても「知っている」という意識は高いものと推測される。

言い換えると、1999年に法律が導入された PFI、2003年に自治法改正で導入された指定管理者が、それぞれ数年を経過して実績が浸透するなかで、また、市場化テスト、地域再生、都市再生、構造改革特区、中心市街地再生など PPP に直接、間接に関わるさまざまな制度・手法が急激に導入されるにつれて、これらを通じる上位の概念である PPP に対する意識が高まってきたというべきであろう。

第2は、前提情報として提供したサンディ・スプリングス、ビスケイン・ランディング等の具体的な米国型 PPP プロジェクトを通じた PPP の効果に対する意識は、ほとんどの対象が衝撃を受け、その具体的な内容や発展可能性に対して関心をいただいたことである。

前者は公共サービスの包括的な委託という公共サービス型 PPP の将来像として、また、後者は、廃棄物処分場跡地を再開発するため土壤汚染リスクを移転させないための超長期リースの形態をとった公有地活用型 PPP の将来像として画期的なものである。その画期性が、閉塞感のある日本の PPP に対して一筋の光として位置づけられたのではないかと考えられる。

ごく一部に、その画期性を評価せず、別世界の話として捉えている対象も散見されたが、これらは新しい情報の摂取自体に抵抗を示す階層であり、いかなる方策を持ってしても対策は困難である。しかしながら、今回の対象に関する限りそうした階層はごく少数であり、肯定的に捉えてよいものと考えられる。

第3は、比較的知識の高い階層においてありうると思われる自分がなじんだ手法に関する否定的な要素がさほど見られなかった点である。ともすれば、PFI ではうまくいっている、あらためて米国の PPP を学ぶ必要はない、PPP も既に知っているという自信過剰の反応があるものと予測していたが、全くといっていいほど見られなかった。

これは、前記同様に PFI や指定管理者制度の定着により PPP の可能性が評価されている中で、それらの問題を解決するために発展型を学びたいという意識があるのではないかと考えられる。そういう意味では、PFI 導入期に見られた手放しの礼賛と教条主義的な抵抗論のいずれも姿を消し、実務的に冷静な議論を展開することが可能となったのではないかと考えられる。

以上の通り、今回の調査は、PPP に耳を傾け受容しようとするステージに十分到達していることをうかがわせる結果となっている。

次に、ヒヤリングを通じて発見された PPP の発展のために障害となる要素を列挙する。

第 1 は、公務員に多数見られた PPP の結果としての行政の仕事の縮小、公務員の雇用機会の減退に対する懸念である。多くの場合、第三者的な表現をとって懸念を表明していることになっているが、その実は自らの雇用への心配であることが多いものと推測される。この点は、数は少ないとはいえ民間からも指摘されたことは印象的であった。A76 などの雇用確保法制の整備が必要となる可能性が高い。

第 2 は、地方圏に多い反応として、東京では可能でも地方では無理と考える傾向である。PPP は民間の市場原理を大切にす概念であり、その市場原理が需要の大きさに依存している以上、地方圏では難しいという反応はある程度予測されていた。もちろん、非常にローカルでありながら、地方圏でも十分に取り入れるべきとする積極的な階層が存在したことも指摘しておくべきであろう。

第 3 は、PPP の概念の曖昧さに対する嫌悪感である。PFI や指定管理者は根拠法が存在し、その概念は逐一定義され議論を厳密に展開することが可能である。しかしながら、PPP はケースバイケースの独特な手法の創造にその本質があるため、多くの場合曖昧で実現性に欠けるという印象を与えることがある。ただし一方では斬新な発想を旨とする PPP の導入に当たっては、型にはめる発想自体を捨てる必要があるとの回答もみられたことも指摘しておく。

第 4 は、日本では無理という漠然とした抵抗感である。公権力の行使、法令上の問題など具体的な問題を指摘した者もあったが、「首長が」、「市民が」、「議会が」と理由を挙げる回答が多かった。これらは、いずれも他者に責任を転嫁する傾向でもある。第 1 のパターン同様、本音では自分自身が納得していない場合こうした反応を示すのではないかと想像される。だが、これらは現実を直視しない極めて無責任な反応でもある。言い換えると、真実を知り道筋を提示することで、推進の大きな原動力ともなりうると推察する。

これらの課題を克服し、わが国の PPP の普及を図るために何をすべきか？ 本報告書では、以下の 11 項目の具体的な薦め方を提案する。

(1) 自治体院生の拡大

PPP の推進に大きな影響を与えるのは自治体そのものであることは、自治体職員のみならず、民間からも多数の回答を得ている。自治体職員こそ主たる教育対象として傾注すべきである。今後強力な院生確保策を講じる必要がある。

(2) 遠隔地での研修、講義、遠隔地の院生の積極的な勧誘

特に重要なターゲットは、地方圏の自治体職員である。ヒヤリング結果からも都市圏と比べて地方圏の劣位が明らかとなっている。また、PPP 自体を知らなかったという階層が相当程度存在することも予測される。したがって、院生勧誘の前に遠隔地での研修、講義を積極的に推進する必要がある。

(3) 地域再生プロジェクトによる具体的な実習の場の確保

観念的には理解できても、具体的に実地の場で経験しないと理解できないのではないかと。ヒヤリング結果としても米国の事例としては理解できるが・・・との回答が散見された。すでに開始している地域再生プロジェクトによる具体的な実習の場をさらに充実して確保する必要がある。

(4) 首長ネットワークの創設

自治体トップに関しては S~D までばらつきが生じた。これは、判断に迅速性が求められる立場として立場を直ちに鮮明にしたという背景があろう。D 評価は厳しいが、言い換えるとネガティブな評価といえどもいったんは検討の遡上に乗せたことも確かである。厳しい評価者は得てして第三者からの意見に耳を傾けない傾向があり、これを打破するためには、立場の同じ首長同士の口コミ情報が有効と考えられる。そのため、ゲスト講師として招聘した首長を対象とする PPP に関する首長ネットワークの創設が有効と考えられる。

(5) 包括的な挑戦を行う特定自治体への集中的な工数投入

断片的な PPP にはなじめてもサンデイ・スプリングスの包括方式には衝撃を受けた

のが一般的である。この衝撃が薄れないうちに日本での PPP をさらに進める必要がある。ただし、上記通り観念的な進め方には限界があることから、実地が必要である。地域再生支援プログラムと連携して、包括的な挑戦を行う特定自治体への集中的な工数投入を行う必要がある。

(6) 米国での世界の PPP 事情の研修の受講

少数であったが PPP の体系的な修得を求める回答があった。これは多くの関係者からも求められているのではないだろうか。これには、日本で構築するよりもすでにプログラム化されている米国において世界の PPP 事情の研修の受講を進めることが必要と考えられる。

(7) 東洋大学関係者の首長選挙への出馬

本専攻の主目的は PPP を実践できる人材の育成である。我が国の現在の制度にあつては、PPP の決定権は官に存在することは言うまでもない。とすれば、もっとも PPP の実践に必要な立場は首長であり、その立場につく人材を育成することが専攻の目標でもあろう。積極的にその道を明示することで、指向性の高い院生を集めることも必要だろう。

(8) 自治体の PPP 度の客観的な評価と公開

自治体が PPP の発展の鍵であると同時に、障害となることも数多く指摘された。自治体を動かす方策として PPP 度の客観的な評価と公開を提案する。PPP プロジェクトの件数等のわかりやすい指標もありうるが、より実益のあるのは、公会計制度の本格化に伴う原価会計の詳細度ではないかと考えられる。詳細情報は施設単位、事業単位で判断できる必要があろう。

(9) PPP デザイナーの資格制度の創設

PPP の有用性を社会的に認識させるためには形式知化する必要がある。それは言い換えると資格や検定方式の採用となる。PPP の必要性は認識されても、そのための人材が確かに PPP として有能かどうかを表現するのは資格や検定によるしかない。いわば情報の非対称性を是正するためのシグナリングの役割を果たす。名称は、PPP デザイナーとすることを提案する。なぜならば、PPP は論理的に導くものと言うよりも全体を見渡し直ちに正解にたどり着けるセンスを要求するからである。これは、

アートの領域（フランク・シュニッドマン フロリダ・アトランティック大学教授）であり、デザイナーと表現すべきであろう。

（10）PPP アワード制度の創設

米国において PPP の普及に大きな効果をもたらしているのが米国 PPP 協会が毎年発表している PPP アワードである。サンデイ・スプリングスに世界の注目が集まったのもこのアワードを受賞したためである。いまだ、案件数の少ない日本の PPP であるが、部分的に注目されるケースは少なくない。本ヒヤリングでも名前の出た我孫子市の提案型公共サービス民営化制度などは、その代表的な事例であろう。

（11）国の PPP 機関の統一

周知の通り、現在国の PPP 関連機関は総務省、内閣府等に分散している。それぞれの中でも担当部局が異なる縦割り状況にある。この縦割りの意識は都道府県、市区町村においても存在し、ある担当は他の制度を知らないという恐るべき事態を招来している。このことはある事業を行う上で最適の手法が選択されないことを意味している。国の分担とは別に自治体側が自由に選択することが望ましいし、実際にそれが求められているが、現実には国の担当に併せて自治体内でも縦割りにされてしまうことが多いと考えられる。この意識を払拭するためには国の PPP 機関の統一が必要であり、その働きかけを最も有効にしうる立場である本専攻が積極的に活動すべきである。

Ⅲ ヒヤリング報告書

整理番号	カテゴリー	所属・肩書	名前	評価
1	自治体トップ地方圏			S
2	自治体トップ地方圏			C
3	自治体トップ地方圏			D
4	自治体トップ地方圏			S
5	金融			A
6	メディア			A
7	教育			B
8	議員			B
9	自治体職員都市圏			A
10	経済団体			B
11	議員			B
12	建設			B
13	市民団体			B
14	コンサルタント			B
15	コンサルタント			A
16	建設			B
17	コンサルタント			A
18	建設			B
19	製造・エンジニアリング			A
20	コンサルタント			A
21	コンサルタント			A
22	コンサルタント			A
23	商社・サービス			B
24	経済団体			C
25	製造・エンジニアリング			B
26	建設			A
27	市民団体			B
28	自治体			C
29	自治体			C
30	経済団体			B
31	製造・エンジニアリング			C
32	自治体			B
33	金融			B
34	コンサルタント			B
35	自治体			B
36	自治体			B
37	製造・エンジニアリング			A
38	自治体職員地方圏			B

39	自治体職員地方圏		B
40	自治体職員地方圏		B
41	自治体職員地方圏		B
42	自治体職員地方圏		B
43	自治体職員地方圏		C
44	自治体職員地方圏		C
45	自治体職員地方圏		C
46	自治体職員地方圏		B
47	自治体職員地方圏		B
48	自治体職員地方圏		C
49	自治体職員地方圏		C
50	自治体職員地方圏		B
51	自治体職員地方圏		B
52	自治体職員地方圏		B
53	自治体職員地方圏		B
54	製造・エンジニアリング		C
55	自治体職員地方圏		B
56	自治体職員地方圏		D
57	自治体職員地方圏		D
58	自治体職員地方圏		D
59	自治体職員地方圏		C
60	教育		A
61	自治体職員地方圏		B
62	自治体職員地方圏		B
63	自治体職員地方圏		B
64	自治体職員地方圏		C
65	自治体職員地方圏		B
66	製造・エンジニアリング		B
67	自治体職員地方圏		B
68	自治体職員地方圏		B
69	自治体職員地方圏		C
70	自治体職員地方圏		B
71	教育		A
72	商社・サービス		B
73	自治体職員地方圏		A
74	自治体職員地方圏		A
75	自治体職員地方圏		B
76	自治体職員地方圏		B
77	自治体職員地方圏		B
78	商社・サービス		B
79	自治体職員地方圏		B
80	商社・サービス		A

81	製造・エンジニアリング		A
82	商社・サービス		A
83	経済団体		A
84	自治体職員地方圏		B
85	商社・サービス		B
86	自治体職員地方圏		A
87	自治体職員地方圏		A
88	自治体職員地方圏		B
89	自治体職員地方圏		A
90	自治体職員地方圏		B
91	自治体職員地方圏		B
92	自治体職員地方圏		B
93	自治体職員地方圏		B
94	自治体職員地方圏		B
95	自治体職員地方圏		C
96	自治体職員地方圏		B
97	自治体職員地方圏		B
98	自治体職員地方圏		C
99	自治体職員地方圏		A
100	自治体職員地方圏		B
101	自治体職員地方圏		A
102	自治体職員地方圏		B
103	自治体職員地方圏		A
104	商社・サービス		A
105	商社・サービス		B
106	自治体職員地方圏		B
107	自治体職員地方圏		B
108	自治体職員地方圏		B
109	自治体職員地方圏		B
110	商社・サービス		A
111	自治体職員地方圏		B
112	製造・エンジニアリング		B
113	製造・エンジニアリング		B
114	コンサルタント		B
115	自治体職員地方圏		B
116	自治体職員地方圏		B
117	自治体職員地方圏		A
118	商社・サービス		B
119	自治体職員地方圏		C
120	自治体職員地方圏		A
121	製造・エンジニアリング		C
122	自治体職員地方圏		A

123	自治体職員地方圏		A
124	自治体職員地方圏		C
125	自治体職員地方圏		B
126	自治体職員地方圏		B
127	自治体職員都市圏		B
128	自治体職員都市圏		C
129	不動産		A
130	自治体職員都市圏		A
131	商社・サービス		A
132	建設		S
133	コンサルタント		B
134	学生		A
135	学生		A
136	自治体職員地方圏		A
137	自治体職員地方圏		B
138	建設		A
139	議員		B
140	市民団体		B
141	商社・サービス		B
142	自治体職員都市圏		A
143	国		A
144	市民団体		A
145	商社・サービス		A
146	コンサルタント		S
147	コンサルタント		A
148	建設		S
149	不動産		A
150	金融		S
151	コンサルタント		A
152	自治体職員都市圏		A
153	不動産		A
154	不動産		S
155	コンサルタント		A
156	経済団体		A
157	コンサルタント		A
158	教育		B
159	自治体職員都市圏		B
160	コンサルタント		A
161	自治体職員都市圏		A
162	自治体職員都市圏		A
163	商社・サービス		A
164	商社・サービス		A

165	自治体職員都市圏		A
166	不動産		S
167	自治体職員都市圏		S
168	学生		B
169	学生		B
170	学生		B
171	商社・サービス		B
172	学生		B
173	学生		B
174	学生		B
175	商社・サービス		A
176	商社・サービス		A
177	自治体		A
178	学生		B
179	学生		A
180	学生		A
181	学生		B
182	学生		A
183	学生		B
184	学生		B
185	学生		B
186	学生		B
187	学生		A
188	学生		B
189	学生		B
190	市民団体		A
191	商社・サービス		B
192	商社・サービス		A
193	学生		D
194	学生		C
195	自治体職員地方圏		B
196	自治体職員地方圏		B
197	自治体職員地方圏		B
198	自治体職員地方圏		B
199	自治体職員地方圏		B
200	自治体職員地方圏		C
201	自治体職員地方圏		B
202	自治体職員地方圏		B
203	自治体職員地方圏		B
204	自治体職員地方圏		B
205	自治体職員地方圏		B
206	自治体職員地方圏		A

207	自治体職員地方圏		C
208	自治体職員地方圏		C
209	自治体職員地方圏		B
210	自治体職員地方圏		B
211	自治体職員地方圏		C
212	自治体職員地方圏		C
213	自治体職員地方圏		B
214	自治体職員地方圏		B
215	自治体職員地方圏		B
216	自治体職員地方圏		B
217	自治体職員地方圏		B
218	自治体職員地方圏		C
219	自治体職員地方圏		B
220	自治体職員地方圏		B
221	自治体職員地方圏		B
222	自治体職員地方圏		B
223	自治体職員地方圏		A
224	自治体職員地方圏		B
225	自治体トップ都市圏		S
226	自治体職員地方圏		C
227	自治体トップ都市圏		S
228	自治体トップ都市圏		A
229	自治体トップ地方圏		A
230	製造・エンジニアリング		A
231	商社・サービス		A
232	商社・サービス		B
233	不動産		B
234	商社・サービス		A
235	商社・サービス		S
236	自治体トップ都市圏		S
237	自治体トップ都市圏		S
238	建設		A
239	自治体トップ都市圏		A
240	経済団体		A
241	建設		S
242	コンサルタント		A
243	コンサルタント		A
244	自治体職員都市圏		B
245	自治体職員都市圏		B
246	メディア		S
247	メディア		B
248	自治体職員都市圏		A

249	国			A
250	コンサルタント			C
251	自治体職員都市圏			B
252	コンサルタント			A
253	商社・サービス			A
254	商社・サービス			B
255	自治体職員都市圏			B
256	自治体職員都市圏			A

整理番号	001
日付	2007年11月19日
場所	市役所

氏名	
役職	市長
企業・団体名	市（地方圏）

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>市はどんどん新しいやり方を導入してきました。LRT, コンパクトシティ、町の活性化に勤めてきています。PPPも是非、導入したいです。先ず、市役所の職員を集めますので、もう一度、お越し頂き、講演をお願いします。先ず、職員に解ってもらいたいですね。</p> <p>市では今、小学校の再構築が始まっており、7つの小学校を2つにします。そうすると5つの小学校跡地が出来ます。全て、市内です。この廃校地の有効活用をPPPでお考え頂きたい。</p> <p>は持ち家率が日本でも一番高い県です。又、若い人達も集まる町でもありますが、シニアのために、コンパクトシティを目指し、シニアが車を運転せずとも動き回る市街地を造りたいと思っています。</p> <p>又、経済開発もどう行うべきが、是非、知恵を拝借したいですね。は北陸では起業家が多いですが、もっと、経済の復興を起こしたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本の自治体には多くの問題があります。PPPはその多くの分野で利用できると思います。

これからの地方都市はこのPPPが必要です。どんどん収入源が減収し、しかし、官のサービスは考えなければなりません。そういう意味で、
では民の参入が必要です。
はその意味では非常に運が良く、今日、田淵さんが会った、
電力の会長は経済連合会の会長ですし、
会長は
経済同友会の代表幹事で、このお二人には、数々の助言を頂き、市政を行っています。これは私にとっては非常に運の良い環境です。

東洋大学に対する期待

先ほど話した5つの廃校になる小学校の跡地の有効利用をお願いしたいですね。又、市内には
地域に6.2ヘクタールの空いた土地もあります。この土地のPPP活用もお考え頂きたいですね。

院生派遣に関しては市役所内で公募し、希望者を募り、決まった職員を県の東京事務所勤務にし、来年4月からの大学院に入学させたいと思います。

総合評価

S

素晴らしい指導者である。このような指導者・リーダーが増えれば日本の地方自治は明るいと思われる。

整理番号	002
日付	2008年1月16日
場所	市役所

氏名	
役職	市長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに
取り組み上の課題

今日は貴重なお話をありがとうございます。
根本先生からは前から話は聞いておりました。 で PPP が出来るかは検討したいと思
います。

今は新幹線の 開通が一つのチャンスです。現在の 駅ではなく、数キロ南側に新
駅を建設します。この周辺の開発が課題です。民間から見て魅力的な開発を進める必要
があります。民間をどうすれば投資してもらえるか教えていただけるとありがたいで
す。

には、城址公園や国宝級のお寺があります。古い地名も残っています。一方では、
製造業の強い町でもあります。この蓄積を生かして街づくりを進めたいと思います。
現状でそこそこやれているので、うまく合意が形成される進め方をしたいと思います。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

これからの日本の自治体は特に財政面で問題が起こってくると思います。PPP手法も必要になると思います。

日本の地方都市は公民連携の考え方、地域経済開発は必要と思います。私も英国で経済開発は学んだ事があります。どのような形で日本で応用できるのかを考えたいと思います。

東洋大学への期待

今日は短い時間でしたがPPPの説明を頂き、ありがとうございました。

総合評価

C

知識はあるがそれ以上、市長としてアクションを起してと言うことではない。現状に満足しているように思える。

整理番号	003
日付	2008年1月17日
場所	市役所

氏名	
役職	市長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに
取り組み上の課題

今日はPPPと言う新しい話をありがとうございます。

自分にはどうも良く理解出来ませんので、その部署の者を紹介したいと思います。

当市はいろいろな意味でうまくやっており、特に何か新しいことをやらなければならない理由はありません。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本の地方都市はこれからいろいろ大変であり、困ってはいる。
さまざまな工夫をしている。PPPもその一つかもしれないが、ほかにもいろいろな手段
はあるので、別に必要だとは思わない。

東洋大学への期待

特にありません

総合評価

D

整理番号	004
日付	2008年2月20日
場所	大阪梅田池田ビル

氏名	
役職	市長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに
取り組み上の課題

私は市長として、東洋大学の文科省選定の自治体再生援助プログラムで市の下水道事業
の民営化をお願いするつもりでしたが、今回の話を聞き、PPPは市経営のもっと深い所
まで利用できる事が理解できました。是非、日本初のアメリカ的PPP（下水道、市経営、
その他）市で行いたい。

市は日本の地方自治体の例のごとく財政状況は決してよくありません。市長とし
て、このPPPコンセプトを利用して、市の借金を少しでも多く返して行きたいです。

当市の借入金の過半は下水道です。なぜなのか分かりません。たぶん、国の指導に基づ
いて小型の施設を大量に設置したのだらうと思います。今となつては、なぜかと思いま
すが、これを前提に解決策を考えないといけません。とにかく大量の赤字を出している
部門ですから。節約だけでは追いつかないので、PPPに期待したいです。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

このPPPは日本のどんな地方自治体にも必須でしょう。

東洋大学への期待

東洋大学でこの夏にPPP視察旅行をアメリカに送るなら、是非、自分も参加したい。サンデイスプリングスに訪問し、実のアウトソースを見て来たいですね。

是非、声をかけて下さい。

院生も派遣します。

総合評価

S

素晴らしいリーダーと思える。市のため、市民のため、PPPの重要性を理解し、前に進める努力をなさっておられる。是非、協力したい。

もともと民間企業出身だけあって、民の視点が良く理解されている。

整理番号	005
日付	2008年2月19日
場所	

氏名	
役職	副支店長
企業・団体名	銀行

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>銀行としても今まで、関西地域でPFI, その他の公共団体との仕事をして来ました。長野県のガス事業、旧石和町東病院の民営化、箱根ターンパイク、福岡クリーンエナジー、倉敷の廃棄物処理施設整備事業等。</p> <p>地方の下水道局のブルーカラーが、民営化されCH2M社に移り、年金も取り、会社の株も保有し、ついでには津波のインドネシア、ハリケーンのニューオーリンズ、ロンドンオリンピック、パナマ運河と活躍できた話は面白いですね。普通なら考えられない事がPPPで起こったと言うのは凄いですね。PPP, 民営化で職員がクビ、見たいな話でなく、民に移ったことでより大きなチャンスが生まれたというのはためになります。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

世界のシステムは日に日に進歩、発展しているのに確かに、日本でもアメリカでも官のシステムが戦後変わっていないというのは当たっていますね。ヨーロッパでも、アメリカでも小さい政府傾向からどんどん進化しているのに、日本の自治体は言われるとうりと思います。これからですが、日本の自治体も変わり、進化してゆかないと日本自体が進化して行けないですね。

日本の自治体、官の問題は官が民の上にいる考えだと思います。官が使う税は民が払うゆえ、民が官の上になければいけないと言う考え方はあります。しかし、日本では官の事をお上と言ってお神にも考えられます。これは変えねばならないですね。

東洋大学への期待

多いに期待したいですね。我が銀行も民営化を決められ、本年から民銀行としてどう行動して行くのか考えねばなりません。この、PPPの概念も必要な考え方と思います。

総合評価

A

良く、理解されている。当銀行の未来も考え、PPP導入をお考え頂きたい。

整理番号	006
日付	2008年2月20日
場所	

氏名	
役職	記者
企業・団体名	新聞

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>アメリカでのPPP活動はいつ頃から活発になってきたのですか？昔からあったような気がします、現在のような形に変わったきっかけを知りたいですね。</p> <p>サンデイスプリングスは新しい町だったから、成功したという理解でよいのでしょうか。既存の町のコンバージョンは可能でしょうか。日本では、新しく市をつくることのできないので、導入は無理という意見が出ると思います。</p> <p>(既存の町の方が楽でしょう。実際の町、市役所、職員、システムがあるので。しかし、今までの職員をどう使うかは課題ですが。アメリカではいろいろな方法で対処します。5年以内の退職者はそのまま、官のシステムで残るとか、それ以上ある場合は民のシステムのコンバートするとか。又、民に移動してハッピーな方もあるでしょうし、そうでない人も出るでしょう。しかし、税の効率の良い使い方には市民は賛成です。)</p> <p>日本でPPPが進むためには既存の職員をどうするかが課題でしょうね。</p> <p>(アメリカでは前に話したようにやっていますが、日本では日本流のやり方を考える必要があるでしょう。アメリカでも連邦の仕事が民営化されるときはA-76法という法律で、税の効率性と官の職員への公平性を調べるやり方もあります。)</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

大阪のように負債が非常に大きな町でのPPPの使い方はどうすればよいですか？

答え：負債が大きければ市民は税の使い方、今後の徴税に不安を持つでしょう。そういう意味ではPPP的な考えは必要でしょう。

サンデイスプリングスの市民はハッピーですか？

答え：郡による統率の時より、サービスが一段と良くなり、税が安くなったわけですから、ハッピーでないはずが無いです。苦情は非常に少ないです。リクエストの電話は多くなりました。前は諦めていたそうです。サンデイスプリングスの後、12ヶ月で後2自治体が出来、去年にもう一つの自治体と同じ形の自治体経営をCH2M社に依頼しました。それが、市民が満足しているかどうか判断になるでしょう。

大阪のような自治体は関西だけでも非常に多いです。PPPが日本で成功する事を期待します。大阪での反応は如何ですか？

答え：財界人とお会いし話していますが、民、市民、財界人はご理解を頂けると思いますが、官、役人、議員の方がどうリアクトするかでしょうね？

東洋大学への期待

は民営化を推進するという方針がありますので、非常に良い事例を紹介していただいたと思います。

総合評価

A

理解はされているが、より多くのサポートが必要。是非、もっと学んでいただき、PPPが地方財政、地方経済にどう効果を持つか理解頂きたい。

整理番号	007
日付	2008年2月18日
場所	東洋大学円了ホール

氏名	
役職	プログラムコーディネーター／兼任講師
企業・団体名	大学

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

久しぶりに意義のある話を聞かして貰いました。大学で観光業の意義、町造り、地域復興を教えているのですが、まだまだ、日本では主流産業と認めていただけず、田淵先生の話は非常に助かります。日本でもこの観光産業を是非、もっと復興させたいですね。観光と言っても、まだ、日本では一面的で、あまり思い切った事が出来ないのが現状です。地方の町おこしには是非、観光を使ったPPPで地域の経済開発を考えてもらいたいですね。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

アメリカでは、特にフロリダではどのようにしてPPPを使って観光促進をはかっているのですか？

(先ず、州政府レベルで観光の重要性を十分に理解してもらっています。1年にフロリダに来る8500万人の観光客が払う消費税で州民は州地方税を払うわなくて良いのです。観光業は独自の財源(売り上げの積み立て)で独自の地域の観光促進をはかります。自分達が出した財源ゆえ、どう使うかについては争いです。でも、それがゆえに本当に地域のためになる観光政策が取れるのです。そして、足りない所を州政府、地元政府が補います。)

多いに期待したいですが、日本では中央政府も地方自治体も真剣に観光を考えていないのが現状です。

東洋大学への期待

今日は現代GPプロジェクトのお仲間として参りました。分野は違いますが非常に参考になるお取り組みです。

総合評価

B

理解はしようと努力されているが、基本的にはPPPがまだ良く理解されていない。サポートがあれば、機会があれば学んでいただきたい。

整理番号	008
日付	2007年11月22日
場所	市公民館

氏名	
役職	市議会議員
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

10月に田渕先生のお話を日建総研でお聞きし、是非、でも皆さんに聞いてもらいたかった。はアクアが出来ても神奈川の方は通りすぎるだけで、には恩恵はありません。シャタ一街が多くなりました。

どうにかして、再生させたいと、市、議員、市民と活動しているのですが、なかなかうまく行きません。今日の田渕先生のPPP、経済開発、町おこしの話は是非、参考にしての再生に役立てたい。

市民の税を使う考え方も、フロリダ式にもっと厳しく使わねば（アカウントビリテイですか？）、既に悪いの財政ももっと悪くなるでしょう。市議会議員としても十分に考えて行かねばならない問題です。

市の行政はいろいろ考えているようですが、市民、市議会に伝わってきません。もっと、積極的に市役所と会話を持ち、のために頑張りたいと思います。今日は有意義なPPP論、経済開発、町おこしの講演、ありがとうございました。このPPP, 経済開発論はこれからの日本、特に地方自治にとって、大切と信じます。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
これからの日本、特に地方、財政困難を抱えている自治体では必須でしょう。しかし、組長がそれを認識するかどうか？それが問題でしょう。又、今日のコメントのように役人に毛嫌いされるでしょうね。頑張ってください。
町おこし、学校の廃校後、等いろいろあると思います。地方財政復興にも使えますね。

東洋大学に対する期待
市として、何か考えているようですが、私の方からも提案してみます。 是非、市からも誰か院生を派遣するように声をかけます。

総合評価	B 理解しようと努力されている。又、市に必要とも思っている。もう少し、学ばれリーダーになっていただきたい。
------	--

整理番号	009
日付	2007年11月22日
場所	公民館

氏名	
役職	主任主事
企業・団体名	市企画部企画課

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>勉強になりました。市としてもPFIもPPPも勉強しているつもりです。駅前再開発、廃校になった学校の再開発等にも検討しています。今後も東洋大学の公民連携大学院とも連携を取って行きたいと思います。</p> <p>ただPPP基本方針をたててはみたものの、進んでいません。具体的なテーマに沿っていないからかと思いますが、具体的なテーマを考えると今度はPPPでなくても、個々の方法で解決するという話になってしまいます。木を見て森を見ないという話になります。</p> <p>困ることがありすぎると、なかなか落ち着いてそもそもの検討に入れないということだと思います。</p> <p>具体的なテーマで一番大きいものの一つは、過疎バス路線の維持です。市は長細い形をしていて、奥まった部分は自動車かバスしかありません。だいたい自動車なのですが、高齢化が進み、自動車を運転できないお年寄りが増えるとバスに頼らざるを得なくなりますが、今や、民間会社による維持はとても無理な状態にあります。補助金にも限界があり、市の財政もとても余裕がない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今後の日本で使えるものと思います。どう使って行くか、岩手の紫波の行方に興味がありますね。前例が出てくれば、浸透するでしょう。それまでが大変でしょう。

市、行政、町おこしに使えると思います。

東洋大学に対する期待

市で話をしたいと思います。是非関心表明書は出したい。ただ真っ先に何を取り上げれば良いのか指導していただきたい。

総合評価

A

理解はされているようであるが、十分な知識は持っていない。このような方に院生になり学んでもらいたい。

整理番号	010
日付	2007年11月22日
場所	市公民館

氏名	
役職	観光協会会長 代表取締役
企業・団体名	観光協会 ホテル

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>今日は久しぶりに、いい話を聞きました。田渕さんのアメリカ経験からしゃべる言葉には力があります。実際にやってきた事ゆえ、意味が良く解ります。 の観光も昔はもっと良かったのですが、アクアラインが出来て裏に出ました。通り抜けです。困ったものです。田渕先生のPPP、経済開発、町おこしの話は参考にしたいですね。官ももっと市民の立場になって、市政を考えてもらいたいですね。議員の数が多すぎます。田渕さんが言うようにそんなに必要ありません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
PPPがこんなにまでアメリカで進んでいる事は知りませんでした。もっと、日本も学ぶべきです。特に地方は。しかし、地域のリーダーがそれを認識するかどうか？それが問題でしょう。
観光復興には確実に使えると思います。フロリダ州の観光局が民営化されているのはおどろきました。
自分も昔、アメリカ留学で観光を学びました。フロリダです。その時も思いましたが、やはり、アメリカは純粋に民主主義が進む国だと、又、思いました。

東洋大学に対する期待
特になし

総合評価	B うすうす感じている。地方自治、地方経済でのPPPの必要性は感じている。このような方方にもっと動いてもらいたい。
------	--

整理番号	011
日付	2007年12月25日
場所	EFI ジャパン事務所

氏名	
役職	東京都議会議員
企業・団体名	区選出

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

非常に有意義なPPP論、ありがとうございます。是非、もう少し勉強させてください。これからの日本、特に地方自治にとって、大切と信じます。特に自分は区出身ですので、区、又、そのウオーターフロント地域の再開発に興味を持っています。

区のウオーターフロント再開発にはPPP手法しかないでしょう。オリンピックを石原知事がお考えなら、是非、このPPP手法でお考え頂き、官の税を使わず運営する手法は是非学んでもらいたい。

築地、又、晴海近郊の再開発にPPP手法を考えたい。

区とも話しをし、是非、関心表明の意志を出させたい。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
これからの日本中で必要な考え方と思われます。国、都、区はまだ古い、官主導の開発しか考えが及ばず、その中でどうできるか考えるだけで、その枠から出た再開発は今で苦手とするところです。是非、自分が都、区と話をし、PPP手法を考えれる所に持ってゆきたい。

東洋大学に対する期待
これからの日本のため、東京、区のため、多いに期待します。出きれば協力は惜しみません。

総合評価	B 理解しよう、区のためにと思われている。もっとサポートし、区でPPPの旗振り役になってもらいたい。
------	---

整理番号	012
日付	2007年12月25日
場所	EFI ジャパン事務所

氏名	
役職	プロジェクト推進営業部長 土木本部設計計画課長
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>非常に有意義なPPP論、ありがとうございます。是非、今後とも勉強させてください。大成建設は今、区で、又、多くの他の地域で再開発、PFI開発を行っていますが、昨今、プロジェクト開発が難しくなっている。PFI開発には先が見え始めてきていると思われる。PFIの次にはPPP手法が有効と思われる。</p> <p>又、これからの地方でこのPPP手法は重要と思われる。区、又、そのウォーターフロント地域の再開発に興味を持っていますが、官（都、区）が入る場合、なかなか民だけの仕事の考え方では進める事が難しい。是非、PPP手法で考えたいゆえ、今後の指導をお願いしたい。</p> <p>区のウォーターフロント再開発にはPPP手法を考えたい。どのように出来るか指導いただきたい。次回の東京オリンピックもPPPのやり方は面白い。民として十分に興味を持つやり方ですね。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
建設として今後、引き続き、PPPを学んで行きたい。サンデイスプリングスの話し、非常に興味がある。これからの日本中で必要な考え方と思われます。

東洋大学に対する期待
PPPはこれからの日本に必要と思ひます。建設としてよく勉強しなければと思ひます。次回の東洋大でのフォーラム、興味あります。ジェネコンが町の総合経営、儲かるのでしょうか？楽しみです。
文科省東洋大学地域再生支援プログラムへも是非、区に話しかけたい。

総合評価	B 理解されようとしている。ジェネコンさんですからもっと理解され、PPP開発で活躍してもらいたい。
------	--

整理番号	013
日付	2007年12月25日
場所	EFI ジャパン事務所

氏名	
役職	理事・総務部長 事務局次長
企業・団体名	区研究会

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>非常に有意義なPPP論、ありがとうございます。是非、今後とも勉強させてください。我々のNPOは区における、再開発のあり方を、過去5年間ほど研究してまいりました。</p> <p>特に、築地の再開発、晴海、ウオーターフロント再開発には、我々のテーマ、水、緑、光が含まれます。</p> <p>しかし、官、都と区はなかなか開発の前進は出来ない状況になってきています。区で、多くの再開発の可能性があります、今日聞いたPPPはその解決にとって大切な要素と思います。是非、今後ともご指導願いたい。</p> <p>区にとってPPP手法は重要と考える。今後とも研究を続け、田淵教授の助言を頂きたい。</p> <p>区の水、緑、光の再開発にはPPP手法を考えたい。どのように出来るか指導いただきたい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
我々はPFIはやっていますが、未来への期待はあまり持っておりません。新しい手法が必要と考えています。PPPに多いに期待したいし、勉強したいです。

東洋大学に対する期待
東洋大学との連携に関して、是非、 <input type="checkbox"/> 区に話しかけたい。

総合評価	B 理解されようとしている。又、独自のプロジェクトで起用したいと思っている。もう少し、学んで頂きたい。
------	--

整理番号	014
日付	2008年1月22日
場所	EFI ジャパン事務所

氏名	
役職	パブリックマネジメント推進部・部長 専門技師
企業・団体名	(コンサルティング)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>わが社は橋の工事から始まった会社でより長く、より大きな橋開発という意味で名前が となり ました。我々は又、多くのPFI事業を開発して来ました。今日のPPPアメリカ・日本事例の話は、非常に興味深く聞かせて頂きました。</p> <p>現在、つくば大学附属病院のPFI事業で、発注者側のアドバイザー業務を引き受けている。PFIの限界といわれている発注時点での条件のセッティングを、「成長するPFI」という新しい発想を導入して取り組んでいる。競争的対話も導入している。ただ、病院PFIに関しては、いろいろと失敗事例も出ており、注目されている。PPPの柔軟な考え方には学ぶところが多い。</p> <p>我々の日本の地方自治との仕事を考えるに、財政事情からPFIが引き続き進んで行くとは思えなく、このような手法は是非、もっと勉強したい。はっきりは言えないが、今後の日本の地方自治では必要な手法と思われる。</p> <p>アメリカほど直ぐに進むとも思われないが、我々のようにパブリックマネジメントを行っている企業にとっては必要不可欠の考えと思われる。</p>

我が国における P P P の発展可能性に関する意識
<p>PFI は実行してきたが、PPP はもっと学びたい。</p> <p>今すぐには思いつかないが、再開発的なものとか、未利用な、低利用な官の土地、町づくり会社の再開発には可能性あり。</p> <p>PFI 事業を多くやっっているが、こう言うのもおかしいですが、PFI の今後の日本での活用にはあまりきたいが持てないと思われます。次は PPP の可能性を学びたいですね。今日の話は有意義でした。</p>

東洋大学に対する期待
<p>最先端の情報を次々に提供していただけるのは本当にありがたい。</p>

総合評価	<p>B</p> <p>P F I は理解されている。 P P P にどう移動するか、まだ、その方法が解っていない。是非、院生を出すなり、独自でも P P P を学んでもらいたい。</p>
------	--

整理番号	015
日付	2008年1月22日
場所	EFI ジャパン事務所

氏名	
役職	PFI-PPP マネージメント部・部長
企業・団体名	(コンサルティング)

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>我社は今、PFI 協会の数字では日本で一番多くの PFI 事業アドバイザーを行っています。しかし、直ぐにとは言いませんが、序々に PFI 市場の先が見えてきているように感じています。よって、今日の PPP アメリカ・日本事例の話は、非常に興味深く聞かせて頂きました。</p> <p>我々の日本の地方自治との仕事を考えるに、PFI が引き続き進むかどうか疑問を持っています。今後の日本の地方自治では必要な手法と思われる。直ぐに大きくなると思えないが、“ありうる手法”と考えます。我々も勉強したいと思います。</p> <p>公有地活用や、公共施設の有効利用、自治体の経営など応用分野も非常に広いと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>PFIは実行してきたが、PPPはもっと学びたい。 コンサルタントとしては使える手法はすべて修得しておきたい。</p> <p>我々はPPPとPFIを同類の物と考えていましたが、今日はそうでない事を学びました。PPPありですね。すぐにPFIを越すとは思いませんが、徐々に伸びると思われれます。 あまり早く浸透することは望みませんが？</p>

東洋大学に対する期待
<p>地域再生支援プログラムに関しては、これから出てくる自治体は多くあるでしょう。</p> <p>院生の派遣は、以前一度考えたのですが、確か行きたい人間が出なかったと思う。もう一度、どうするか検討したいと思います。</p>

総合評価	<p>A</p> <p>理解はあるが、どのような形でPPPを利用するか解っていない。サポートすれば理解いただける。</p>
------	---

整理番号	016
日付	2008年1月25日
場所	EFI ジャパン事務所

氏名	
役職	土木営業本部 役員待遇営業管掌 土木営業本部
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>今日は驚きました。こんな話しは知りませんでした。ありがとうございます。</p> <p>今日はアメリカでの、又、日本での新しいPPP事例のお話しを頂き、ありがとうございます。今後の日本での、特に、地方での開発には必要な手法と考えます。是非、頑張ってください。</p> <p>わが社もPFIアドバイザーの仕事等も進めて来ましたが、なかなかうまく仕事とれず、又、PFIでの値段争いにはなかなか勝てない所ですが、このような手法では、フェアな形でプロジェクト進行が行われるように思えます。是非、我々も引き続き勉強したいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
会社としてどう考えるかより、個人としてはPPPを応援したいですね。国民、市民にとって大切な考え方だと思います。今までの日本でのやり方はあまりにも官が強すぎて、民がそれに従う、まさしくPFIでした。今後は官と民が本当の意味でのパートナーとして進むと言うやり方は共鳴出来ません。

東洋大学に対する期待
今、わが社は財政的に苦しく、院生派遣は考えづらいと思います。しかし、会社で話し合いたいと思います。

総合評価	B 理解されようとしている。PFIでは出遅れ、会社も経営困難のように思われる。社員が外の人に向かって言うからには相当苦しいかとも思われる。それゆえに、PPPを学び、未来に結び付けてもらいたい。
------	---

整理番号	017
日付	2008年1月25日
場所	本社

氏名	
役職	PPP コンサルティング室長、上級コンサルタント 研究員
企業・団体名	(コンサルティング)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>今日はアメリカでの、又、日本での新しいPPP事例のお話しを頂き、ありがとうございます。わが社でも多くのPFIアドバイザーを日本中で行っています。これは今後も続けて行きます。</p> <p>しかし、今日説明があったアメリカ式PPP手法は、今後の日本での、特に、地方での開発には必要な手法と考えます。値段勝負のPFI事業に対して、採算性、市場性からの官のプロジェクトへのアプローチはありますね。</p> <p>今までは箱物でいくら規模があるか、もうかるかといった考えが多く、中身、採算性等に関してあまり、討議されないまま、プロジェクトをやるが多かったですね。それは、民間がそうしたと思うのではなく、官からの指導がその様なものであったが故ではないかと思えます。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPと日本では言っていますが、アメリカ的なPPPのコンセプトはあまり知りませんでした。確かに、市場、採算性重視で見れば、民も参加しやすいと思われまし、自由度からより営利につなげられる形が考えられます。しかし、日本には多くのレギュレーションがあり、その点も考えて進行させる必要があると思います。

官の職員はどうなるのでしょうかね？日本では特に問題ですね。

アメリカでもそれは問題です。しかし、官の上に市民があると考えればそれは仕方ないことかも知れません。アメリカでは例えば連邦ではOMB A-76法のように、いかに解雇する職員の権利を確保等の法律があります。しかし、A-76では税を使うにあたって、市民に対し説明できる税の正しい考え方も討論されます。2月18日の東洋大でのフォーラムではそのアメリカでの実例を聞く事が出来ます。

PFI事業で食っている我々としては、PPPが広がる理由は解ります。持って勉強する必要があります。もうしばらくはPFIが続くでしょう。PPPも可能性は大ですね。

東洋大学への期待

世の中の方向性を左右する重要な教育を行っていらっしゃることに敬服いたします。院生の件は検討してみます。

総合評価

A

理解はされている。アウトソースビジネスは実行中。もう少し学ばれ、総合的なPPPをご理解頂きたい。

整理番号	018
日付	2008年1月31日
場所	建設

氏名	
役職	PFI 推進部長 同課長
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>今日はアメリカでの、又、日本での新しいPPP事例のお話を頂き、ありがとうございます。わが社でも多くのPFIアドバイザーを日本中で行っています。これは今後も続けて行きます。</p> <p>しかし、今日、説明があったアメリカ式PPP手法は、今後の日本での、特に、地方での開発には必要な手法と考えます。採算性、市場性からの官のプロジェクトへのアプローチが必要です。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPと日本では言っていますが、アメリカ的なPPPのコンセプトはあまり知りませんでした。確かに、市場、採算性重視で見れば、民も参加しやすいと思われそうですし、自由度からより営利につなげられる形が考えられます。

しかし、日本には多くのレギュレーションがあり、その点も考えて進行させる必要があると思います。

これが浸透すると官の職員の解雇が必然ですね。官には民のやり方が多すぎてPPPが浸透すると困る問題が出てきますね。市民が官の上にいると考えたら仕方ないと思われそうです。しかし、日本の官は戦うでしょう。

国民として期待したいですね。PPPでも何でも官の横暴をコントロールできる手法が必要です。

東洋大学への期待

検討してみます。

総合評価

B

一応表面的には理解はしているが、十分に理解しているわけではない。しかし、その必要性は感じている。

整理番号	019
日付	2008年2月6日
場所	本社

氏名	
役職	PFI 事業支援主任 同主任
企業・団体名	(製造・エンジニアリング)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

今日はアメリカでの、又、日本での新しいPPP事例のお話を頂き、ありがとうございます。わが社でも多くのPFI事業に参加して来ました。特に、当社の技術力を持って貢献する形でした。しかし、今後のPFI事業を考えた際にあまり明るい見通しは持っておりません。今日説明があったアメリカ式PPP手法のように公共事業に参加する企業は今後はこのように本当の意味でのパートナーとして参加して行き姿勢が必要と思っています。

よって、当社は今後、リスクも取る公共事業参加を勉強して行きたいと考えます。日本の我々が参加してきた上下水道事業は地方では大変な赤字経営です。官民両方の反省も必要と思われます。今日は米国での事例を聞き勉強になりました。

一つお聞きしますが、例えば、アメリカでは市民が飲む水（命にかかわる）を民企業が提供して、市民はそれで安全ですか？ 答え：今回訪れたジョージア州の2都市の市長に私も聞きました。答えは“官でしか出来ない仕事があると思うのは官のおごりである。民で出来ない官の仕事は無い”と言い切っていました。では、日本でも民が鉄道と言う公共事業を行い、国民、市民の命を預かる仕事をしています。税が安くなり、より良いサービスが受けれるなら、それで安全なら、市民は満足でしょう。サンデイスプリングス市のサービスはカスタマーサテスファクションです。市役所に来た方、連絡をしてきた人一人一人、満足させる事です。日本の区役所、市役所に行きましたが、その様に感じる役所は一つもありませんでした。

今までの日本のPFIは官の箱物づくりで、その税効率、必要性、民が何を出来るか考えずやってきました。が、今、地方自治が貧する中でこのままの形では行かなくなるでしょう。答え：私は日本のPFI事業はあまり解りません。しかし、今回、多くの自治体、公共事業に関する官、民を尋ねていますが、その様な答えを多く聞きます。アメリカ式PPPが日本で特に地方でお役に立てばと思います。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

最近、日本の企業でもPPP・PFI事業部と呼ぶ部が出来てきており、あまり良く理解できておりませんが、このような事をして、PPPと呼ぶと考えると良いのでしょうかね。日本では確かにPPPと言う言葉話す人は多くなりましたが、信の意味でのPPPを理解して話している方は少ないと思います。私が言うPPPとは官と民がお互いにリスク・リワードをシェアし、パートナーとして、官の仕事・公共事業を税を払う市民の立場から考え行うシステムと言っています。

PPPは少し理解できました。しかし、日本、日本企業の体質を考えるに自分が第一にではなく、先ず、誰かがリスクを取ってやり始め、後についてゆくことになるのでしょうかね？

上下水道事業、これは今後PPPが必要ですね。

アメリカではどうなんですか？多くの下水道は民営化されています。今回来日するCH2M社は水周りのジェネコンです。

東洋大学への期待

期待したいですね。多いに頑張って下さい。

今後、当社としてどのようにPFI事業、今日のPPP事業を日本で参加して行くのかを考え、その後で、院生派遣等も考えたいと思います。

総合評価

A

理解し、必要と思われている。このような企業を増やせばPPPは明るい。

整理番号	020
日付	2008年2月7日
場所	本社

氏名	及び、他16名
役職	PFI 室室長
企業・団体名	(コンサルティング) 室長は私の訪問に際し、今後の会社での PPP 対応を考え、会社内で聞かねばならないと思う方方を集められ、中には常務理事二人、本部長三名、本社、都市部、営業部、東北支社、中部支社、マネージメント事業部等が出席された。

現状の各機関の PPP への取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

今日はアメリカでの、又、日本での新しい PPP 事例のお話しを頂き、ありがとうございます。我々も、東洋大学での PPP, フォーラム等には参加し、勉強をしています。今日はありがとうございます。先生もご存知と思いますが、わが社は多くの PFI 事業に参加しております。パシコン、日本経済研究所、PWH, 長大さん等、多くの企業と競争をしている企業です。しかし、PFI の先は見えておりません。今の地方自治を見た際に、このまま PFI 事業が進んで行くとは思えません。しかし、我々コンサル業がでは、今日説明があったアメリカ式 PPP 公共事業にリスクを取って参加できるか、それは難しいでしょう。我々はアドバイザー業です。このリスクを取る企業と言うには SPC を造って PFI に参加しているジェネコンさんにあたると思います。わが社、私は今、田淵先生が話した で 市長のリーダーシップの中で、2つの小学校の PFI 事業をやっております。SPC は清水建設です。

我々はアドバイザーとして最適なアイデア・サポートを提供して来ましたが、今後は事業その物の採算性、効率性を考え、民のリスクを入れて実行すると言うアメリカ式 PPP には感銘しました。そ通りだと思えます。我々がアドバイザーとして仕事を見てゆく中でも、何でこんな税の無駄があつてよいのか疑う事は多くあります。しかし、それが我々アドバイザーの仕事の外である場合は何も言えませんし、言いません。この PPP は確かに新しい考え方と思えます。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

これほど官が強い日本で“お上”に物申すは難しい。我々はお上の下で仕事をしてきたゆえ、この考えになるには時間がかかるのでは。しかし、誰かがやらねばならないことであるでしょうね。

この考えは福島の矢祭町、鳥取の江府町等で議員さんの給料の日当制の話にも繋がる。つまり、誰が官の上にいるかと言う考え方です。田渕先生が民主主義で学んだアメリカのシステムは正しい、しかし、これがどれほど、日本で浸透するか、見ものですね。ただ、このような考えが浸透しないと、確かに、日本の地方都市は再生しないでしょうね。このアメリカ式PPP, 確かに今後の日本で必要と思います。我々ももっと勉強したと思います。

我々は建設コンサルですが、コンサルとしてこのような考え、やり方を理解する事は必要です。我々が知っている、官の無駄と思われることに関してはシェアし、より良い税の使い方を考えて行きたいと思います。

PPPの話は、大阪の新知事・橋本さんが言っていますね。役人の首を半分きり、資産を売り、財政建て直し。送ですね。しかし、それだけでは大阪府民は賛同しないでしょうし、信の再生は出来ないでしょう。この考えは赤字を消す、埋める、人員削減、これは勿論です。しかし、新しい経済政策、経済開発計画で長期的展望を出し、その実行案を作成し実行することにより歳入を増やし、大阪再生を考えねばならないでしょう。簡単ではないですが、必ず、出来ると思います。少し時間がかかりますが。

東洋大学への期待

頑張ってください。期待します。

院生の件は、今日出席の役員、出席者とも話し合いどう対応できるか考えたいと思います。

総合評価

A

理解はされている。

技術系のコンサルタントであるため、現状の制約がよく見えているということだと思ふ。

整理番号	021
日付	2008年2月8日
場所	本社

氏名	及び、他4名
役職	技術推進本部 PPP・PFI プロジェクト課課長室室長
企業・団体名	(コンサルティング)

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>今日はアメリカでの、又、日本での新しいPPP事例のお話しを頂き、ありがとうございます。又、これからの日本では必然と思います。我々も、東洋大学でのPPP, フォーラム等には参加し、勉強をしていますが今日は特別でした。ありがとうございます。今の地方自治を見た際に、このままPFI事業が進んで行くとは思えません。このPPPが必要と思います。</p> <p>アメリカ・ヨーロッパがどのような形でPPPを発展させてきた経緯も学び、よく理解出来ました。</p> <p>今の日本の状況がその時の状況に似ていることも理解出来ました。</p> <p>PPPでオリンピックが官の費用なくして実行できる、これも新鮮で面白く、国民としたらそうしてもらいたいと思います。</p> <p>私は正月休みにイギリス、アイルランド、フランスを回り、公共事業体系を学ぶことができました。日本と違うのは民、市民の参加、民主主義的な税の使用方法と言った言葉を良く聞きました。日本ではない話ですが、今日の話聞けば行く理解出来、なぜ、ヨーロッパでそうっていたのか、今、理解出来ます。このアメリカ式PPP, 確かに今後の日本で必要と思います。我々ももっと勉強したいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

先生への質問ですが、先生の言うPPPは理解出来ます。そのとうりだと思います。日本もそうならねばと思います。しかし、我々官の下でアドバイザーとして食っている人間にはこれは言い辛いです。田淵：私のプレゼンでもありましたが、国、社会は変わることは必然です。必然なら、その変わらなければいけないときにどう変わるかを考えるのがその時のリーダーです。

例えば、私はこう思います。例えば、明治維新は維新の偉人が明治維新を作ったとは思いません。世界の歴史でも、アメリカの転換でも、社会がその変換を必要としていた人達が、それを信じて実行した。つまり、人が社会を造るのではなく、社会が人を生み出してきたと言う事です。私は、今の日本は、まさに、一つの変換の時期を迎えていると思います。

逆に今、日本が変わらなかつたら、日本未来は暗いと思います。ちょっと前まで、日本は世界有数の国、経済力2位、教育1位、貯蓄率1位、とうとうとおごっていた人もいます。今では、日本は世界のトップ20に入っていないでしょう、そのどのレベルでも。そう思わないなら変換は必要ありません。今が変わらねばならない時、そう思う人が動き、国は動きます。

東洋大学への期待

田淵先生、PPPの話は、今の大阪に言ったらどうですか。新知事・橋本さんは聞いてくれるかも。

是非、話したいですね。しかし、そこまで到達できるかどうか。頑張ります。問題は新知事に改革をやる強い意志があるかどうかでしょう。我々が言うとする、極端に結えば府庁の売却まで提案すると思います。大阪府民がそこまでやる気になるかどうかです。

税率を暫定的に上げ、財政建て直しを考えるかと思えます。大阪府民は賛同出きるでしょうか。もしかしたら、国に対し、暫定的に税を払えない期間を設定してくれ、その間に財政建て直しを実行すると言わねばならないかも。これは官主主義の日本の中央官僚はウンと言わないでしょう。自分達が作った問題であるはずだが。なぜなら、もし、それを大阪がやったら、日本中の自治体が右え習いしたら、中央政府の見直しが話さなければなりません。私の専門ですが、大阪では赤字削減意外に、新しい経済政策、経済開発計画で長期的展望を出し、その実行案を作成し実行することにより歳入を増やし、大阪再生を考えねばならないでしょう。簡単ではないですが、必ず、出来ると思います。少し時間がかかりますが。

総合評価

A

良く理解されている。

整理番号	022
日付	2008年2月8日
場所	EFI 日本事務所

氏名	
役職	計画推進部
企業・団体名	(コンサルティング)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
前回、日建総研での先生の話聞き、感銘しました。ぜひ、先生の下で学んで見たいと思っています。自分は今、地方で商業施設の計画をやっていますが、将来は独立し、地方で地域再生に携わりたいと思っています。その意味で先生の言うPPPは是非、学びたいと思っています。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

私は商業施設開発が仕事ですが、今後の日本、特に地方では財政状況が最悪でPPP無しでは、民の資金、経営ノウハウ無しでは存続できなくなるとも思っています。

商業施設開発でPPPはどう使われますか？

田淵：今後、日本での開発には多くミックストユース（MU）が使われると思います。MUでは大きくなればなるほどPPPコンセプトが必要でしょう。商業施設勉強なら、私が昔参与したULIのメンバーになり、世界の商業開発の実体を勉強する事も必要でしょう。

東洋大学への期待

田淵先生の活躍に期待したいですね。今の日本には田淵先生のように事実を指摘し、事例を使い、論理を立てて物を説明し、理解させる方が少なすぎると思います。物言う人は多くいますが、経験が無く、オールタナテブが無く、結局、何にもならない話が多すぎます。

総合評価

A

良く理解されている。

院生となる可能性は高いが、土日も含めて忙しいとのことであった。

整理番号	023
日付	2007年12月19日
場所	本社

氏名	
役職	支店長 業務室長
企業・団体名	(商社) 北陸支店

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>こんな話してあるんですか？聞いた事無いですね。ただ、今、北陸は新幹線プロジェクトで来る、来たらどうする等の話しが多いですが、ローカルには困ったところが非常に多く、当社にも多くの話しが入ってきます。</p> <p>しかし、物産は商社でこの分野でなく、何も出来ません。富山では特に 市には 市長と言う強いリーダーがいらっしゃいますのでご紹介しましょう。多分、良い反応があると思われます。</p> <p>支店としては富山、石川、福井での営業ですので、他の件でも協力出きると思います。田淵さん、アメリカが長いのは解りますが、出来るだけ英語は使わない方が日本、特に地方では大切です。又、レモンからレモネード、これは日本人には解りませんね。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>日本の自治体、特に地方は冷えています。どうしようもないところが多いです。田渕さん、過疎化された田舎とか、どうしようも出来ない所でもPPPは通用するのですか？</p> <p>答え：どんな田舎でも、本気になれば出来ると思います。アメリカでも婦人会、青年団、JC、新聞社等が中心で町おこした事例はたくさんあります。婦人会が町の劇場の再建から始まった町おこしが今ではアメリカの劇場数をほこるミシシッピ州ブロックスシー市とか、田舎の新聞社が中心の町おこしとか。付き詰まって、必死になって出てくるのがPPPです。</p>

東洋大学への期待
<p>期待したいですね。日本の地方には絶対に必要な手法、考え方です。ただ、地方を知るがゆえに、そんな簡単に進むとも思えない。ぜひ、頑張ってください。</p>

総合評価	<p>B</p> <p>理解しようとお考えいただける。商社マンですので、もう少し学ばれ、地域の再生等の事をお考え頂ければ。</p>
------	---

整理番号	024
日付	2008年1月16日
場所	本部

氏名	
役職	(幹部)
企業・団体名	経済連合会

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

北陸は遅れています。日本平均でも地域開発が遅れています。今やっと、新幹線を導引するしないの話です。新幹線が来て、さて、それからどのような地域おこしを行うか考えねばなりません。しかし、今日のPPPの話は、正直言って良くわかりません。もう少し、勉強する必要があります。

ただ、地方自治が財政的に苦しい事から、公民連携、特に民の資金、経営ノウハウを使うと言うPPPは必要と思います。是非、北陸でもPPPを発展させてもらいたいですね。当連合会としても会長を始め、お手伝いする気持ちはあります。

田淵さんが電力、経済連合会、経済同友会と話しを進めるのは良い事です。この二つの経済グループは北陸をコントロール出来ます。県も市も、この二つの経済グループの言う事は聞きます。頑張ってください。市長は頑張るでしょう。

北陸でPPPを進めるきっかけになるとすれば、新幹線でしょうか？

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

なし

東洋大学への期待

なし

総合評価

C

興味があるがどう動くは解らない。動かなくてすむ理由を探しているという印象もある。

整理番号	025
日付	2007年11月19日
場所	本社

氏名	
役職	代表取締役会長
企業・団体名	(サービス)・ 経済同友会代表幹事

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>新しい考え方ですね。同感出来ます。当社、同友会として出来るだけ協力し、北陸の発展に寄与してもらいたいですね。市長に話しを持ってゆくのは良いでしょう。市長は市を変えました。90%近い支持率で、革新的な事をおやりです。同友会としてもいろいろ協力しています。又、さんも連絡を取り合って行くのがよいですね。</p> <p>私はと東京が半分半分みたいな生活で、東京、又、日本の状況をビジネスから見えています。このようなPPPの考え方はこれからの日本、特に、地方には重要でしょう。</p> <p>北陸はこれから新幹線を導入、地域開発を考えて行かねばなりません。新幹線が着く事でどのような地域づくりが出来るのか、PPPの観点でも見てもらいたいですね。の方がもしかしたら、よりむいているかとも思います。には事業家が多く、このPPPの理解は早いでしょう。頑張ってください。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
地域開発に使ってもらいたい

東洋大学への期待
特になし

総合評価	B ご理解頂けると思う。その上で、北陸の再生につながるような働きを期待したい。
------	--

整理番号	026
日付	2008年2月19日
場所	本社

氏名	
役職	代表取締役副社長
企業・団体名	(建設)

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>前々から田淵さんのアメリカの新しい考え方は聞いてきましたが、今回のPPPの話、サンデイスプリングス、商務省・EFIの民営化等の話は特に興味を持ちました。田淵さんが言うように、確かにこれからの日本の地方は大変です。地方に行かなくても大阪でも大変です。</p> <p>新しい知事が来ましたが、この5兆円の借金はどのように返すのでしょうか？よっぽど、田淵さんが言うようにPPPを使い、出来る限り、売却カット、赤字経営停止、売却に加え、PPPによって、以下に職員の数を減らし、効率の良い税に使い方を学ばないと大阪の未来は暗いと思われます。我々は大阪の人間です。</p> <p>何か出来る事があったら是非、連絡下さい。出来る限り、協力させてください。今年から地方自治体のバランスシート提出が始まると本当の地方自治の財政が見えてくるようになるでしょう。その時に、本当に自治のリーダーは目を覚まし、PPP等を駆使して実行しなければ日本の自治の将来が見えませんか。</p>
--

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPはいろいろ聞きますが、今日の話でやっと、民活、PFIとPPPの違いが解りました。私が解っていなかったと言う事は殆どの日本人はまだ解っていないと思います。どんどん広めてください。応援します。

日本の自治体では本当に強い意志を持ったリーダーが出ないと、なかなか、PPPの実行には行かないでしょう。日本での役人の強さは激しいですから。今の役人をどうするか、この一言につきますかね。

東洋大学への期待

是非、頑張って、日本でPPPを広めてもらいたいですね。

今後、東京でPPPイベントをやる際には、是非、大阪にも来てもらいたいですね。人を集め、PPPを学んでもらいたいですね。

総合評価

A
大阪、船場での再開発にPPPを使えると考えている。サポートしてあげたい方ですね。

整理番号	027
日付	2008年2月19日
場所	(本社)

氏名	
役職	理事長
企業・団体名	NPO 法人

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>辰野さんが言われていられたPPPはこれですか。非常に興味を持ちました。確かに、これからの日本、特に地方には、必要なコンセプトですね。我々は民として、いろいろ活動をしていますが、このような動きは官をいれずに前に進まないでしょう。</p> <p>しかし、どれほどの官の方方、ご理解を頂けるでしょうか？理解しても、協力を惜しまないとは行かない可能性のほうが多いかもしれません。なぜなら、PPPが浸透すれば、最終的に官がしっかりしなければならぬと言う結論になると思うからです。日本の官主義、本当に力があります。前に議員さんから聞いた話ですが、大阪地域は日本政府（東京）に対し、8兆円の税を払い込みます。その見返りに大阪は4兆円相当を東京から帰してもらっています。</p> <p>これでは大阪は何も出来ません。田淵さん言うように90%返してもらえば、今より3200億円もらえます。そのお金で大阪の町おこしが出来れば、確かに結果は出せるでしょう。今度の知事にはあまり期待を持ってません。大阪府は例えば東京で言えば、23区を抜いた東京みたいなものです。大阪市がその23区になりますが。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

大阪には強いリーダーがいません。今度の橋本知事に期待したいですが、前もその前も、鳴り物入りで出てきましたが、何も出来ないまま消えて行きました。今度の知事はそうなってもらいたくないですね。

東洋大学への期待

特になし

総合評価

B

理解しようとしてされている。使える手法とも理解している。

整理番号	028
日付	2008年2月19日
場所	本社

氏名	
役職	総務部行政改革課参事
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

私は行政改革課ですが、このような話は聞いた事が無かったです。ちょっと、信じられない話でもあります。民営化が進んだ場合、それまで働いていた役人はどうなるのですか？より良い環境で仕事出来るようになる方はどれほどですか？日本では難しいのではないのでしょうか？

官は今まで、利益追求は禁句でした。急に効率、利益と言われても良く解らないと思います。しかし、今度の新しい知事はこのような事を言っているらしいです。必要になってくるでしょう。でも、日本でどう実現するか？見てみたいですね。

確かに、財政状況は悪いです。しかし、直ぐに直せるとも思えません。どうすれば良くなるのか、PPP等のコンセプトを勉強したいですね。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

使えるなら、多いに期待したい。

東洋大学への期待

特になし

総合評価

C

役人の首がどうなる。これが一番の関心事。税の効率の良い使い方には興味は無いという印象。

整理番号	029
日付	2008年2月19日
場所	本社

氏名	
役職	建設局業務改革担当課長（下水道関連）
企業・団体名	自治体

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>このようなPPPは官の下水道事業の民営化にアメリカでは使われてきたのですか？これから、大阪、日本では団塊の世代が退職を向かえ、官、自治体の下水道事業のエンジニアが足りなくなってきました。その際に、このような考え方で、退職した、元職員（エンジニア）が民に雇われ、前に仕事を続ける話がありますね。若いエンジニアだけではこなせないほど下水道事業は出てくると思います。</p> <p>これから日本の地方の自治体は財政状況が悪くなると思われます。このような手法で地方の自治体が下水道、その他のインフラ系まで経営して行かなければならなくなるのでしょうか？</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
財政状況が悪い自治体には共通の課題でしょう。

東洋大学への期待
特になし

総合評価	C 水道事業が苦しくなる事は理解している。PPPが必要な事も理解している。役人の立場が悪くなる事を懸念する。
------	---

整理番号	030
日付	2008年2月19日
場所	本社

氏名	
役職	事務局長
企業・団体名	(経済団体)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>驚きました。こんな事がアメリカで進んでいるとは。やはり、先進国ですね。日本の自治体も是非是非、学んでもらいたいですね。その前に、日本の中央政府も是非、この考え方を使って税金の使用と考えてもらいたいですね。</p> <p>大阪は今、新しい知事が選ばれ、このような事を話しておられます。是非、この話を聞かせたいですね。</p> <p>府でも市でも、地方でも同じ課題と思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

是非、このアイデアで日本の地方の経済再生を実現してもらいたいですね。

東洋大学への期待

特になし

総合評価

B

理解したいと思われる。サポートすればもっと理解され、使えるようになる。

整理番号	031
日付	2008年2月19日
場所	本社

氏名	
役職	代表取締役
企業・団体名	(民間企業)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

民がやると本当に半額で自治体経営が出来るのですか？驚きです。このPPPはこれからアメリカでどんどん進んで行くのですかね。それは税金を払う方からしたら、非常に歓迎ですね。それにサービスが良くなるなら、なおそうですね。日本では本当にこんなこと可能なんですかね。日本の場合、官は非常に民に対し強いですからね。頑張ってください。

今年の末までに、日本の自治体がバランスシートを発表しなければならなくなるのは知りませんでした。推測ですが、今まで随分隠していたものも表に出てくるのではないのでしょうか。そうすると、このような、考え方は必要になってくるような気がします。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

これが本当なら、是非、日本で浸透してもらいたい

東洋大学への期待

特にはない

総合評価

C

もう少しご理解頂き、積極的に動いてもらいたい

整理番号	032
日付	2008年2月20日
場所	本部

氏名	
役職	工務部長 給排水担当部長
企業・団体名	自治体水道局

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>我々水道局は最新の水道技術を使い、市民へのより良い水を提供しております。しかし、最近になり、水道需要が減り、今後の水道局の事業展開を今、考え始めています。それにつきましては大阪の 銀行さんにも相談に乗ってもらい、今後の活動を考えている所です。</p> <p>アメリカで、多くの水道、下水道事業が民営化されているのは知りませんでした。又、一社で200以上の下水道の民営事業をやられているとは凄いですね。</p> <p>我々の課題は余るキャパシテイをいかにうまく利用するかですが、例えば、他の自治体で浄水供給が無い所の水も、我々がやってあげることも考えています。しかし、そんな中でこの水道、下水道の民営事業は参考になりますね。</p> <p>我々の水道局が民営化されることは考えられないですが、我々のサービスを民と組んで、他の自治体に供給する事は考えられます。今後、 銀行とも話し合いを進め、検討したいと思います。</p> <p>CH2M社は水道、下水道の民営化からこのPPPに入られたのですか。200以上の下水場の民営を行っていると驚きました。アメリカでの水道供給の場合の基準が30PPMは日本と違いますね。日本はどんな自治体でも15PPMです。よって、大阪では我々のタップウォーターをペットに入れ、セールしています。売り上げよりも、我々の水は売れるほどの高品質である事を、市民に理解してもらうためです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本の地方の水道局でも財政的に困難な自治体は多いでしょう。民営化、PPPのコンセプトが必要と思います。

我々は水道事業だけ取れば黒字経営ですが、設備投資等を含めると赤字になります。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

理解しようとお考えです。水道事業優先でしかないですが。

整理番号	033
日付	2008年2月20日
場所	本社

氏名	
役職	理事 ネットワーク推進部長
企業・団体名	銀行

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>いや、知りませんでした。アメリカでここまで進んでいるとは。しかし、考えねばならないのは、日本の場合、新しい町というのはいないゆえ、既存の町の民営化ですね。</p> <p>でも、その際は今までの従業員をどうするかという問題は必ずありますね。アメリカではどうだったのですか？</p> <p>今、アメリカで進行中です。1月から始まった既存の町のアウトソースもありますので、もうしばらくで、その結果も発表できるでしょう。職員が必ず、職を失うということでもありません。民側で雇用を考え、少しの再教育も考え、新しい民での挑戦にもなれてもらう必要があります。今までの経験ですと、少しは辞めることもありますが、元官の方も仕事は十分に出来る事がわかっています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

我々は 銀行として、PFI等のプロジェクトに参加して来ましたが、これからの銀行業ではこのような官民の中でのプロジェクトにも参加してゆく必要がありますね。

日本の自治体ではこれは共通な課題でしょう。

東洋大学への期待

日本でもっとこのPPPを広めてもらいたいですね。

総合評価

B
理解できる。もう少しサポートが必要

整理番号	034
日付	2008年2月20日
場所	本社

氏名	
役職	常務取締役
企業・団体名	(コンサルティング・銀行系)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>地方の下水道局のブルーカラーが、民営化されCH2M社に移り、年金も取り、会社の株も保有し、 については津波のインドネシア、ハリケーンのニューオーリンズ、ロンドンオリンピック、パナマ運河 と活躍できた話は面白いですね。普通なら考えられない事がPPPで起こったと言うのは凄いですね。</p> <p>PPP, 民営化で職員がクビ、見たいな話でなく、民に移ったことでより大きなチャンスが生まれたと いうのはためになります。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

世界のシステムは日に日に進歩、発展しているのに、日本でアメリカでも官のシステムが戦後変わっていないというのは当たっていますね。ヨーロッパでも、アメリカでも小さい政府からどんどん進化しているのに、日本の自治体は言われるとうりだと思います。これからですが、日本の自治体も変わり、進化してゆかないと日本自体が進化して行けないですね。

日本の自治体、官の問題は官が民の上にいる考えだと思います。官が使う税は民が払うゆえ、民が官の上になければいけないと言う考え方はあっています。しかし、日本では官の事をお上と言ってお神にも考えられます。これは変えねばならないですね。

東洋大学への期待

頑張ってください

総合評価

B
理解は出来るが、もう少し勉強が必要

整理番号	035
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場
氏名	
役職	課長
企業・団体名	自治体工業技術センター

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>PPP論は興味深い内容ですが、この話の究極は公務員不要論だったような気がしますが？果たしてそうなりませんか？</p> <p>答え： 成果を上げれない公務員には確かに難しくなるかも知れません。能力のある公務員には意味あるシステムと考えれます。しかし、民の税の効率の良い使い方と言う意味では正解と思いますが、税が公務員を食べさせるシステムとしたら考えたら、これには問題があります。</p> <p>アメリカでも連邦のシステムの民営化ではOMB A-76法でいかにして連邦の職員の救済をするか法律で定めています。又、A-76法では、市民が出した税に有効、効率性を討議し、民営化の決断が、市民にとって重要かどうか話されます。もし、今の官が日本のこの払いきれなくなった負債を蓄積したのなら、その責任は取らねばならないでしょう。このままでは、日本は存続し得ないでしょう。</p> <p>いよいよ来たなと言う感じでしょうか。ここまで考えないと今の日本の問題は解決されないのかも？しかし、官は戦うでしょう。</p> <p>そう思います。しかし、民主主義を考え、民、納税者が決断すべき問題でこの大問題を起した官を中心とした考えは通じないのでは？</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
公務員の削減は？官としてはこの質問が一番聞きたい事柄かと思います。しかし、税が削減されて行く中では仕方の無い考えといえる。今まで、リターンを考えない、逆に考えたら罰せられるシステム内で教育を受けた職員には難しい課題になります。 官の代表としては、PPPがあまり浸透しないことを期待しますが無理ですかね。 その答えは私が出すのではなく、納税者が自分の税をどう使うことを希望するかでしょう。

東洋大学への期待
特にはありません

総合評価	B 理解はしたいが、自分の身が心配
------	----------------------

整理番号	036
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場
氏名	
役職	課長
企業・団体名	自治体工業技術センター

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>アメリカのPPP、紫波のPPPプロジェクト非常に興味深い内容でした。論理的には良く解りますが、果たして、今の日本に簡単に導入できるか？日本は官が強すぎるゆえに。日本の地方は中央からどんどん離されています。そういう意味ではこれもしかたないかもしれません。</p> <p>しかし、今後どのように進むかはわかりませんが、日本でもこのような方向に進むのではないかと思います。自治体は徐々に中央政府から交付金が少なくされてきていますので、このような形にならないとやってゆけないと思われまます。</p> <p>工業系の試験研究は民間でも行われていますが、当初は、特に中小企業に特徴的な技術について民間と共同で研究開発を行って来ました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

官のサービスのアカウントビリティは特に重要と考えていますが、今までのやり方をどう変えてゆかなければいけないのか良くわかりません。多分、先生の言うように強いリーダーが旗振りをやらねば、今の日本の中では難しいでしょう。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B
理解したいが、役人はどうなるが心配という意識が強い。

整理番号	037
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場
氏名	
役職	／ 代表取締役
企業・団体名	経済同友会 ／ 株式会社

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

田淵さんの話は、目からうろこが取れた思いです。そのとうりと思います。今後、地方自治体、地域の進路を考えるにあたって大変参考になりました。特に財政的に困難な自治体には(多くがそうであるが)。このPPPなくして、これからの地方はありえないと思います。 に帰り、市役所、商工会議所、財界と話しをして、再び、田淵先生に連絡したい。

昨年から「PPP」を講演等で耳にするようになりましたが、話しや資料だけではなかなか理解できない事もありましたが、今回の話でPPPとPFI, 3セクの違い等、勉強になりました。さすがアメリカといった感じですね。 でも勉強をし、市の未来のためになればと思います。

欧米と同じ事が直ぐ日本で同じ様に出来るとは思いませんが、又、具体的にはすぐには思い当たりません。が日本流で考えれば、出来る事が沢山あるのではないかと思います。特に貧してる地方では。今回の話を聞き、是非、田淵先生に に来て講演してもらいたいと思いました。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
官への啓蒙も必要ですが、民へのそれが重要、且つ優先ではないかと思えます。 今後、日本でPPP思考が発展する事を期待します。 地方でもPPPで再生は可能でしょうか？ 答え：アメリカで、PPPで多くの村、町、市が再生した事例を多く学びました。必ず、日本の地方でもPPPの応用が可能と思っています。

東洋大学への期待
に帰り、市役所、商工会議所等と話しをし、是非、参加するように務めたい。 で生徒を出せば良いですね。

総合評価	A 理解され、これから必要と信じている。是非、サポートしたい。
------	--

整理番号	038
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	試験場長
企業・団体名	自治体農業技術センター

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
短い時間でしたが、アメリカ合衆国でのPPPの現状を知る事が出来、勉強になりました。また、このシステムが日本では岩手県の紫波で実践されると可能性があるとの聞き、より興味を持ちました。講演は非常に有意義な時間でした。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

住民の意見がどう反映されるのか、また、ソフト面の運営におけるマンパワーがPPPではどうなっていくのでしょうか。

答え：あくまで民的な思考で、地方重視、マーケット重視でソフト面でも営利につながり、税のより良い効率の使い方が出来るのであればウエルカムでしょう。

PPPでは市場がなければPPPは成り立たないという事ですが、北陸新幹線開通をにらんだ開発計画でPPP手法は有効でしょうか？必ず、必要な考えと思います。官がインフラを開発し、民は官と相談し、それに準じた町造りを行う。新幹線とか、空港の場合はもっと大きな地域おこしになるでしょう。

過疎化が進む中山間地や、空洞化、人口減少の激しい市での活性化にこの手法をどう応用していただけるのでしょうか。

答え：アメリカでも過疎化の進んだ、どうしようもない町は多くあります。町のリーダーシップが必要です。リーダーシップは町長、村長だけではありません。時には婦人会、青年団が中心に町おこしが出来る事もあります。日本でも、おばあちゃんが落ち葉を拾ってビジネスにという話しも聞きます。どうするかは、地元で考える必要があります。中央からの交付金目当てでは無理です。

東洋大学への期待

特にありません。

総合評価

B
理解できる。少しサポートしてあげれば。

整理番号	039
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	試験場長
企業・団体名	自治体農業技術センター

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>講義時間が2時間であったがPPPの概要は理解できました。講義の中で、失敗事例についても触れてほしかったと思います。</p> <p>答え：3セク、民活、町づくり会社等、官が中心に行われた事業は失敗が多いです。又、アメリカでは政治家、党の交換で政策が変わって失敗する事もありました。例えば、フロリダ新幹線プロジェクトでは新知事がそれまで積み上げた10年の実績を就任1ヶ月でキャンセルしました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
変化の激しい今日、10年を越えるスパンで民間に利益が生まれる事業が発見できるのか疑問に感じました。 答え：官が10年スパンで計画、方向性を示す事が重要です。民は10年儲からない事業には参加しないでしょう。方向性が見え、それが民のリスクの減少につながり、利益に繋がる事が解れば参加するでしょう。10年先が見えるから、未来の方向性が解るから、民は参加し、利益追求を考えられる事が出来ます。

東洋大学への期待
市が参加するのは心強いですね

総合評価	B 理解されている。もう少しサポートが必要
------	--------------------------

整理番号	040
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>良かったです。もう少し講義自体を長くしてもいいのではないかと思います。</p> <p>目からうろこでしょう。特に官の方に聞いてもらいたい項目ですね。田淵先生の言うとうりと思います。田淵先生、PPPの発展を希望します。</p> <p>もう少しPFIとPPIの比較をキチンとしてほしかったと思いました。</p> <p>答え：話しでは3セク、PFI、PPPの違いを話したつもりですが、すいません。官依存、税依存システムか、民、市場依存システムかということです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

多いに期待したい。日本の地方のために。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B
理解しようと言う姿勢はうかがえる。もう少し学んで頂きたい

整理番号	041
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	所長
企業・団体名	自治体総合教育センター

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>良かったです。</p> <p>もう少し講義自体を長くしてもいいのではないかと思います。もっと、勉強したいです。もっと、町のリーダーの人達にも聞いて貰いたいですし、又、若い人達にも聞いてもらいたいですね。これからの日本の地方には必要と感じました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

分かりやすい話でした。当たり前ですが、なかなか、官が強い日本では難しい話ではありますが。田淵先生には頑張ってもらいたいですね。

地域再生では使える。

東洋大学への期待

市が関心表明を出すというのは凄いですね。市長は強い富山のリーダーですね。

総合評価

B

もう少し学んで頂き、教育センターでも使ってもらいたい

整理番号	042
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体職員研修所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変よい話でした。最近聞いた話ではこれほど官民をはっきりさせた物はありませんでした。非常に良かったと思います。</p> <p>非常に勉強になりました。ありがとうございました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

大いに期待したい

東洋大学への期待

市で始まるのは歓迎ですね。

総合評価

B
理解はされている。もっと、学んで頂きたい。

整理番号	043
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	支所長
企業・団体名	自治体厚生センター

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>簡潔に話され分かりやすかったです。本当なら、是非、地方で使ってもらいたい。</p> <p>地方の病院経営は火の車です。PPPはこれらのこれからの地方の総合病院経営に活用できるでしょうか？地方総合病院の経営状況はまだ、勉強不足ですが。日本の今までのシステムのように、官がリスクを取らず、民に投げかけるがゆえ、民はその分、必要も無い物まで上乘せし、金額を高くしていったのではないのでしょうか？</p> <p>PFI等で見えるケースはカローラが必要な場所にロールスロイスがある形があります。これでは地方病院は経営がうまく行くはずが無いですね。又、アメリカと違うのは総合病院はアメリカでは経営が出来る経営陣で行います。医者が院長、これはおかしい。先生は医者で経営の勉強をしてきたわけではありません。これも直す必要があります。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

多いに期待しています。

東洋大学への期待

特には

総合評価

C
関心はある。病院経営に興味あり。

整理番号	044
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体職員研修所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>非常に良かったです。 日本、北陸でも大いに導入すべきであると思いました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

思いつきません。 (ごめんなさい)
可能なら導入してもらいたい

東洋大学への期待

で是非、始めてもらいたいですね。

総合評価

C
関心はあるが、そこにとどまっている。これからどこまで関心をお持ちいただけるか。

整理番号	045
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	所長
企業・団体名	自治体農業普及センター

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>歯切れがよく、聞き易かったです。</p> <p>現状は何と取り組んでいませんし、今後も予定はありませんが、民間活力の活用手法として興味深い話でした。公共施設等の払い下げ、指定管理者制度等、更なる工夫が必要ではないかと思います。</p> <p>新たな公的施設の建設に対して、極めて興味深い手法に思われました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

職員の待遇に関して大きな問題がありそうですね。今まで、日本の官は儲けとか、リターンとか考える必要が無かった。考えたら、汚職でした。それが税の無駄使いに繋がったかも。急にリターンと言われても時間をかけてもらわないと学べない。

東洋大学への期待

特にはありません。

総合評価

C

理解しようと言う気持ちはあるが、問題の方が多すぎると言う意見をお持ち。

整理番号	046
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	試験場課長
企業・団体名	自治体農業技術センター

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>よく理解できました。今まで、このような話は聞いた事が無かったです。確かに、この考え方、これからの日本で必要と思います。</p> <p>県有空地の活用をPPPで活用すべきではないかと思います。</p> <p>また、の農業機械研修所の土地の活用法をPPPで開発すべきと思いました。</p> <p>この婦中町の6.2ヘクターは面白いプロジェクトが出来ると思います。市長が大学で研究してもらいたい地域の一つに入っています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

そのとおりと思います。

PPPと3セクの違いが良く分かりませんでした。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B

理解は出来ている。もっとサポートすればもっと学ばれる。

整理番号	047
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変参考になりました。</p> <p>全く違った行政の切り口があり面白かったです。</p> <p>PPPは実際のところ全く取り組んでいません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPが活用できるのは公共資本整備であると思います。期待したいですね。難しいとは思いますが。

東洋大学への期待

特にはありません。

総合評価

B

理解しよう、必要と思われている。独自でと言うより、第三者的に見ていただけるようです。

整理番号	048
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>初めてPPPについて聞きましたが、大変参考になりました。 指定管理者は行っているが、PPPとは全然違うと思った。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

北陸でも取り入れる必要があると思いました。

東洋大学への期待

あると思います。

総合評価

C
関心、興味あり。

整理番号	049
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	副館長
企業・団体名	公立美術館

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>とても参考になりました。</p> <p>今の公立美術館はPPP的な考え方はまったく取り入れておりません。</p> <p>美術館の企画展にもPPPを考えたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今後使える手法と思えます。
期待したいですが、どこから始めるのか？

東洋大学への期待

特には

総合評価

C
関心があり、学びたいと思っていると思う。

整理番号	050
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	所長
企業・団体名	児童相談所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>まったく考えたことはありませんでした。 大変良かったです。久しぶりの意味のある話を聞きました。</p> <p>初めて知りました。</p> <p>会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？ 地元市の病院経営に紹介したいと思いました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今後、勉強したいと思います。

東洋大学への期待

総合評価

B
理解したいという意図が見える。

整理番号	051
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	次長
企業・団体名	農地林務事務所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変ためになりました。こんな事がある事は知りませんでした。 PPPの概念はまったくありません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本への導入について大変興味深かったです。是非、実現してもらいたい。

東洋大学への期待

でも手を上げてもらいたいですね。

総合評価

B
理解し、学びたい気持ちがある。

整理番号	052
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	主幹
企業・団体名	森林政策課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PFIは知っていましたが、PPPは初めて聞くもので興味深かったです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

もう少し勉強したいです。
勉強すればあると思います。
日本でも導入してもらいたいですね。時間はかかると思いますが。

東洋大学への期待

特にありません。

総合評価

B

理解しようという姿勢がある。こういう方に、広めてもらいたい、勉強をしてもらいたい。

整理番号	053
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	北日本新聞ホール (富山市安住町2-14)

氏名	
役職	企画管理部長・試験場長
企業・団体名	自治体農業技術センター

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
「ゼロ」ベースからの仕事の見直しが必要であり、アカウントビリティの見積りの必要性について認識しました。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

アカウンタビリティは日本で浸透できるか？今までのやり方では難しい。

東洋大学への期待

特にはありません。

総合評価

B
理解したといえるかどうか？

整理番号	054
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	(経済団体)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変良かったです。</p> <p>会としては特に取り組んでいませんが、何かできることはないかを考えたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PF1 や指定管理者の問題をクリアする必要があると思います。それがPPPに繋がると思います。

あるとは思いますが、今すぐには思い当たりません。

可能であれば期待したい。

東洋大学への期待

特には無い

総合評価

C

関心があるが、さてこれからと言う所でしょうか？

整理番号	055
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	所長
企業・団体名	環境科学センター

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>自分の機関としては何もしていません。</p> <p>今後の官の財政改革の一つの方向と言えると思います。しかし、日本ではいろいろ抵抗があるでしょう。今までのやり方の、言ってみれば逆な考えですから、大変だと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民間の合理性、経済性が馴染まない事業では導入は無理だと思いますが。

答え：PPPでは成果を必ずしも経済性、採算性に結びつける必要はありません。成果がその部の性格上合わないなら、その成果を数値で表し、アウトカム対しインプット計算で税が正しく使われているか判断出来ます。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B

理解しようという気はあるがその難しさも理解している。

整理番号	056
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	主幹 /
企業・団体名	財団 / 自治体教育委員会

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>まったく考えたこともありませんでした。未知の世界の話のようで実感が全然わきませんでした。</p> <p>答え：PPPは日本では新しい考え方です。数回聞かないと理解出来ない方も多くいます。簡単に言うと、皆さんの税がいかに効率よく、本当の意味で、税を払う納税者・市民のために使われているかどうかを考えるシステムです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

当地で活用可能かどうか実感がわかりませんでした。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

D

まったく関係ないという様子。幹部がこれでは問題がありますね。

整理番号	057
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	次長・総務課長
企業・団体名	自治体農林事務所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>平凡な毎日を送って疑問も持つ事もない自分にとっては、まさに、目から鱗の講演でした。頭を使えば全く様相の異なる世界がある事に気づかされました。</p> <p>機関としてはPPPはおろか民の活用も何も考えていません。発注して下請けで実施してもらっただけの業者です。それ以上のことは求めないし、民間にもないでしょう。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

現在のところ、見当たりません。

優秀な人達には遣り甲斐のある世界だと思いますが、
能力のない人にとっては社会保障たる観点から厳しいと思います。

東洋大学への期待

ありません

総合評価

D

これも困りますね。まだ気づいているだけ良いかもしれませんが。

整理番号	058
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
まったく考えてもいなかったです。知らなかったテーマで興味深かったです。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPに至るまで、まだまだ転換すべき点が多いように思います。
あると思いますが、まだそこまで行っていないでしょう
PPPに至るまで遠いような……。とても無理でしょう。

東洋大学への期待

特には

総合評価

D
非常に消極的です

整理番号	059
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	課長
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変勉強になったテーマでした。 今後とも研究していきたいと思います。</p> <p>今土木分野は、財政の困難、道路の問題、老朽化した社会資本の問題など、多くの困難に直面しています。実際に行っていることは、昔と変わりません。民には発注するだけなので、中身はすべて行政が考えることになっています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今まで通りでよいとは思っていません。これからの日本には必要でしょう。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

C
防衛的な意味で関心があるくらいでしょうか？

整理番号	060
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	総看護師長
企業・団体名	自治体肢体不自由児施設

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>官から民営化になる周辺公的施設の改革の考え方が良く理解できました。</p> <p>官が旗を振るリーダーシップの見直しはもとより、職員自ら官であることに甘えない組織内教育を重要と考えます。職場教育の資料としたいと思います。</p> <p>肢体不自由児施設の入園児が減少している中、空いている建物を民に委ねて効果的に活用できることがないか、考えてみたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

官が土地を用意し、民が金を出す、税の利用……との話の中で
企業との癒着問題が問題にならないようにチェック体制が困難と
ならないでしょうか。

田淵：全て始めから机の上に置き、オープンで行うことで汚職が起こらないようにしなければいけません。

東洋大学への期待

興味深い情報をありがとうございます。

総合評価

A

短い講義ながら、良くその意味を理解されたと思います。もう少し、学ばれ、実践してもらいたいですね。

整理番号	061
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体職員研修所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>民が官より全ての面で優れているという点には賛同できません。 官がある理由がなくなってしまう。 民間で出来ない総合調整や困難事例に取り組む必要があると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民間の意思を取り入れるという考え方が大変良いと思いました。
日本の指定管理者も要件がガチガチで民間の提案を受け入れる余地が
少ないと思います。

PPPはPFIからもう一歩、前進していますね。期待したいです。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B

理解は出来るが、官が民より仕事が出来ると思っている。日本の官のおごりではな
いだろうか。

アメリカでは民がより良い仕事が出来ると考える。

整理番号	062
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	課長補佐
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
新しい話 (PPP) として興味深かったです。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

当市に当てはめて考えてみたいのですが、PPPのより細かい部分が分からないので参考書が必要です。

検討しないとはっきりしません。あるような気はしますが、但し、市場が問題であると思います。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

理解しようとする姿勢はある。もっと勉強してもらいたい

整理番号	063
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	主幹
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPという名前を聞いたことはありましたが、中身が何となく分かったような気がします。</p> <p>新幹線駅周辺整備であると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

講師が言っておられましたが、貧した場合の最終手段のような気がしました。

日本での事例が積み重ならないと現実味がないと思います。

(制度面での実現性等)

東洋大学への期待

特には

総合評価

B

理解しよう、その方法等も考えられる能力をお持ちだが、姿勢そのものが現状維持的。

整理番号	064
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	ホール

氏名	
役職	主幹
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>手法の必要性は充分理解出来ましたが、日本に根付かせるには まだまだ時間がかかるのではないかと感じました。官が強く、柔軟性が無い</p> <p>現在、環境保全に携わっていますが、もっとも大きな問題である 地球温暖化防止に活用できるところがないか……と思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

県民の行政への考え方をどう変えていくのかが課題ではないかと思いました。

東洋大学への期待

特にはありません。

総合評価

C

理解は出来るが、日本での難しさも解る方かなと思う。

整理番号	065
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	所長
企業・団体名	家畜保健衛生所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>まったく考えてもない話でした。</p> <p>PPPについて初めて聞きました。</p> <p>分かり易い説明でしたので理解はできましたが、もう一度聞いてみたいです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>での活用について、これから考えてみたいと思います。</p> <p>自分の仕事（家畜伝染病防疫）の中で、民間獣医師（県獣医師会）の活用が課題となっています。これをPPPとして扱えるかどうか検討してみたいと思います。</p>

東洋大学への期待
特にはありません

総合評価	A 理解してくれたうえ、乏しい守備範囲の中で、実践に結び付けようと考えている。その方向で検討すれば必ず答えが出る。
------	--

整理番号	066
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	公益企業 営業部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>事業自体がPPPのようなものだと思っていますが、そうではない純粋の公共事業分野に民間を導入するのはPFIだと思っていました。</p> <p>初めて学んだPPP手法でしたが、講師の実績に基づく講演であり、非常に分かり易く参考になりました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本でも出来るようになれば良いと思います。
何が障害かは、何をしたいかを考えていくと気づくのでしょうかね。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

理解したと思われている。サポートしてあげて、もっと学んでくれればもっと出来るとおもう。

整理番号	067
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>初めて聞く概念に刺激を受けました。ここまで進んでいるとは知りませんでした。でも、聞けばそのとおりだと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

地域経済、地方自治体の経営が行き詰まる中で、官のあらゆる分野で民との協働の必要性を痛感しました。それ無しでは、難しいとも思います。

東洋大学への期待

PPPを応用できる事例を出来るだけ多く紹介して頂きたいです。
もっと、学びたいです。

総合評価

B
理解しようという努力は見られる。もっと、学んで頂きたい

整理番号	068
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	次長
企業・団体名	厚生センター

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>民間活力の利用の具体例を聞く事ができて良かったです。日本の事例も学びたいですね。まったく発想していない分野だったのでおもしろかった。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

この手法だと、力のある都市部に民間の眼が集まり、地方と都市部の格差の是正には難があるように思えました。

答え：そのとおりだと思います。しかし、地域地域で考え、独自のマーケットの中でPPPを推進し、自治体の財政問題、再生プロジェクトに活用してもらいたい。

東洋大学への期待

富山市が行なおうとしている事が具体的に見えたような気がします。是非、成功させてもらいたい。

総合評価

B
理解は出来たかな、もっと学んでももらいたい。

整理番号	069
日付	平成20年(2008年)1月15日 火曜日
場所	講演会場

氏名	
役職	主幹
企業・団体名	建築住宅課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>とても分かり易い講演でした。 こういう試みはまったく行っていません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

アメリカと日本との開発、税制等の違いから、日本の国民になじみ難い部分もあるのではないかと思います。

都市住宅再生事業には使えると思います。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

C
理解はするが今一良く解らない

整理番号	070
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	課長
企業・団体名	工事検査課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変分かり易い話で参加して良かったです。 今後の自治体のあり方、方向性だと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

観光や歴史的建物、開発に関しては大いに可能性を感じます。

東洋大学への期待

行政マンに啓蒙啓発していきたいと思います。
また、未だ知識が不足しています。
そのあたりのご助言をいただければ。

総合評価

B
理解されたと思われるが、もっと学んで頂きたい。

整理番号	071
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	研究員
企業・団体名	県立大学地域経済研究所

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>“Failure Not to Change”ですね。</p> <p>世界が音を立てて変わっているのですから、福井も変わらなければ30年後には生き残れないのでは？</p> <p>キーワードは「これからは日本海経済」でしょうか。</p> <p>公立図書館のメディアセンター化、観光協会リニューアルなど可能性はある。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

まずは、お役人の皆様が **Change** の勇気を持って、今にも倒れ掛かっている民をもうけさせて上げて下さい。

東洋大学への期待

特にありません。

総合評価

A
地域経済を学ぶ人なら、直ぐに理解頂けると思います。次は実践してもらいたいですね。

整理番号	072
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	会長
企業・団体名	民間企業(サービス)

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>示唆に富んだいい企画であると思いました。 当たり前とも言えるが、今まで日本では使わなかった</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本でも実行されるよう希望します。

PFI協会に参加していますが、その違いについて伺いたい。

参考文献があれば教えてください。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

PFIをやられていれば、その限界も理解され、PPPの有効性も理解出来るでしょう。もっと、PPPを学んで頂きたい

整理番号	073
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	主任
企業・団体名	産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>知恵をめぐらす事の必要性を感じました。地域のために。</p> <p>商店街は、悪い意味での官と民の協働をしています。補助金を当てにした整備では、結局、消費者にとっての魅力はない。</p> <p>中心市街地活性化には使えるでしょう。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

もっと勉強が必要と感じました。

トップではない立場の者にできる、あるいは、すべき準備、
訓練、勉強は何でしょうか。

答え：まずは、学ばれ、自分の分野での活用計画を書いてみる。それを上司、トップに見せる。そこからでしょうか？

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

A

一回の講演でよく理解されたと思います。もっと勉強して実践できるようになってもらいたいですね

整理番号	074
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	
企業・団体名	自治体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPの種類で日本の現状で活用するノウハウの重要性が分かりやすかったです。</p> <p>市では旧機業所を「ミュージアム」と公共の場、観光の拠点に活用、その運営組織に適用できると思う。また、エコミュージアムの労働組織にも適用できると思われます。</p> <p>具体的に考えないと進まないと思うので、自分の仕事の中でいろいろ工夫したい。</p> <p>組織としてどうよりも、まず一人一人の職員が考えることが重要。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

公共サービスでの規制が、日本の場合多くあり、民の力が表れにくいと思います。

LLP、LLCの関係はどうでしょうか。

答え：PPPは手法です。LLP・Cは組織システムです。

東洋大学への期待

特には

総合評価

A

理解はされた。公共サービスの民営化の難しいと思われ、開発系は出来ると思われている。半分正解、サービス、行政業務も可能です。

整理番号	075
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体職員

氏名	
役職	
企業・団体名	土木部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>土木は基本的には全部民間企業に発注している。そこで民間と一緒にやっていると考えるはならないということを理解できました。</p> <p>大変有効な講演でした。</p> <p>ビジョンを持つ事の大切さが分かりました。</p> <p>講演の通り、発想の転換が必要だと感じました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

都市計画、街づくりに使えると思います。
本県において、PPPを理解してもらえるかが疑問です。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B
理解は出来るが、本県では無理という逃げの姿勢がある

整理番号	076
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	
企業・団体名	土木部都市計画課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>目から鱗と言った感じでした。 地方で使えるのか、この県で、と思いましたが非常に興味深いものでした。</p> <p>駅前商店街 = シャッター通りの解消が最大の課題。今でもPPPをしていると言え、言えなくもないが、今日聞いた話とは本質的に違う。何が違うか、ヒントを得られた気がする。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

長期計画を立てるとした場合、正解が変わる、首長が変わるのはなかなか難しいのではと思います。

作成した場合、ザックリしたものにはならないのでは……
どんなものでしょうか。

答え：是非、大学院に来て学んでもらいたい。実践する方法は多くあります。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B
理解しようと思われているが、応用となるとかなりスキルが不足している。

整理番号	077
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	主任
企業・団体名	財産活用課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>官と民が知恵を出し合い、役割を分担することにより お互いに大きな成果が出せる可能性があることが分かりました。</p> <p>自分の仕事ではいろいろ可能性がある。 今日の話を使えばすぐにでも動くことができる。 それはすばらしい発想だと思う。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

官の財政状況の苦しい中で、官が知恵を出し、民のノウハウを活用していく流れは
今後、増加していく可能性があると思います。

首長が理解を示せば、可能性大

東洋大学への期待

官にはできない民の発想を活用していくことが期待されます。

総合評価

B

PPPのコンセプトは理解された、これから実践を学んでもらいたい

整理番号	078
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	
企業・団体名	観光連盟

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>観光に携わっている立場から、観光産業は世界最大産業であるという言葉が印象に残りました。北陸にあるものの良さを勉強し、理解を深め、いい所を売っていく為に、考えて新しい事を提供していかなければならないと感じました。</p> <p>観光的は多いにあると思います。もともと民とくっついていきますので。ただし民だけでもできない。上手に行政がまとめてくれるとありがたい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

様々な事業やイベントを行っていますが、観光事業者の方、その他の会員の方が利益を得る事ができるようにする事が課題だと感じました。

東洋大学への期待

どう実行するか教えてもらいたい

総合評価

B

観光産業に使えることは理解した。実践を学び、行ってもらいたい

整理番号	079
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	
企業・団体名	市町村課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>新しい視点を学ぶ事ができました。</p> <p>財政規模の小さい町の開発</p> <p>サンディ Springs市の土木以外の住民サービスはうまくいっているのでしょうか。</p> <p>答え：非常にうまく行っていると聞きます。民経営によって、市民へのサービスが格段よくなったからです。日本の官のサービスが、民のサービスに勝てるとは思えません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本でも充分活用ができると感じました。

東洋大学への期待

情報はたいへんありがたい

総合評価

B

一応の理解はされた。もっと学んで実行してもらいたい

整理番号	080
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	自治体庁舎

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
官と民が今後横並びの関係を保ち、共に地域の再生を行うことで地方にも様々なビジネスチャンスがあることが理解できました。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

大きい都市より、むしろ地方の小さい都市にこそ可能性がある手法だと思いました。

再開発をするにあたり、民を活用する積極的な姿勢を示せるのでしょうか。

東洋大学への期待

官へ積極的なお膳立てに期待します。

総合評価

A

開発をやられる会社の方なら直ぐに理解できるでしょう。官との難しさが課題とされている。

整理番号	081
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	営業担当 主査プランナー
企業・団体名	公益企業

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>変わらなければならない、リーダーシップ、長期ビジョン等は必要であることを再認識する有意義な研修会でした。</p> <p>公民連携し、活力ある ができればな……と思います。</p> <p>販売力を高めるには産業の活性化、人口増が不可欠です。 地域の特産品、生産日本一の製品を産・学・官で伸ばしていく長期ビジョンをたてて取り組むことにより人口増、経済の活性化＝販売 増につながると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

このような研修を広く一般向け（商工会議所等）に開催すべきだと思います。

東洋大学への期待

官へ積極的なお膳立てに期待します。

総合評価

A

民の方は良く理解される。官ももっと理解してもらいたい

整理番号	082
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	支店長
企業・団体名	サービス

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>新しい収益チャンスの可能性を感じられました。</p> <p>車両の運用(所有、メンテナンス、レンタルシステムの提供)や不動産の開発、運用等で貢献可能と考えます。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPを上手に活用する事によって地域の活力がUPする事が理解できました。

官の意識が大きく変わらないと進まない取組みだと思いますが、成功事例が出来ると一気に進む（横並び）体質を持っているので、この波に乗り遅れないようにしたいと思います。

東洋大学への期待

特には

総合評価

A

民は理解が早い。問題は官がフォロー出来るかどうかという問題点まで指摘している。

整理番号	083
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	所長
企業・団体名	公認会計士(事) / 経済同友会

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PFIとか指定管理者とかとの概念よりPPPの発想が本末の官から民への姿と思いますが、日本で何故PFIとか指定管理者等の概念が先行してしまったのか。PPPの考え方で本当の官から民への姿が見えるのだと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

会計士としてはアカウンタビリティは理解出来ます。官が出来るか？今まではする必要が無かった。

会計士がかなり時間をかけても自治体の会計、財政状態がしっかり把握できない状況では一般市民に財政の危機感が伝わってない。

今年から自治体が会計報告をし始めたら、大変なパニックが起こるかも？

PPP 施策をスタートするのに大きな障害であり、この危機感をベースにしないと発想、行動力、工夫が出てこないし、市民の支援が受け入れられない。

も日本も市民の危機感、世界観が不十分でここからしっかり勉強する必要があります。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

A

会計士としては理解できるでしょう。もっと会計の立場から、官の会計を観察してもらいたい。

整理番号	084
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	誘客推進事業部長
企業・団体名	県

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>グローバルな視点として、基本的な発想が聞けて役に立ちました。</p> <p>主要観光地やPR、集客について民間に委任する事は十分に考えられます。 現状でも行ってはいますが、もっと企画段階から民間の知恵を入れるということ、思い切って任せると言うこと、その代わりリスクも負ってもらうと言うことなどを学びました。</p> <p>観光は住民の安全や権利に直接影響しないので、PPPを進めやすい分野だと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPによる効果は理解できました。

しかし、観光以外の幅広い分野で、具体的に動かすためには広く県民の理解が必要だと思います。県民が理解し、首長が理解すれば、出来るでしょう

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

理解されている。しかし、問題点も指摘している。

整理番号	085
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	代表取締役社長
企業・団体名	製造

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPは官の赤字体質の建て直しの為には非常に良いと思います。 (要は、頭を使って付加価値創造を追及せよ、との事であったと思います)</p> <p>自分は毎日企業経営の中でどうすれば付加価値を付けて市場で生き残っていけるかを考えています。誰にも負けない自信はある。こうした競争力を生かして、PPPで役立つなら少し考えてみたい。今まで、関係ないと思っていた世界が開けました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>官の人材の教育が必要であるが（各分野の専門職の）これが出来るでしょうか。</p> <p>当県は原子力発電の日本の大切な県、これの活用をもっとやるべき（全ての面で）であると思います。</p> <p>ただし、どちらかと言えば、官と大企業の連携になるような気がします。 中小企業はプロジェクトのボリューム（大）が不利なのでは？</p>

東洋大学への期待
なし

総合評価	B 民は聞けば問題点も含めて直ぐ解る。同じ講演を聴いても、ここまで違う。これが日本の問題では？
------	--

整理番号	086
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	部長
企業・団体名	産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>非常に刺激的であり、良い意味で常識がひっくり返させられました。 実例が豊富で自分達で考えるヒントを豊富に頂きました。</p> <p>自分の仕事の中ではまず中心市街地再開発。県外からの“人の誘致”を含む。どうすれば民に魅力を持ってもらえるか、補助金ではなく事業の魅力を高めて、その中で、プロジェクト全体の収入を分配していく。それがPPPだと思います。</p> <p>あとは観光ですね。観光は、比較的民間との協働に抵抗がありません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

公共サービス全般に広げるにはPPP推進のためには変えなければならない事が多すぎるが、PPPで変わることは確実だと実感しました。

未来は楽しみです。

この取組みを幅広く日本中に周知する必要があると思います。

行政評価システムが整備される中で、官の中に効率的なお金の使い方についての関心は高まっているが、お金を稼ぐ、歳入を増やす発想はまだ官には少ないと思います。この意識を変えていくことが課題であると思います。

東洋大学への期待

今は無い

総合評価

A

行政官であっても、よく理解されています。やはり、中央官庁からの方ゆえ、把握が早いのかも、又、これから日本の地方自治、行政が何を問われるか理解しているがゆえに、このようなりアクションがあったと思われる。

整理番号	087
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>全く初めて聞いたことだったので、目から鱗が落ちた気分です。 官として当たり前と思っていた意識から、まず変えていく必要があると思いました。</p> <p>PPPが使える分野はいろいろあるとおもいます。全てと言っても良いかもしれません。 これは使えないと思っても、それは行政職員の思いこみに過ぎないのではないのでしょうか。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

地方から変えていける手法であると認識しました。
ただ、職員一人で考えて導入していけるものではないと感じました。
皆で共通の認識を持って取り組む必要があります。

地域のリーダー、首長が理解してもらいたい。そうすれば、下は動きやすい

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

A
官として、どう受け止めるか理解いただけている。リーダー教育が必要

整理番号	088
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県財産活用課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>内容と熱意に衝撃を感じました。</p> <p>すぐにPPPの活用先として思い当たるのは、総合植物園の経営を黒字とすること。木材産業を黒字とすること。</p> <p>プロジェクトは生き物であり、十分な研究が必要である事。 しかし、それはより良いものを目指すという基本的なものであると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

大いに期待しますが、自分を含め日本人は変化を好まない点が、ネックとなるのではないかと思います。まず、自分から変わることをしたいと思います。

答え：そうですね。しかし、変化が起こらないと日本の未来は？

東洋大学への期待

特にはない

総合評価

B
理解はされた。日本での難しさを指摘。

整理番号	089
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	企画主査
企業・団体名	県産業労働部 国際・マーケット戦略課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>これから自分が公務員として何かできないか、大きなモチベーションの一つとなったと思います。</p> <p>大変分かり易い講演でした。</p> <p>国際交流を担当していますが、近年、官の交流より民間交流が主流となっています。</p> <p>国際交流には貿易も含まれると考えますとPPPを活用する余地は充分あると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今後は日本でもPPPが一般的なものとなる可能性を感じました。

「モノ」はどこにでもあるはず。それを如何に上手に活用するかで大きく違ってきます。何事も発想の転換が必要ですし、考え方一つで大きく変革できるものだと感じました。

東洋大学への期待

特にはない

総合評価

A

理解されている。もっと学んで、実践してもらいたい

整理番号	090
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	副理事
企業・団体名	県都市戦略部 交通政策担当

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>発想の転換の重要性を認識しました。</p> <p>官民の役割分担を分析、見直してみたいと思います。</p> <p>交通事情における活用。</p> <p>すでに、3セク鉄道があるため、将来のあり方をどうするかが難しいです。3セクはPPPの一つだと思いますが、今日の話とはだいぶ違っているように思います。民にもリスクを負ってもらう必要を感じますが、現実の3セクは行政がリスクを負っています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

特にはない

東洋大学への期待

特にはない

総合評価

B

理解はされ、どこで使われるか考えられる。もっと、勉強してもらいたい

整理番号	091
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県農林水産部水産課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>熱意あるなかなか聞けないお話であり、有意義でした。 有り難うございました。</p> <p>自分の仕事との関係ではとっさに思いつくことはありません。もともと民間の事業者を対象にしており、市場原理を活用することが非常に難しい。言うのは簡単だが、できるとは言えない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

素晴らしい考え方（方式）とありますが、まだ始まったばかりであり（日本では）長期的に成功するか疑問もあります。（PPCAとの関係）部分的適用は検討の余地ありますが、サンディスプリングス市のような例は長期的には疑問です。

税金が減ったとかではなく、県民の幸せの長期的担保になるのかどうかの事例があればご教示願いたい。（短期的な成功ではなく）

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

理解されながらも、もっと他が頑張られ、それから自分もと言った感じでしょうか？積極性が見あたらない。

整理番号	092
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	参事
企業・団体名	県農林水産部農業技術経営課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>これからの行政の方向を示されたと感じました。今の自分の仕事の中にはありません。</p> <p>農村の高齢化、耕作放棄地の発生に使いそうな気がします。</p> <p>PPPについて学んでみたいと思いました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

特にはありません

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B

理解され、今後の日本での可能性を理解されている

整理番号	093
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPとは何か、何故必要なのか、といった事が少し理解できました。 これからPPPという視点を持つ事が必要だと思いました。</p> <p>しかし、官がコントロールする中で、どうして民の参入を考えられますか？官が本当に困らねばこれは出来ないでしょう。絶対に税を、コントロールを失いたくないと動くでしょう。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPは必要でしょう。本当に困った地域で、官も手を上げる地域では使えると思います。

東洋大学への期待

特には

総合評価

B

他力だがもっと学べばもっと理解されるでしょう

整理番号	094
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	企画主査
企業・団体名	県産業労働部地域産業・技術振興課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>現在の日本では都市再生が大きな問題となっているが、民間を活用したシステムを知る事ができ有意義でした。</p> <p>また、具体例を中心に講演が進んでいたため、説得力がありました。</p> <p>今後は、福井駅周辺再開発、特に新幹線導入計画内での活用が期待されます。</p> <p>あとは、伝統産業の産地の都市再生ですね。産業が地域を作っていたので、産業が疲弊すると地域全体も衰退しています。産業は民間の活動ですのでPPPが使えると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

自治体の財政が厳しい中では可能性をもったシステムだと思います。
官・民が互いに危機感を持って知恵を出し合う姿勢が必要だと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

理解され、どのように使えるかも理解されている。もっと学んでもらいたい

整理番号	095
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	企画幹
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>財政が厳しい中で中長期的な国（県市町村）の“かたち”をどのように構築していくかが我が国の課題だと思います。</p> <p>また、その課題解決の一つの手法と理解しました。</p> <p>病院 JR 福井駅前の再開発 港湾整備（再開発）</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

閉塞感が増している地域、地方における新たな開発、整備方法として期待したいと思います。
まずは、具体的なプロジェクトで実施し、課題、問題点、メリット、デメリットを検討すべきと考えます。
行政の全てをPPPに転換する事は非現実的だと思います。
(サンディスプリングス市のように)

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解されている。民が全て出来るとは思えないと考えている。

整理番号	095
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>資産とマーケット（市場）を保有していないと達成困難であろうと思いますが、一度大きな発想転換が必要と思います。官に市場は理解できません。</p> <p>港周辺 …………… 観光と交通物流の拠点 ⇔ 自然環境の保護</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

県の行政は大部分の規制行政であり、民の考えが理解出来ない。
どこまで規制ラインを下げて大丈夫なのか全部署で洗い出すべきと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

C
日本の官の理解があるゆえに、難しさがそこにあることを理解されている。

整理番号	096
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>目から鱗の感ありです。</p> <p>今まで当然だと思っていたのは、単なる甘えなのかもしれません。視点を変えることで全く違う像が浮かび上がってきました。自分の仕事の中でもできることはいろいろあると思います。</p> <p>まず、空港の再開発、再利用策です。民間が使うので、民間の視点で考えることで今以上の工夫が出てくると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

税制等、また、法的規制面等の障害は日本の場合、存在しないのでしょうか？

答え：今の所、法規制で出来ないという事実は出ていない。

東洋大学への期待

期待したい。

総合評価

B

理解は出来るが、出来るかどうかの疑問

整理番号	098
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	課長補佐
企業・団体名	県総務部財産活用課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>あまり理解できなかったが、現在において民間の力を導入する事は当然という感を再認識しました。</p> <p>遊休資産の有効活用には確実に使えると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

自分の事を良く知ることが最も大切であることに同感です。

東洋大学への期待

なし

総合評価

C

良く理解されなかった。しかし可能性は感じている。

整理番号	099
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主任
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>初めての話で大変面白かったです。</p> <p>あまりにも衝撃的だったので、難しくもありますが、自分の仕事との関係では、産学官共同研究に活かせるか??</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

発想の転換が必要であり、ネタを見つける事が重要であり、リーダーシップの重要性を認識しました。

リーダーシップが重要である。

職員全員に聞かせるべき（知事を含め）だと思いました。

3～4年後の成果を求めている間は無理！

東洋大学への期待

ありがとうございました。

総合評価

A

理解された。リーダーシップの大切さを理解されている

整理番号	100
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	都市再生関係 推進室副課長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>大変興味を持ってました。 もっと話が聞きたいと思いました。</p> <p>中心市街地の再生や遊休土地の活用には確実に使えると思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

基本的な考え方は理解できましたが、企業がのってくるのかが不安と感じました。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解された。さてこれから？

整理番号	101
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	企画主査
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>日本の行政にはビジョンとリーダーシップがないと感じました。 優良な企業なら当たり前のことなのに！</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

有効な手段の一つであろうと思います。

ただし、ビジョンもないまま、手段としてPPPを導入しようとしてもうまくいくはずもないだろうと思います。

まずは、PPPの前に経営感覚を理解する事が必要だろうと思います。

儲からない企業にも金を出さざるを得ない今の行政の経済施策を打開する方法になるかもしれないと感じました。

ただし、儲けるには選択が重要であり、住民の理解と割り切りとリーダーシップが必要だと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

A

同じ講義でもこれほど理解度が違うのはびっくりです。この方は、講義からPPPの基本を既に理解されている。このような方にはもっと勉強してもらいたい、サポートしたいですね

整理番号	102
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主任
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPのシステムは非常に効率の良い考え方であると思います。 勉強になりました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPの考え方を浸透させるには発想の転換が必要であるとの内容について、行政として発想の転換が必要である事についてはご指摘通りだと思います。加えて、個人個人の意識の改革もなければ浸透は難しいのではないだろうか、と思います。(政治等に関心ない個人が多すぎる)

期待したいがどこから始めれば良いのか？リーダーの教育ですか？

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解された。もっとサポートしてやれば、実践できる

整理番号	103
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	課長補佐
企業・団体名	県産業労働部

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>考え方を考えることにより可能になる事があることを感じることができました。 非常に参考になりました。</p> <p>県内でも候補となる地域課題がいくつもあります。 PPPを導入するに当たって、まず、地域側で整えるべき事項はあるのか…………… <地域の危機感、リーダーの存在、マーケットとしての価値……………></p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

コンパクトな街づくりが求められる中で知恵の出し方で多様な可能性があると思います。
田渕さんのような人材（プロジェクト マネージャー）が必要だと思います。
（地元のリーダーの理解は不可欠だと思いますが）

東洋大学への期待

特には

総合評価

A

一回でよく理解されている。もっとサポートしてあげれば、この方はPPPができる。

整理番号	104
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>もっと県内の行政サイドを中心に、PPPについて勉強してもらいたいと思います。</p> <p>PFI事業・公有地の活用等、会社として取り組んではいますが、県内では変化する事を面倒くさがり、なかなか民間活力が入り込めません。 だから、当社の福井営業所の人員を増やしたくても増やせません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

当社の業績も官民比率についても今では民の方がかなり良い方向に向っています。
そのように民力に官がのるべきと思います。

何にもない事が民間としてのビジネスチャンスと思います。
県が何故このような講演会を企画したのか知りたいと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

A

同じ講演でも、これほど官と民で違う。驚きです。もっと、官が前に出ればこの企業は手を上げるでしょう。

整理番号	105
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>県は今後、人口が減っていくなか、それを見ているだけではなく、どう対応していくのか等、考えさせられたと思います。</p> <p>あると思うが官が解るか？</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPをうまく使えば、日本の問題も解決できると思いますが、
3セク等のイメージもあり理解を得るのは難しいのではと思いました。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解されている。民にはわかりやすい課題でしょう。官が問題でしょう。

整理番号	106
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県総合交通課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>現状に対する危機感の低さを痛感しました。 従来の固定観念にとらわれない発想の転換の重要性を再認識しました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>中長期的ビジョンが必要との事でしたが、時代の流れの早い現状では、なかなか難しいのではないのでしょうか。</p> <p>こういう時代だから必要なかもしれませんが。</p> <p>コメント：日本には長期ビジョンが無さ過ぎる。</p> <p>PPPで行う場合は、土地等の不動産保有が前提となるのか、ビジネスとして成立しにくい分野は官が支援する等、官が主体的にならざるを得ない場合もあると思いますが、如何でしょうか。（地方鉄道の経営等）</p> <p>答え：市場性です。土地が無くても、官は官の目的のため、民は己の利益追求のため。そこでパートナーシップが出できれば、出来る。</p>

東洋大学への期待
なし

総合評価	<p>B</p> <p>理解されている。もっとサポートすればこの人はできる。</p>
------	--

整理番号	107
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県総務部人事企画課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>事例を聞くと、すごいなと感心する反面、スケールが大きくて自分とは遠いような気がしてしまいます。しかし、今後は自分の業務を行う中で常にPPPという視点で一度は考えてみることにしたいと思いますし、何かそのようなアイデアに触れた時も見逃してしまわないようにしたいと思います。</p> <p>少ない資源で大きなものを生み出せる可能性がある方法だと感じました。その為には、常にいろんなアイデアに対して心をオープンにして、且つ、色々なシステムや事例に関する知識を機会あるごとに得るよう心掛けたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今の仕事は内部管理業務であり、一般的に官の内部管理コストは民間より高く、今のやり方で少しずつ手法を変えていくだけでは限界があるので、PPPに合うかどうか分からないが、参考にできる点は参考にして大きく変えられないかと思います。

東洋大学への期待

特にはありません

総合評価

B
一応の理解はされた。もっと学べばもっと実践できる

整理番号	108
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	企画参事
企業・団体名	県産業労働部

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>PPPという言葉自体が初めてで、官民連携のあり方、米国での取り組みは目から鱗でした。 貴重なお話を有り難うございました。</p> <p>人口の減少の中での地域の活性化(産業○○・○) 観光の振興(地域資源の活用)</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

これまでの既成概念にとらわれない発想の転換の必要性を痛感しました。
もっと危機感を持って幅広くPPPを学び、今後の地域活性化につなげていきたい
と思います。

アメリカとの風土、考え方が違う中で、私も含め住民の意思改革をどうしていくか、
危機感が足りない。危機感の〇?〇・、本来の民間企業は全体的に力が弱いような
気がします。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解された。もっと学べばもっと必要性を感じられる

整理番号	109
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主任
企業・団体名	県健康福祉部障害福祉課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>具体例を多くあげて話して頂き、大変分かり易かったです。</p> <p>社会福祉施設の維持管理での導入を考えます。</p> <p>指定管理者制度の次のステップですね。どう使えばいいか、具体的に進めていく中で理解していきたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民の利益を支援しつつ、民の力を借りる、なるほどと発想の転換が必要と感じました。

今後、益々重要になる考え方になると思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

一回で理解された。もっと学んでもらいたい方ですね

整理番号	110
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>日本という事ではなく の特性として投資と開発を実際に引き出すためのセグメントとインセンティブの付加が不在だということを改めて実感しました。</p> <p>JR 駅西口広場+再開発（地元は市場の設置を希望しています） 原子力利用を柱とした拠点化計画 観光関連の一本化と連携（食を含む） Empty Nest（教育子育てとエンプティの健康長寿）の有効活用</p> <p>の自治体は国の補助制度の利用について非常に高い能力を備えています。 その反面、公共交通機関やハコモノの整備といった活性化や地域利益拡大のツール自体が目的化する傾向があるため PPP の啓蒙に対する期待は大きいです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

3セクやPFIはコスト削減を目標としたスキームであったために十分な成果を上げられませんでした。民間が真剣にリスクテイキングを検討できるバンクブルな素材を行政が提供できるか、また、どうインセンティブをつけPRをするかがPPPのカギと感じました。

東洋大学への期待

なし

総合評価

A

同じ講演を聴きながらここまで理解が違うのは何でしょうか。PPPの基本、使用方法、問題点まで指摘されている。

整理番号	111
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	市役所政策調整室

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>公共が税金を投入しないで公共サービスを提供できるという点は財政が厳しい中では非常に興味深いと思います。</p> <p>駅日口の再開発</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

市場性が成立するかがPPPのポイントであると思うが、地域によっては市場性の成立が難しいのではないかと思います。

利益を追求するあまりに住民の福祉を損なう例もあるのではないかと思います。

モニタリングの仕組みはどうなっているのでしょうか。

答え：住民へのサービスが基本です。官のメンタリテイで住民は満足していますか？

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

官の台所を知るがゆえに、PPPの可能性を理解されている

整理番号	112
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	総務部長
企業・団体名	公益企業支店

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>実践に基づいた講演であり大変興味深く聴きました。 有益な内容であったと思います。</p> <p>遊休土地の活用にPPPを取り入れられないでしょうか。</p> <p>失敗事例はないのでしょうか。 参加(入)した企業へのペナルティはどのような場合があるのでしょうか。 (不採算による撤退以外に)</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

現段階で大変有効な手法であると感じましたが、3セク、PFIについても説明時には素晴らしい手法と感じました。

今一度、講演内容を反復し、民にとって本当にどうなのか考えたいと思います。

東洋大学への期待

ありがとうございました。

総合評価

B

民は理解が早い。問題点、詳細な考えまで進めれる

整理番号	113
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	公益企業支店

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>ある面で「目から鱗」の内容であり、良い刺激になりました。 なかなか聞く事の出来ない内容であり発想の転換の必要性を痛切に感じました。</p> <p>居住地の地域活動に携わっていますが、地域自治（地域振興）についてもPPPの発想が必要ではないかと感じました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

国内一地域の今は社会組織の実態、今後の社会動向を考えると是非とも必要なシステムだと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

民は理解が早い。もっと学び、公益会社として地域のために何が出来るか考えてもらいたい

整理番号	114
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	代表
企業・団体名	コンサルティング

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>官の発想を根本から変える必要性を痛感しました。 自分も官を変える力を出したい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PFIに疑問を抱いていただけに大変有意義でした。

PPPを実施する事になると、官の諸規制がガンになると思われます。
諸規制突破策などご教示頂けますと有難いです。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
民からみると理解が早い。

整理番号	115
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	市マーケット戦略室

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>税という財源をいかに効率的に使うか、この点でPPPの効力の大きさを実感しました。</p> <p>広報、建築、あらゆる分野に活用できると実感しました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民が利益を出す仕組み、それをどのように考えるかがポイントだと実感しました。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

この官の方は理解されている。もっと学んでもらいたいですね

整理番号	116
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県市町村課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>岩手県紫波町のような地方の小さな町で PPP の手法による地域再生ができる事が特に印象に残りました。</p> <p>駅前再開発 中心市街地再開発、等</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民の手法を使うことの必要性は理解できますが、市街地からも遠く離れた過疎地でこの手法を使う事は難しいのではないかと思います。

日本では何をやるにも官主導で、という意識が根強いが、官は旗振り役に徹し、主は民に任せるという発想の転換がなければPPP手法の普及は難しいと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

理解してもらっている。実現の問題点も指摘。もっと学んでもらいたい

整理番号	117
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県産業労働部

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>アメリカの事例がそのまま導入できるものではないと思いますが、考え方を参考に版PPPを検討する可能性を感じ、大変刺激を受けました。</p> <p>県内各市の中心市街地等街づくりではパブリックとプライベートの公民連携の可能性があり、商店街等の活性化ではプライベートとプライベートの民間PPPができないかと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本では官も民もまだまだPPPを進めるための意識、信頼関係が築けていないが、全体の中長期プランの構築とする分野から取り組む努力が必要だと思えます。

東洋大学への期待

なし

総合評価

A

一回聞いただけで随分理解されている。もっと勉強してもらいたい

整理番号	118
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	代表取締役社長
企業・団体名	サービス

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>官民（公民）の有り方について大変参考になりました。</p> <p>官の保守的、真面目な考え方やリベラル的な考え方から脱出し、民に於いても正しく公平で意欲ある姿を互いに見出す必要性が、現在の状態だからこそ感じられました。</p> <p>成果についての評価や継続性について責任はどこにあるのか？</p> <p>（日本人の感性と風土では未だ考えにくいと思います。日本人の意識改革の改革化か？）</p> <p>答え：パートナーですから、お互いに独自の責任は果さねばならない。ここが違う所です。</p> <p>未だ考えつきません。</p> <p>（中国の主要都市で始まっている事が日本で未だ出来ていない事もあるのではないか！）</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

考察のやり方、とらえ方については単純でありながら意義、価値を広める事が大切な手法であると思います。

企業の大小強弱の差は個人の利益にあまりにも影響が大きいと思います。

(日本の風土に“すぐ”馴染むのか?)

東洋大学への期待

なし

総合評価

B

民は皆さん本当に吸収が早い。このような方が官にいれば直ぐ出来るかも

整理番号	119
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県庁

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>現在の自分、仕事、町、県などをまずは知る(世界のトレンドから小さな問題まで)事、そして、考えるという熱意を感じました。</p> <p>観光産業には適用可能です。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民と交渉出来る人材を適所に配置する事、制度のより一層の研究、普及が必要であることから簡単な考え方を出来ればよいと思いました。

東洋大学への期待

なし

総合評価

C

理解は出来るが、積極的は出ない。もっと学んでもらいたい

整理番号	120
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	市営業開発課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>現時点で持っていた自分なりのアイデア（ウォーターフロントの活用、スポーツ施設、スポーツチーム等）の裏づけを頂いたようで自信を持てるようになりました。</p> <p>駅付近の再開発事業 テクノポートや港の有効活用 市における環状線鉄道（私案）</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民（マーケット）を中心に持ってくるという考えは確かに必要だと感じました。
ただし、「公」が自らにとっての利益の大きい「民」を選択する時に地元の「民」より
大企業を優先してしまうと本当にそれでいいのかという風を感じてしまうのではないかと
思います。

市町村単位よりも都道府県レベルの方が馴染みやすい方法かと思いました。
是非、知事に会って話をして頂けたらと思います。

東洋大学への期待

なし

総合評価

A
是非、この方はサポートしたい。知事にもお会いし、PPPで県をどう考えるか話
したい

整理番号	1 2 1
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	副課長
企業・団体名	公益企業

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>国内に於いても既に可能性の調査を行っていることは知りませんでした。</p> <p>(駅周辺)の整備、再開発</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

を活性化させる切り札になるかも知れないが、更に規制緩和が必要ではないかと思えます。

答え：今の所、PPPを行うに規制緩和は必要ないと言われています。

東洋大学への期待

なし

総合評価

C

もっと学んでもらいたい

民間人らしくない消極的な発想

整理番号	1 2 2
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県産業労働部労働政策課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>新しい考え方で驚きました。 こういった考え方が今後、日本に導入されてくるのだと思いました・</p> <p>県内企業は優秀な人材確保に頭を悩ませています。 また、人の誘致について県は頭を悩ませています。 PPPが摘要できないものでしょうか。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>システムとして大変おもしろい。</p> <p>の企業は官からサービスをより多く、よりよく受ける事に力を入れています。</p> <p>意識改革が必要である。</p> <p>既得収益の壁は厚い。(これまで官が守りすぎた)</p> <p>是非、リーダーもこの考えを持ってほしいと思います。</p>

東洋大学への期待
なし

総合評価	<p>A</p> <p>同じ講演でも、随分理解度は違いますね。是非、リーダーの方方にもお会いし、PPPに関して、 県に関して話をする機会ができればと思います。</p>
------	---

整理番号	1 2 3
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県産業労働部労働政策課

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>大変参考になりました。ありがとうございます。</p> <p>話を聴きながら、我々の仕事に置き換えるとPPPで何が出来そうか考えましたが、法令等が頭に浮かび中々アイデアが出てこないものです。</p> <p>「発想の転換」は頭が固いと出てきません。しかし、今の地方自治体の体制は将来的には難しいと思いますし、PPPの考え方は必ず必要なものになってくると感じました。</p> <p>“次の問いに続く……………”</p> <p>就職説明会等 → 参加企業の出展料（現在無料） （既存の考え、法律での困難） → ただし、企業の人材確保を公共の仕事として行っているため <u>公平</u>も求められる。 ↑ 国（ハローワーク）における職業紹介業務も同様</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

特に「観光」、人口減少社会の中、国内でも人材確保、Uターンに地方はやっきになっている感。効果的なPRは民間の方がうまいと思います。

企業が参入する旨みに対して地方自治体の歳入（リターン）増として固定資産税、市民税が挙げられるが、やはり県と比較すると市町の方がPPPを利用する動機づけとして強く働くものでしょうか。

県、もしくは、将来的な道州としてイニシアティブをとって導入できるPPPはどのようなものがあるのでしょうか。

東洋大学への期待

なし

総合評価

A

是非もっと勉強され、PPPをマスターされ、県の仕事をしてもらいたい人ですね

整理番号	124
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県自然保護課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>公民連携という事が大事であると分かっているつもりになっていたと思います。 PPPの事例をもっと詳しく勉強する事からはじめたいと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

公のお金を一切使わずに民の儲けたいという気持ちを利用して事業を実施していく、
驚きました。
発想の転換等、今後考えていきたいと思いました。

東洋大学への期待

まずはいろいろ教えてください

総合評価

C

もっと勉強してもらいたい
勉強しないと分からないというのは、結局分かっていないこと

整理番号	125
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県健康福祉部地域福祉課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPの分野で日本と米国では、民の自由度の違いを実感しました。</p> <p>指定管理制度を導入し、管理運営している施設</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本においてはPPPについて意識が低いため、色々な事例を参考にしつつ、手探りでもよいから進めていく事が必要だと思います。

県は、これまでに気づかれていない未知なる可能性、価値が残っていると私も信じております。

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解している。もっと学んでもらいたい

整理番号	1 2 6
日付	平成20年(2008年)1月17日 木曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主査
企業・団体名	市企業局浄水課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>首長、経済会のリーダーシップが重要であることが分かりました。</p> <p>公営企業部門 区画整理によって発生する宅地をどのように活用するか、民間のアイデアを募って、整理の段階から考えるという発想が必要</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

現行法の運用次第で都市再生ができる、「静かな革命」であると思います。
意外なほど規制はなく、実は我々の気の持ちようでいかようにでもなるのかもしれない

東洋大学への期待

なし

総合評価

B
理解はしてもらえた。

整理番号	127
日付	平成20年(2008年)1月22日 火曜日
場所	県

氏名	
役職	
企業・団体名	町役場総務部企画財政課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPの最新情報を聞く事ができ、とても参考になりました。 アメリカでお聞きした内容と若干の相違を感じました。</p> <p>市街地調整区域の取扱いについてでしょうか…… 本町では町の中心である公共施設（庁舎、公民館、体育館、福祉センター）の周辺が市街地調整区域です。 市街地区域に向け、活用は可能なのか……少し無理があるように思います。</p> <p>PPPに参加してもらった企業の選定はどのようにするのでしょうか？</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPを行うのには最初はコンサル等に支援してもらわないとノウハウがないので実施が難しいと思います。その時にそのような専門的コンサルの選定がまた難しいのではないかと思います。

東洋大学への期待

希望します。

総合評価

B

理解はしてもらった。さて、実際にはと考えた時には良くわからない。もっと学べば解ると思いますが。しかし、消極性が残っていますね

整理番号	128
日付	平成20年(2008年)1月22日 火曜日
場所	県

氏名	
役職	
企業・団体名	市都市計画課

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>PPPのその有用性について、米国での視察の経験後であることもあり、強く共感しました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPの定義が明確に表現されていないところが、公務員・行政の世界では浸透し難いところであると考えています。概念・考え方は説明を聞いたりすれば分かるのですが、日本語への分かり易い翻訳、言い換えが普及には不可欠であると思います。

PPPについて、公務員以外の、政治家や市民への啓発の仕方が、これからの課題であると思います。

PPPの概念は市の行政の多くの分野に当てはめる事は可能です。

しかしながら、公務員・行政の世界への浸透は未だならず、ましてや、市民、地方政治家には更に馴染みがなく、現在では適用は困難であると思います。

PPPの成功事例が日本において積み重ねる事が出来れば良いと思います。

昨今の財政事情から、それぞれの地方地区の特徴を活かすPPPの手法は必要付加欠です。その点で期待します。

疑問として、PPPによる事業が失敗した場合の責任論について、どのように考えればよいのか…、どのように市民に対して説明ができるのか…が疑問です。

その疑問に対する答えが行政不信の中、市民に受け入れられるかが重要です。

現時点ではPPPの普及には懐疑的です。公務員のトップ、つまり首長、地方政治家のリーダーシップが全く期待できません。その理由から関心はありません。

逆に、そこをどのようにクリアーするか？ 単に「正しく、説明を続ければ、必ず理解される」という理屈は行政不信の中で実務を行う者には説得力を持ちません。

東洋大学への期待

希望しません。

総合評価

C

少しの理解はある。又、地方自治の実体も知っている。それゆえ、可能性を信じられない。言われるように成功事例が出てくれば、彼も信じるでしょう。

整理番号	129
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	経画部長
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>都市計画分野のコンサルティング業務を行っています。</p> <p>PPPは用語としては知っていますが、実際は良く知りませんでした。この機会に勉強できてありがたいです。</p> <p>CH2M社と市との契約期間はどうなっていますか？ 市との分担条項の主な内容はどのような事柄ですか？</p> <p>答え：契約は6年契約ですが、1年ごとの年次報告で更新されます。市は政策、予算を担当し、それを実行するのがCH2Mです。 警察、消防は市の直営ですがその事務処理はCH2M社です。</p> <p>PPPとしてCH2M社が効果的、効率的であったとする評価は誰がするのでしょうか？ 第三機関が在するのでしょうか？ (特に、サービス等の内容の効果の分析は？)</p> <p>答え：市長、市議会、シテイマネージャーが判断します。第3機関は入りません。 民企業ですから、満足が行かない従業員は解雇が出来ます。サービスの内容は市民からの声、満足度で判断しています。サービスの内容も電話は2時間以内、工事は24時間以内に対応等の基準を設けています。今までの官のサービスより数段上とされています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

これから多くでることは間違いありません。
PPP 以外に方法がないでしょう。

東洋大学への期待

情報をいち早く伝えてほしい

総合評価

A
理解しようと言う姿勢はわかる
かなりレベルは高い

整理番号	130
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	行政防災課
企業・団体名	県庁

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>日本のPPPでは、PFIが法制化され、5年間実施されています。</p> <p>PFIで民間に任せると、例えば、プールの屋根が落ちてしまったように、官が運営するよりも質が落ちるのではないかと考えられつつあるように感じます。</p> <p>(安かろう、悪かろうのイメージ)</p> <p>自分の仕事は安全安心に関わるものですから、なかなかPPPは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>答え：そのとおりです。官民がリスクを分担、民が利益を出さねばならないゆえの努力、官の市民への義務をいかに効率よくやるかです。CH2M社は一番安い数字を出したわけではありません。市民サービスへの満足度です。PFIのように安かろうで官がリスクを取らないと、民はいかに安く造るかを考えると屋根が落ち結果、必要の無いものを造る(病院等)になります。民が官とリスクを取り合えば、採算の合う、合理性が出てきます。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

我が国のPPPの問題は発注方法です。一般競争入札は価格競争だけ。官の発注条件は、官の都合で決めており民の知恵を入れていない。

市民の方を見ていない発注の方法を改善するために、どのような手段を取るべきでしょうか？

答え：最終的には市民の満足度が民企業の存続に繋がります。常に議会（市民の代表）、市民へのサービスを考えた活動が必要です。議会と行政と一緒に仕事をする必要があります。

東洋大学への期待

ない

総合評価

A

興味はある、理解もある程度出来ている

整理番号	131
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	(ネットワーク通信)

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>会社としてPPPに関わっているわけではありません。いろいろお聞きして、新しいチャンスを作ろうと思います。</p> <p>日本では、まず、道州制の実現を試みるべきではないでしょうか？</p> <p>答え：道州制での新しい政府では可能性が大でしょう。</p> <p>その間、経済的に自立できない地方自治体が多く出でていきます。</p> <p>答え：自立出来ない自治体はその中で県の傘の下に入る（アメリカでは郡政府）多くのその様な地域をまとめ、スケールを出して経営を行う方法が可能かと思います。</p> <p>自治体運営の脱本的改革が必要ですが、税制、議会制度の改革をオーナーシップ制に変えるには意識改革以外に現実性、経済性を納得させるには？ また、その手順は？</p> <p>答え：SSから言える事は税が半額でサービスが良くなった事、これを市民に知らせる必要があります。経済性が良くなり、税が安くなるなら、市民はそれを望むでしょう。</p> <p>日本の中央政府、官僚制を打破するには？</p> <p>答え：日本の国民にその責任があります。民の重要性、利益追求、効率追求が考えるPPP的考察が必要と思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>Sandy Springs のケースは大きなショックを与えるでしょう。刺激を受けて動き出すのではないのでしょうか。</p> <p>「公的事業」の改革、Sandysprings ではどの様に限定しているか？</p> <p>安心、安全、災害対策は？</p> <p>どのように合理化できたか？</p> <p>どのように市民の幸福度が増えたか？</p> <p>答え： 市民のグループ、ボランティアが設定していった。安心、安全は市が直営、災害は市とCH2Mが負担という形で行う。合理性はスケール、シェアードサービス、等で得た。市民は民的対応（客への対応）で官の時より、より市民を考えたサービスを行っている。</p>

東洋大学への期待
特にありません

総合評価	<p>A</p> <p>理解は出来ている。よって質問が多くある。</p>
------	--------------------------------------

整理番号	132
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	部会長
企業・団体名	経済団体

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>本日のプレゼンテーションの中ではビジネスモデルとしての仕組みの部分が、実は良く分からなかったもので、もう少し具体的に、どんな分野をどんな方法で運営しているのかを教えてくださいと思います。</p> <p>そもそも学校、病院、図書館、ホールといった不採算部門を含まないでは日本とのモデルとしての比較にならないではないでしょうか？</p> <p>答え： 教育、福祉、図書館のように採算性が考えられないものは採算ではなく、効率性を考え、より良い税の使用をはかる事ができる。官が500人でやる仕事をSSでは140人で民が行える、是が効率性です。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

サービスの質を担保できるか。官尊民卑の気風の中で、まず、市民に満足させるサービスをどう説明責任を果たすか。

サービスレベルの評価は誰がどのように行っているのでしょうか？

見直しを行うシステムはあるのでしょうか？

1社（CH2MHILL）が市の運営に携わっている期間はいつまででしょうか？

運営（経営）上のリスクをどの様に市と企業とで具体的に分担したのでしょうか？

ファシリティ コストに対する考え方が日本とは全く違うのではないのでしょうか？

このスキームの中で FMer の役割はどのようになっていますか？

答え： 評価はシテイマネージャー、市長、議会で行う。勿論、市民も参加する。

6年契約だが、毎年成績で更新される。ガバナンスはサービスをカットする、契約の中断です。民はここまで投資したシステムをギブアップ出来ないゆえ、サービスを旺盛にして、市民、議会の満足度を高め、切られないようにしなければならない。市は政策決定、予算設定等を行い、CH2M 社はその実行活動を行う。

その契約はフィックスコストゆえ、より効率の良い活動で利益を上げようとする。

東洋大学への期待

こういうシンポジウムの開催は画期的です。

総合評価

S

興味は持っている。質問で解らない所を理解しようとしている

整理番号	133
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	次長
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>日本では民にリターンの機会を与えません。 だから民はリスクの移転をいやがる。官は民がリスクを取ろうとしないから、自分が取るしかないと考える。だが、それはリターンを取らせないから。</p> <p>CH2Mの報酬はどのようになっているのでしょうか？</p> <p>答え： フィックストコストです。コストプラスの考え方もありましたが、市の税収を考えた際にはやはりフィックストコストが市にとっては有利。民にとっては、税収入に関して、今まで官が見つけられなかった税を発見、徴収した時はボーナスが発生します。契約上のフィックストコスト部分だけでも普通の市の半分の予算でCH2M社を行っています。又、追加予算請求は10万ドルまでいないと言う事です。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

まずは官の意識を変えること。すべてはそこからはじまります。

東洋大学への期待

今日はありがとうございました。

総合評価

B
理解をしているが故の質問と思う。

整理番号	134
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	学生
企業・団体名	

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>民営化にせよ、PPPにせよ、反対の根拠として 公権力行使 プライバシーの保護をどうするのか の2点があげられます。SS市はこれらの課題にどのような対応しているのか？ 答え： 政策は市が行い、実行活動を民が行っています。もし、何らかの不正があった場合は民企業は契約解除されます。これはきついガバナンスです。 プライバシーも同じです。もし、不正があればこれまでの投資を全て取り上げられます。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

SS市において、PPPの成果をより大きなものにしていくための、今後の課題となる事は何か？

答え： この新しいシステムをより完全な形にして行く事でしょう。

しかし、市側としてはあまり改良がないと言っている。新しい市役所を民の金で立てる方法を生み出すとか、ダウンタウンをより活気のあるものしたいとか、と言う希望はあるようです。

東洋大学への期待

今後とも情報提供をお願いします。

総合評価

A

理解する態度あり。これから学んでもらいたい。

整理番号	135
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民団体

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>民にとっては利益を追求できるかどうか大きな関心事である。</p> <p>自治体運営をすることで利益は追求できますか？</p> <p>答え： CH2M はどれほど利益が出ているか発表しておりません。市にとっては関係ない問いと言っております。なぜなら、市は同格の町の半額でより良いサービスを受けているゆえ、いくら民が儲けているか知らなくても良いとのこと。しかし、140名の従業員を2500万ドルで経営すれば、一人18万ドル(約2千万円)、これは儲かっています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

建設会社が、受託するのは、工事の利権と絡んで日本では問題がありそうですが。

建設業界の利権に対して、本来の業務に影響はないですか？

答え： ジェネコンですからサブコンのコントロールをするわけですから、問題は無いでしょう。

東洋大学への期待

総合評価

A

興味があり、出席した上でさらに知りたいという趣旨での質問と思います。

整理番号	136
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	県職員

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>県の仕事としては、民間との協働を幅広く進めるというもの。民との関係なので、契約方式や期間などに興味があります。</p> <p>PPPの契約の見直しは定期的に行うと思いますが、どれ位の期間で行いますか？ また、その契機は何か？</p> <p>答え： 契約は6年契約です。しかし、毎年、報告書提出で更新を行っている。 民は今までの投資を回収するためにも契約を長くするために努力をする。</p> <p>サービス(CH2)評価は誰が、どのタイミングで行い、その成果は反映されるのか？ (市民の声が本当に反映できるシステムは構築されているのか)</p> <p>答え： 毎年の報告書で評価される。市長、議会、シテイマネジャーによって。 市民の声は毎日のように記録され、評価される。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

本日これほどの人数の方が聞きに来ていること自体日本での将来性を感じさせます。

東洋大学への期待

貴重な機会を頂戴しましてありがとうございました。

総合評価

A
理解しようとする態度がある。

整理番号	137
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民団体

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>民間に能力がないといけませんね。</p> <p>CH2MHILL社と市は何年契約を結ばれているのか？</p> <p>答え： 6年契約</p> <p>全米にはCH2MHILL社と同様に、市の業務を請け負えるような会社は他にもあるのか？</p> <p>答え： あると思われるが、今の所、1社だけと思われる。誰もやっていないので。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

理由はないが、日本では難しいと思う。

東洋大学への期待

ありがとうございました。

総合評価

B

関心はある(それゆえ出席した)。もっと学んでもらいたい

整理番号	138
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	PFI推進部
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>PFIは数多く手がけている。それだけに逆に意識が縛られている傾向もある。自社ではここまでのリスクは取りきれない。</p> <p>こういった業務に参画すると決めた経営判断のポイントは何だったのか？ (チャレンジ、300万\$投資リスク……前進あるのみ??)</p> <p>答え： 正直に言うと時間、金が無かったゆえ、この方法しかなかった。 応札相手の他2社はどのような会社だったのか？</p> <p>答え： パーソンズ、その他であった。</p> <p>シカゴの99年契約の紹介があったが、長すぎる契約は逆に無責任ではないか？</p> <p>答え： 普通そこまで読めない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

A市との面白い比較だが、職員1人あたりの歳出は同程度、また、歳入はA市の方が多いとか矛盾はないか？

答え： A市はSSに比べ、税金が高い

民間発意の対象プロジェクトとして日本で考えられる分野は何と思うか？

答え： サービスなら民が確実に官より効率よくやれる。

もともと車やオペレーターを共有できるなら市町村合併して、結局、郡化が最も効率が良いのではないかと思います。

答え： その通り。共有、シェアードサービス、郡、県がまとめてやれば効率は良くなる。道州制でも同じ。

東洋大学への期待

総合評価

A

PFIをやっている企業ゆえ理解は早い。又、詳細な質問もある。

整理番号	139
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	区議会議員

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>議員としては民の活力導入に力を入れてつもりであるが、今日のケースには心底驚いた。</p> <p>そもそも、当市では、市長、議員、シティアドミニストレーターはどのように選ばれているのでしょうか？</p> <p>答え： 日本と同じです。選挙によって市長、議員が選ばれ、市長と議員が行政官を選び、行政官が民の企業を選んで行っています。</p> <p>はじめ市は税収が無かったがそれはどうしたか？</p> <p>答え： 銀行から1000万ドル借用、民は3百万ドル前払いした。信頼から生まれたシステム。又、銀行は税収入のスケジュールが理解で出来た。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

何とも言いようがありません。

東洋大学への期待

地元の大学として良いイベントをしていただいている。

総合評価

B

区議会議員さんにはどうでしょう。理解は頂いたと思いますが、さて、自分の区議ではと考えると大変と思います。

整理番号	140
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>自分はフリーな立場である。個人として取り組めることを進めたい。</p> <p>P32 下図中の SandySprings 市、市長部局の表にある「地域開発部」とは、具体的にどのような業務を行っているのですか？ (「地域」のとらえ方、「開発」という言葉の意味について知りたいので)</p> <p>答え： 経済開発、企業誘致と思われる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

P39 上図中1の「適正規模」とは職員の規模なのか、業務の規模なのか、何の規模ですか？

また、市民が適正規模を判断する際、行政コストだけを規準とするという意味でしょうか？

(ただ、コストから何らかの規模を決めるというのは逆のような気がします)

答え：政治的難しさと思われれます。25万人までの市ならこの形で問題は無い。しかし、それ以上になると、議員の数、システムの複雑さが出てくる。

東洋大学への期待

総合評価

B

興味あり、しかし質問が多くある。

整理番号	141
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	チーフアドバイザー
企業・団体名	サービス

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>指定管理者として図書館の運営を受託している。図書館ははじめてだったが、図書館のことを知っていると逆に思いつかないこともある。むしろ、斬新な知恵を入れるにはじゃまになることがある。他の業務をいろいろ手がけたい。</p> <p>本日の話を聞いて、もっともっと可能性があることに気づいた。</p> <p>サンデイスプリングス市の住民が完全民営化する前と後でどのような評価を民営化に対して行ったかをお聞きしたい。それも、多様な市民がいる前提で……</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 富裕層 2. 貧民層 —— で分けてお聞きします。 <p>答え： 2. の貧民層はアパート生活でアトランタ市への通勤で住む人達であり、市政に口を出さない人達です。アパート暮らしだと固定資産税を関係ありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. の富裕層は郡政府によって貧民に行うサービスと同じでは困るゆえ、このようなシステムを了承した。税が安く、サービスが良いなら問題は無いでしょう。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

既存の完全民営化市、セントラル市の進行状況を詳しく知りたい。

答え： 既存の町の民営化はこれからです。6ヶ月くらいで報告が出来ると思います。

CH2MHILL社の採用決定した理由と評価は？

答え： ファイナンス的安定性とサービスに関しての経験、成績です。

SSは税収入ゼロ、6ヶ月で出来た町ゆえ、市としてはファイナンス的に安定し、前払いできる企業が必要でした。行政以外はCH2M社は素晴らしい記録を持っています。誰も行政をやった企業はありませんでしたが、元官の経験者を集め、その経験を判断された。

東洋大学への期待

総合評価

B

理解はしている。故、詳細なディープな質問が出ている

整理番号	142
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>米国(または、サンデイスプリングス市)では、「市」の下に住民自治組織のようなものがありますか? サンデイスプリングス市の方式がより細かな地域活性化や住民自治に寄与するのでしょうか?</p> <p>答え: それは郡の間違いでしょう。SSは市になった事でより住民に近い形でサービスを行う事が可能になりました。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

CH2M 社が「当初に取った対応」は何故早かったのか？

行政分野の技術会社との業務の中でガバナンスの点などで問題意識があったのか
お聞きしたい。

答え： 前払いする姿勢（3百万ドルまで）が良かった。市は税収が無かったゆえ。
SS では何回聞いてもガバナンスの問題は無かったと言っています。

米国では、第二の CH2M 社のような企業が生まれているのか？？

答え：今の所、出来る所は CH2M 社だけです。出来ると言っている企業は後数社あります。

東洋大学への期待

総合評価

A

この質問の仕方から、どれくらい理解しているか推測できる

整理番号	143
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	上席研究員
企業・団体名	公立の研究所

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>日本の場合、公平性が強く求められ、その点が障害になっています。</p> <p>サンデイスプリングス市の場合、HILL社以外の建設会社は市の行なう建設関係業務に参加できたのでしょうか？</p> <p>他社参入にあたり、不公平ではないかとの議論は生じなかったのでしょうか？</p> <p>答え： アメリカの方がより、公平性を問われます。42社から始まったプロセスですが最終的には3社が残りました。その中からCH2M社が選ばれました。</p> <p>市の仕事で大きなものは全て外注し、CH2M社がCMを行います。</p> <p>予算追加は要求しません。不公平の議論は生まれておりません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

市は州、or、国から交付金を受け取っているのでしょうか？

答え： 交付金のような物は道路意外殆どありません。自分でまかなえるようになっています。

地元の雇用はどのくらいの数ですか？

答え： 10万人の町ですが、殆どがアトランタに仕事に行く方です。

アウトソーシングにより資産が市外に流出する事になりませんか？

(地域経済にマイナスの影響はありませんか？)

答え： 資産は全て市が所有しています。売却はしておりません。

東洋大学への期待

総合評価

A

理解しようとこの質問事項を出している

整理番号	144
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>CH2MHILLの親会社、関連企業は市の発展(建設局)に参画できないのでしょうか？</p> <p>答え： CMとして参加します。参画の意味が解りません。</p> <p>CH2MHILLは満足出来る利益を本事業から得ているのでしょうか？</p> <p>答え： 十分に得ているとのこと。又、後3市の経営もコンペで勝ったのですが、それより儲かるようになったとのこと。</p> <p>行政処分について、民間で可能なものと不可能なものに分ける際、クライテリアは何でしょうか？</p> <p>答え： 無いそうです。政策、予算は市が、実行は民です。消防、警察と言った、安全に関することは市の直営です。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

東洋大学への期待

総合評価

A

質問の内容からある程度の理解はしている。

整理番号	145
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>下水道、建設業、環境事業を本体で行っていらっしゃるようですが、自社に仕事を回したくなる誘引をどのようにして断ち切っていらっしゃるのかを教えてください。</p> <p>答え： CH2M社はジェネコンですので、他の事業はサブコンでコントロールしています。はじめから、仕事分担を分けてやっています。</p> <p>公共の利益と民間の利益の相反性をどのように解決していらっしゃるのでしょうか。</p> <p>答え： これは相反しない考えです。フィックスコストでもより効率の良いサービスを行えばより利益に繋がります。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

コーポレート・ガバナンスとして組織的に組込まれているものがありますか？
或いは、非公開企業である事が株主等からのプレッシャーを受けずに済む事と
関係があるのでしょうか？

答え： 首切る、契約破棄がガバナンスです。それが怖いゆえ、民は頑張っています。
前払いとして3百万ドル行う必要があったゆえ、会社の経営陣からは多大な関心、
命令があったと思えます。大きな企業ゆえ、失敗なり、汚点は出せない。
それが良いサービスを行う動機になります。

東洋大学への期待

強く期待してします。

総合評価

A

シンポに出席と言う事から興味、理解はある。その中で質問が出てきている

整理番号	146
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	顧問
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>アウトソーシングとPPPの差が今一つ理解できません。</p> <p>答え： アウトソースとは官が全ての資産を持ち、依頼された仕事を民企業が行うと言う事です。英語で言う privatization とは資産を売却し、民が運営すると言うことです。</p> <p>民間人のモラル（高い倫理観）開発とか、新しい契約に関し、自社が有利になるよう秘密が流れていくのではないか？</p> <p>答え： CH2M社としてはこれで汚点が残れば、あとあとの会社のレピュテーションに関するゆえ。会社としては失敗は出来ない。</p> <p>どのような罰則、或いは、倫理規定があるのでしょうか？</p> <p>答え： 汚点を作ったら、契約破棄になります。それがガバナンスになります。民企業ですから過ぎにクビも切れると言うシステムでコントロールされています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

東洋大学への期待

総合評価

S

良い質問です。日本ではガバナンスで騒ぎますが、アメリカではそれほど騒ぎません。国柄でしょうか？日本では官と民に距離があり、そこにガバナンスを騒ぐ。アメリカでは素直に関係を作る事に慣れているからでしょうか？

整理番号	147
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>日本で民営化の議論が行われる時、問題になるのはサービスの質の担保をどうするかという問題です。そのモニタリングはどのようにして行われるのでしょうか？</p> <p>答え： これは日本での議論ですがアメリカでは問題になりません。問題を起して、損をするのが民だからです。モニタリングは月の報告書です。</p> <p>市、議会、マネジャーは直ぐにアクションが取れます。</p> <p>また、サービスの質の持続的改善として、サービスの受け手と日常的に接している現場の担当者の提言があるがマニュアル化したサービスメニューでこれを改善していく事が出来るでしょうか？</p> <p>答え： 契約書は簡単なものです。サービスの基準が書いてあります。</p> <p>それをどう行うかは民が決めます。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

日本の財政システムでは、国からの交付税、補助金があり、それが自治体の財政規律を弱めるように働く可能性があったが、米国の財政制度はどうか？

答え： それば日本の弱点です。それが中央政府が地方自治をコントロールする方法です。アメリカでは自治体が徴税し、自立できるようになっています。中央政府には地方自治体をコントロールする方法は非常に少ないです。

東洋大学への期待

総合評価

A

いい質問です。このようなフォーラムを多く開催し、日本の企業、官に学んでもらいたいですね

整理番号	148
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	課長
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>失礼な質問かもしれませんが、この辺が役人の反対根拠になりそうなので質問しました。誰が、どうやって CH2MHILL OMI のパフォーマンスをモニタリングしているのでしょうか？（もっと良いパフォーマンスをあげられるパートナーがいるかもしれません）</p> <p>答え： SS の例で民が官より、より良いサービスが行える事が判明した。より安い資金で。モニタリングは日々の民の活動です。悪ければ切れる。これがガバナンスです。しかし、逆に CH2M の方が、辞めれない事情があります。1 独自のレピュテーション、2 他の事業への影響です。これだけの投資を1アクションでゼロにするわけに行きません。</p> <p>誰が、どのように CH2MHILL OMI のパフォーマンスが不十分だと判断し、相手先を変える事を決断できるのか？（市長なのか、議会なのか、市民投票なのか？）</p> <p>答え： そうです。年間のレポートでダメと判断されると出てゆかなければなりません。これまでの投資をゼロには出来ないゆえ、頑張らねばなりません。それがガバナンスです。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

万が一、市がパートナーを変えるという決断をした時に現実問題として変える事が可能なのか？（数ヶ月間の Convert 期間が必要か……それとも？）

答え： 理由無く、市は6ヶ月のノーテスで切る事が出来ます。

その場合、CH2M社は全て、おいて出てゆかねばならない契約になっています。

そうならないために、CH2Mが努力する必要があります。

SandySprings市の周辺地域も同じCH2MHILL OMIとPartnershipを結ぶのであればそれぞれが独立して市となる意味はどこにあるのか？

答え： 違う場所です。中に違う町も存在します。それゆえ、独立している必要があります。

次には、それらが一緒になって、より効率性を上げるという選択肢が当然あり得ると思うのですが如何でしょうか？

答え： その通りです。1社で4つの市の経営を任されているゆえ、効率の良い経営が出来ます。しかし、4つとも、それぞれ独自のコンペで選びました。

CH2M社は全て勝ったわけです。

東洋大学への期待

総合評価

S

良く理解されている。正しい質問です

整理番号	149
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	チームリーダー
企業・団体名	不動産

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>デベロッパーは運営に責任を持つので、将来の仕事に対して、責任を持つことが重要。言い換えると、責任を持ってない仕事だと民に委託できないのではないかと思う。その点がクリアになれば、日本でも展開が可能になると思うが。</p> <p>CH2MHILL OMI が契約どおり事務をしなかった際（債務不履行）に……</p> <p>1. ペナルティは何があるのか？</p> <p>答え： 契約破棄です。それによってそれまでの投資が無駄になります。</p> <p>2. バックアップする他の会社や機関は用意されているのか？</p> <p>答え： 契約破棄ばかりか、それまでに作り上げたシステム、人材はにおいてゆく契約になっています。</p> <p>それがガバナンスになります。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPが必要なことはよく分かりました。発展させていきたい。そのためには、PPPの実践を少しでも広めないといけないと思います。

東洋大学への期待

非常に期待しています。今日はありがとうございました。

総合評価

A

ゆえ、良くわかっている。その中での良い質問と思います。もっと学んでもらいたい

整理番号	150
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	パブリックソリューション部
企業・団体名	銀行

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>機関としてはPPPに非常に熱心に取り組んでいます。</p> <p>今度民営化されるので、現場としては、PPPに傾注することでビジネスモデルを作り上げたい、しかし実際にはなかなか難しいというジレンマを抱えています。</p> <p>SandySprings 市と CH2M 社との間でボーナスやペナルティはないとの事でしたが、事実でしょうか？</p> <p>答え： 殆ど無いと言った方が正解です。ボーナスはあります。今まで無かった税を民が見つけ徴税した時にボーナスが出ます。</p> <p>「インセンティブ」を設ける事で民(CH2M社)のより良い行動を促し、「ペナルティ」を設ける事で官が求める業務水準を確保する形を取らなかった理由は何でしょうか？</p> <p>答え： ペナルティは契約破棄です。これはCH2M社にとっては大打撃になります。それまでの投資がゼロになり、会社の評判を落とす事になります。</p> <p>即ち、「インセンティブ」と「ペナルティ」なしで SandySprings のスキームがうまくいっているのは何故でしょうか？</p> <p>答え： お互いへの信用と聞いています。これなくして関係は作れません。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

これ以外に道はないと思っています。

東洋大学への期待

総合評価

S

大学院の院生、非常に良く理解され、その中での質問です。

整理番号	151
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>民間ベースで地域開発に取り組んでいる。 PPPの発展のために何が出来るか考えるために参加した。 官民間の契約の中身を勉強したい。</p> <p>CH2M HILL OMI社のサンディスプリングス市の契約は何年間か？ 答え： 6年契約です。しかし、毎年レポートカード提出で更新が行われます。</p> <p>契約額、または、1ヶ月の契約金額の確保はどのようにしているのか？ (価格はどうやって決めたのか) 答え： これは聞いておりませんが、必要な人時間を割り出し、それに時間、日あたりを計算し作り上げたと思われます。市としては払える金額があるわけですから、フィックスコストで行います。それが他の市の半額に近い額とすると、市民、市長、議会は満足です。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

もっと情報がほしい。情報を公開すると意識を変えることができるかもしれない。

ルイジアナ州のセントラルの話は是非、聞きたいですね。

答え： 6ヵ月後には報告出来ます。

CH2MはSSの工事に参加できるか？

答え： ノーです。工事の監督、CMは出来ますが工事は発注します。

アメリカにはCH2M社以外にこのような仕事出来る会社はありますか？

答え： 出来ると思っている会社は2-3あるそうですが今の所、実際に行っているのはCH2M社だけです。

東洋大学への期待

総合評価

A

理解はしているが、もっと学んでもらいたい

整理番号	152
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市企画部企画経営室

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>自治体経営に取り組んでいる。非常に興味深い事例である。</p> <p>PPPによって民間企業へ移籍した元公務員の処遇について――</p> <p>答え： SSは新しい市だったのでそれは無かった。</p> <p>ミラー氏によれば、200以上行った下水道事業の民営化事業では、元職員は給与等は保障されている。</p> <p>業務の効率性を高めてもらうとの説明があった。一方、三輪氏の資料では「待遇や就業環境は激変した」とあるが、どちらの情報がより正しいのか。単純な給与以外の面も含めた変化などはどうか？</p> <p>答え： 下水道等の民営化事業等では給与は保証された。待遇は良くなったと聞いています。また、CH2M社に移転した事により、より多くの機会を得る可能性が増えたと聞きます。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識
<p>官民間の役割分担が課題。自分たちは、なかなか理解していないことが分かったが、社会全体はさらに理解していない。この理解を高める必要がある。</p> <p>PPPによる公と民のリスクの分担——</p> <p>民間企業の事業リスクは当該プロジェクト契約についてのみ負うのか？</p> <p>例えば、企業業績の悪化が予見された場合の反応は？</p> <p>また、パートナーの経営が破綻した場合、市などへの影響は？</p> <p>その際にとられるオプションは何か？</p> <p>答え： 契約内での保証である。よって、始めから市は会社の経営状況、財政状況は注意をした。しかし、民起業が破綻、倒産した際には企業を作り上げたシステムを残して、去らねばならない契約と言う事です。官に負担は無く、逆に得をすると思われる。</p>

東洋大学への期待
貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございます。

総合評価	<p>A</p> <p>質問からして良く理解している。問題点もわかっている。</p>
------	--

整理番号	153
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	不動産 総合研究所

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>デベロッパーの研究所に勤務している。都市再生に関わる動きを活性化させるのが目的であるが、PPP自体の活性化が必要であることは間違いないと確信しています。</p> <p>適材適所の人材を、しかも、リーズナブルな賃金でアメリカ中から集めてくる事ができる国の背景が鍵と考えられる・</p> <p>日本では、優秀な企業社員は現況では流動化しにくい。</p> <p>終身雇用制がベースとなる日本では、人材はどこから集めるのか？</p> <p>答え： 水道、下水道事業では日本ではここ数年で多くのエンジニアの退職者が出る。自治体はこれらのエンジニア無くして、運営できるかどうかの不安がある。ならば、その人達を民起業が雇用し、自治体の運営のお手伝いを民としてやってゆくことは十分可能と思われる。</p> <p>また、彼らに今まで民間企業でもらっていた給料を払えるのか？</p> <p>答え： この論理なら、払える。又、一時退職者はフルタイムに働かない人、フルタイム等色々なパターンも可能と思われる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

単発の事業なら日本でも大いにあり得ると思う。

答え： 単発でなくとも、十分に可能と思われる。

東洋大学への期待

画期的な試みと高く評価しています。

総合評価

A

十分に理解されている。実行に移せる方です。

整理番号	154
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	不動産

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>住宅デベロッパーに勤務しています。</p> <p>クロストレーニングによりシステムの効率化を図り、雇用を確保したそうだが、具体的事例を説明してほしい。</p> <p>答え： 民企業ゆえ、適材適所を考え、元官の職員に民感覚をトレーニング、民を官トレーニング、又、町を変えたり、職場を変えたりしながら調整したと伝える。</p> <p>シェアードトレーニングとは？</p> <p>答え： 一人のエンジニアはサンデイスプリングス、一箇所にいる必要は無い。自分の職種で他の町に行き、同じサービスを行う事も可能である。又、CH2M社の他の現場に行く可能性もあるとの事。例えばコールセンター、これは究極的にはデンバーの本社で全ての自治体のサービスを行う事も可能と思われる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

放置していても進まないが、取り組み次第である。
自分でできることを着実に進めるつもり。

東洋大学への期待

総合評価

S

院生、良く理解され、実行しようと学んでいる。

整理番号	155
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	建設コンサルタント

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>建設コンサルタントとしては非常に興味がある。</p> <p>CH2MHILL の契約に期限はあるのか？ 一社が独占か？</p> <p>答え： 契約は6年。それ以下は民にとっての投資額回収が難しいと思われる。 1社独占での契約であるが、SSの場合でもCH2M社がジェネコンで、同じチームにサブコンを使っている。工事の場合は外注、しかし、CH2Mがプロマネ、CMも行える。余分な費用が発生しないという特権がある。 6年契約でも、毎年レポートを提出、評価を受ける。それによって、解雇も可能性としてある。それは企業にとってはあってはいけない事ゆえ、毎日、努力しなければいけない。 今の所、アメリカでもこれが出来る会社は1社、他に出来ると思っている企業は数社あると言われる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

発展する可能性は間違いない。

官民市民それぞれに少ずつ引き金になる因子がある。これを徐々に解きほぐしていく必要がある。

自分の仕事が見つかった感じである。

東洋大学への期待

素晴らしい機会に感謝します。アカデミックなアプローチを期待します。

総合評価

A

理解されている。もっと学んでもらいたい

整理番号	156
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	経済団体

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>プロジェクト産業に関しては、旧来型の公共事業は期待できない意識で一致している。PPPはボトルネックを解消する切り札である。東京オリンピックの誘致がPPPでできないかを検討している。東京都は資金がないの一点張りだが、であればPPPの出番になる。新線の周辺駅の開発権を手にすることで民間がリスクを負うことができる。</p> <p>都道府県、市町村が背負っている借金(地方債)の存在は地方政治改革を考える上で無視できない部分だと思われます</p> <p>公民連携(PPP)、行政サービスの民営化を考える際、この地方債(自治体によっては巨額)は、どう考えられるでしょうか?</p> <p>例えば、1. PPPに関係なく、そのまま存在する</p> <p>答え: 負債に関しては効率の良い経営で予算額を少なくする事が出来るゆえ、負債払いの方に回す事が出来ると思われる。しかし、大きな負債に関してはアメリカが右下がり経済で開発した2次金融市場ノウハウ、処理するのは処理し、赤字経営の物は経済性を持った処置が必要と思われる。</p> <p>2. 民間会社が一定条件で承継する</p> <p>答え: 負債を民が受けてもどう処理できるのか?赤字経営のプロジェクトを民が黒字にする事は可能と思われる。</p>

3. その他

答え： 日本の自治体の負債は簡単な形で解消出来ない所に到達している。
国民、県民、市民がその危機感を感じ、孫の代まで残すような無責任な財政処理はやってはいけない。一時的に皆が重荷になるとしても、一人一人がその責務を果す必要がある。それはこのような状態にさせた責任は個人にもあるがゆえである。
しかし、一番大きな責任はそれを実行した、役人、議員、政治家にある。

この責任所在は未来の事も考え、二度と怒らせないためにも、罪を發し責任をはっきりさせる必要がある。それ無しで、国民、県民、市民への負担を話してはいけない。

東洋大学への期待

総合評価

A
良く理解されている

整理番号	157
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	コンサルタント

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>PFIのコンサルティングを行っている。PPPが次に来るのは理解しているが、PFIとは違うのでどうすれば良いか分からない。方向性は分かっているが、細かな点で具体的な指針がほしい。</p> <p>市の運營業務を受けるに当たって、市域内での業務の制限はあるのでしょうか？ (開発事業への関与)</p> <p>答え： 制限はある。開発系の業務は外注になる。CH2M社はプロマネ、CMを行う。 日常の修理等は業務内の仕事として行う。</p> <p>業務の中に一般的な公共工事に関連する業務(計画・設計・工事)も含まれるのでしょうか？</p> <p>答え： プロマネ、CMは市側の代表として行う。しかし、工事を行わない。 計画、設計には参加する。</p> <p>実際に、通常の行政組織が出来、公共工事等を受注した場合と比較して、民間企業としての利益は大きいのか？</p> <p>答え： CH2M社はこの方法がより多くの利益を取る事が出来ると発表。 サンデイスプリングスだけで15-18%の利益と言い、他の市経営を掛け持ちした事でより多くの利益を取る事を可能にしたと発表。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

前述の通りである。

東洋大学への期待

素晴らしいと思います。

総合評価

A

もう少し学ばれ、実践してもらいたい

整理番号	158
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	大学

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>日本では、NPOと行政の関係が密になりつつあるが、公と民の連携だけでなく、NPOとの連携はどう考えるのか？</p> <p>答え： NPOの目的によって、参加は十分に可能である。</p> <p>ULIのPPPの10のプリンシパルでは官、市民、企業、NPO（他の関係者）を4本の足でPPPが成り立つと書かれている。</p> <p>官と民が仕事を行う場合、官の代表、代理と言う意味でNPOの参加は好ましい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

東洋大学への期待

ありがとうございました。

総合評価

B

詳しいが、勉強にとどまっているので、本当の知恵が身に付かない。もっと学んでもらいたい。

整理番号	159
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	元自治体職員

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>今は個人の立場ですが、自治体にいました。新しい行政マンのあり方を模索しています。</p> <p>市民のニーズが多様化している中で、行政サービスは低下しませんか？</p> <p>答え： 民が行う事によってサービスはアップしているのがサンデイスプリングスの状況です。二人のジョージアの二つの町の市長は官の仕事で民で出来ない仕事は無いと言い切る。逆に民の方がより良いサービスが出来ると言われる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民が常に良いとは限らないと思いますが。

東洋大学への期待

こういうシンポジウムを開催してください。

総合評価

B

元自治体、官の方が良い仕事を出来ると思っている

整理番号	160
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	コンサルタンツ

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>コンサル会社にいる。PFIや指定管理者は慣れているが、その先にあるPPPの意味が少し分かったように思う。</p> <p>CH2MHILL OMI社が実施している12の事業項目とSandySprings市(市長、議会?)が責任を持つ役割、ミッションはそれぞれどういうものか? (どのように切り分けられているのか?)</p> <p>答え: 政策、予算設定は市、議会が行う。それを実行するのが民企業の仕事になる。官の職員5名と民企業140名の間ギャップが無く、外から見ると普通の市役所のようにも見えるが、仕事のやり方には大きな差が感じられる。民の効率のある仕事振りは市民は満足している。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPはケースバイケースだと言うが、それではなかなか取り入れられないのではないだろうか。本質を損なわずに、上手に導入していく必要があると思う。

東洋大学への期待

すばらしい専攻だと思います。

総合評価

A

PFI評価で有名な社、当然の質問と思います。

整理番号	161
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>市でもPPPに専門的に取り組む部署を作ります。</p> <p>公有地活用や公有建物活用というような領域で、サンデイスプリングス市では、どのような取組みをされていますか？</p> <p>答え： 例えば、今、市は新しい市役所を建設しようと計画しています。その計画ですが、土地は市が所有します。そこに複合開発を行い、民企業に開発（オフィス、レテール・商業、ホテル、その他）を発生させ、その中の一部が市役所になります。多分、議場はホテルの会議室の共有になると思われる。</p> <p>また、他の都市でそのような事例があればご教示願います。</p> <p>答え： 日本でもアメリカ的PPPコンセプトで公有地で公舎建設を考えています。岩手県紫波町です。アメリカではその様な事例は多く存在します。年間1000件に近いPPP事業が発生しています。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

まずは自分たちでできるところから。それが積み重なることで大きな動きになっていく。

東洋大学への期待

ありがとうございました。

総合評価

A

市の職員、直ぐに理解できると思う。実行できるかどうかは？

整理番号	162
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>契約期間内、契約金額は一定なのですか？ 答え： 6年契約で毎年チェックを入れ更新されます。 インセンティブ（コストカット、利益創出等に関わる）はありますか？ あるならば、その基準を、ないならば、モチベーションの維持方法をご教示願います。 答え： インセンティブはあります。フィックスコストですので、効率を良くすれば得するほど儲けになります。今まで集めなかった、気がつかなかった税等を発見、徴収した場合にはボーナスもあります。又、シェアードサービスが他の自治体（同社経営）とシェアードできるようになり、より大きな効率（儲けを）得る事が可能になった。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

特にない

東洋大学への期待

特にない

総合評価

A
理解したうえでの質問です。

整理番号	163
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	電鉄

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>電鉄の開発を手がけている。通常は民間ベースの開発ですが、駅周辺は公有地が多く、そのときはPPPになります。今までも多く手がけてきているが、PPPという意識はなかった。何が違うのか、根底から考える必要があります。</p> <p>行政OBを雇用するにあたり、日本だと利権等を考えて自分達のふところが豊かになるような悪事を考えている人も中には出てきそうだが、米国の場合、その周辺の対策はどうしているのか？</p> <p>答え： この問題はこれから考えねばならない事項と思われる。サンデイスプリングスは新しい町ゆえ。既存の町の民営化が始まった時にはこのような事は考えねばならない、しかし、民企業にとっては、失敗する事で全てを失う事になるので、十分に注意し経営を行わねばならない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

サンディ Springs市を契機に周辺の行政市も民間委託を受けたという事だが
同じ民間職員が日によって働く市が違うだけなら、いっそ、それらの行政は1機関
(1つの市)に統合した方がよいのでは？

答え： 出きればいい話ですが、先ず、場所が違う。所得、固定資産税等も違う。
市は市民の選挙で出来上がる。民企業の思いでは出来ない。

平成の大合併を行ったがPPPの入る余地は？

答え： 合併もコストの削減が目的であったと思われる。PPPはまさに、コストの削減を
可能にした、自治体経営額半値に出来た。合併したら、職員を削減、議員を削減、
コストカットを実現しなければ意味が無い。
自治体経営の効率性はPPP的な考えから考え直さねばならない。

東洋大学への期待

希望します。

総合評価

A
PPPの理解があり、それから出る良い質問と思います。

整理番号	164
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	
企業・団体名	市民

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>市とCH2MHILL社の業務委託契約において、モニタリング規定はどのようになっているのでしょうか？</p> <p>モニタリング項目、方法、ペナルティ規定等を紹介して下さい。</p> <p>答え：これが無い。月の報告、年次報告の提出、マネジャーは日々、それを観察、判断する。外からは普通の市役所経営、しかし、職員は上5人だけ。ギャップは無く、モニタリングもなし、しかし、もし、民が何かをやった際には、契約解雇、職員解雇が直ぐに実行できる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民をどうガバナンスするか、それが重要だと思う。

東洋大学への期待

特にありません。

総合評価

A

どうも、日本ではモニタリング、ガバナンス等が官と民の間にある。それがアメリカではない。それが理解出来ない。

整理番号	165
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	電子行政推進課副主幹
企業・団体名	市役所

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>電子行政を推進している。公会計改革でずいぶん変わる。情報が開示されれば正しい判断もできるようになる。</p> <p>会計制度の改革が必要、日本は。 非公開と変わらない現状をあらためる事が切り札のひとつになると考えますが如何でしょうか？</p> <p>答え：今年から日本の自治体はバランスシートの提出が義務付けられている。 これが発表されれば、今まで外に出なかった、各自治体の財政状況がどれほど悪いか国民、市民が理解できるようになる。その時、市民はどう判断するか？これが一つのエポックになる。</p> <p>事業コストが簡単に分からない現状、例えば、情報投資。 ぱっと分かりますか、よく分かりません。人件費がどのくらいで、この事業はやっているのか簡単ではないのです。会計制度がそうだからです。</p> <p>答え： その通りです。会計制度が、民の同じ方法になった時に、自治体が今まで、どれほどひどい経営を行っていたか？税金の無駄を行ってきたか、明らかになる。さて、そこで、皆がどう判断するのか？</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

ずいぶん意識は変わってきた。公務員も理解すれば動く。少なくとも動ける人が動けばよいと思う。

東洋大学への期待

特にない

総合評価

A

市の職員、このPPPの意味は十分に理解できる。もう一步、前に進んでもらいたい。例えば、大学院に参加するとか。

整理番号	166
日付	平成20年(2008年)2月18日 月曜日
場所	東洋大学 / 井上円了ホール

氏名	
役職	次長
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>市の行政を代行してゆく中でのミスや錯誤による市民への損失に係る処理、責任は誰が、どのように取るのか？</p> <p>答え： 民がその責任を取っている。そのための保険は会社で買う事を義務つけてある。民企業は契約破棄をされたら大変ゆえ、多大な注意を払わねばならない。</p> <p>警察、司法、行政処分等の権能のあり方は如何？</p> <p>答え： この部分は市が直営する。これは民が入らない。しかし、そのバックアップ(帳簿、事務、記録等)は民企業で行っている。</p> <p>市民の評価はどのようなものになっているのか？コスト面、サービスの質の面、その他</p> <p>答え： 企業は市の命令の元、カスタマーサービスを中心に経営を行っている。それゆえ、客(市民)からの電話は2時間以内での対応、工事等が必要な場合は24時間以内に、又、システムから数時間以内に、連絡し、確認するシステムになっている。</p> <p>既存公務員の待遇や雇用確保した上で、サービスレベル、質の低下をなくす為に公務員の再訓練スキルアップを行ったとのことだが、その成果と公務員の反応は？</p> <p>答え： 下水道関係ではうまく行っている。レベルアップ、スキルアップ、また、会社内での移動、昇進も出来ている。アウトソースでは今までは既存の町の民営化はやっていないゆえ、後、6ヶ月くらいで、その成果を発表する事が可能と思われる。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

良い悪いではなく時代の必然。良く理解できました。

東洋大学への期待

特にない

総合評価

S

社には是非、PPPをマスターしていただき、日本のPPPのリーダー格になってもらいたい。

整理番号	167
日付	2008年2月18日
場所	東洋大学円了ホールにて インタビュー - サム田渕

氏名	
役職	まちづくり総務部
企業・団体名	区役所

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>まちづくりをしている。まちづくりは PPP そのものである。だが、民に任せることはない。なぜか。それを考えていたら、民がまちづくりに本当に意欲を出すことはないのではないかと思いついた。あくまでも単独の施設の採算だけである。</p> <p>1 PPP の場合、契約した企業が市政遂行上強力な権力を得る事が出来るか？ 答え： 出来ない。政策、予算、市民安全は全て市長、議会が権利を持つ。その遂行業務だけを民が行うが、市の COO は全ての民の仕事の責任者。月の報告書でチェックされる。 ダメなら、解雇、これがチェックシステム。</p> <p>2 PPP を契約した企業が倒産したら？ 答え： これは重要なポイント。サンデイスプリングスは企業の財政的安定に重要点を置いて審査した。倒産したら、従業員は全て市が受け取る形にしてある。</p> <p>3 PPP 契約の期間、別途企業との見直しは？ 答え： 契約は6年となっている。しかし、1年1年のチェックを受ける。企業は投資に対し、損をしないためにも市に対しマックスのサービスに心がける。</p> <p>4 PPP 契約企業の社員の忠誠は市に向かうか、会社に向かうか？ 答え： 各個人による。</p> <p>5 PPP 契約を遂行できる企業には限りがあると思うが、その独占を阻止する方法は？ 答え： 1年1年のチェックで市は6ヶ月の期限で理由無く民企業を切る事が出来る。 今の所、アメリカで一社しかないと思われる。</p> <p>6 災害時、PPP 契約社員は災害救助活動に参加する義務があるか？</p>

答え： サンデイスプリングス以外の町、ジョーンズクリークその他の契約企業の職員は参加する。
また、CH2M社は本社（コロラド州）からも人を出す。

7 日本の地方政治では教育、スポーツ、業界団体は議員を使い、圧力をかけて仕事をさせる。

PPPはこのような中で機能するか？

答え： レベルの低い民主主義と思われます。それが無いとは言いませんが、民の企業に議員が
圧力をかけるのは難しい。サンデイスプリングスの場合は、教育、福祉は別。警察、消防は
入っている。

8 市民の政治レベルが上がらねば7の事のようなものが起こる。PPPでそれを妨げる方法とは？

答え： 市民の政治参加レベルを上げ、議員、職員、市長等のコネ政治は民企業に影響を
及ぼせないシステムを作る必要がある。

9 健康保険、介護、社会制度にPPPはどう対処できるか？

答え： PPPで全てが解決できるとは思えないが、最終的に税が一番効率の良い使い方を行う
PPP手法は可能性を持つ。

10 PPPを取り入れても、議員利権をどう防ぐか？

答え： 民企業への圧力と、市役所職員への圧力のかけ方は別であろう。SSの場合は1年ごとの
チェックを受け、判断される。CH2M社は世界で2万三千人の従業員を持つ、ゼネコンゆえ、
会社のレピュテーションがSSの力より大切。

11 PPP契約企業が利益追求で不正をしないためどんな体制が必要か？

答え： 1年1年のチェックシステム。不正があれば、今までの投資が一期にゼロになる。
これは企業にとって大打撃である。市はそれまで企業が作り上げたシステムをいただける
契約ゆえ、プロテクトされている。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

特にない

東洋大学への期待

特にない

総合評価

S

鋭い質問ですね。もっと学んでもらいたい。是非、区で実践してもらいたい。

整理番号	168
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	4年生
企業・団体名	中央大学経済学部

学生に関しては、質問を変えた。分析にあたっては、該当する項目を読み替えた。

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

PPP が素晴らしい仕組みで、これを用いて地域が再生されることへのワクワク感と自分の無知さ、危機感のなさ、視野の狭さを痛感しました。もっと勉強しないと、そう思いました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

魔法かと思いました。本当に目からウロコが落ちました。官のサービスよりも民のサービスの方が市民にとっても満足度が高い事に気がつけば広がると思います。ビジネスの視点が大事だと考えました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

文京区という区に住んでいます。正確に把握できていないのですが、赤字で建てられた市民ホールがあります。ライブなどでも使われていますが、もっと活用されるべきだと感じました。
文京区もレモンを知らないといけないと思いました。

◆ PPPに関する期待、質問

ありがとうございました！！
本当に充実した時間でした。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

ない

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

無い

総合評価

B
もっと学んでもらいたいですね

整理番号	169
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	3年生
企業・団体名	國學院大學経済学部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>凄く面白かったです。 ありがとうございました！！</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>凄く面白い仕組みで、人、物、金の遊休資産をいかに活用するか？ という事でしょうか。それもありますが、もっと広い意味で活用出来ます。民主主義の根底と思います。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

大学の運営をいかにするか？
地元の寝ている土地。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPというのは、官民等の遊休資産をいかに有効に活用するか、
という問いへの答えなのではないでしょうか？
コメント：それもありますが、もっともっと大きいですね

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解はしているが、もっと学んでもらいたい

整理番号	170
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	4年生
企業・団体名	早稲田大学第二文学部

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見

今日のお話はとても刺激的で、一言で感想をお話しするのは大変で、消化しないと
いけないです。
私は52歳で、社会人入試で大学は2回目です。大学に来て今日の様なお話を聞ける
チャンスにめぐり会えたことは幸せです。残りの人生にとってもヒントになりました。
ありがとうございました。

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント

官が変わろうとしない現状を分かりながらも変えない事はずっと感じていました。
地方から火がついて少しずつ広がって行って日本の行政が変化してほしいです。
まず、自分が発想を変えることから始めたいと思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思います。

◆ PPPに関する期待、質問

この年齢で、これから出来る事を考えます。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

今は無い

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

今は無い

総合評価

B

52歳ゆえにより解るとおもう。これからもっと勉強して、励んでもらいたい」

整理番号	171
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	(株) ベンシステム24 / 京都造形芸術大学通信教育部アニメーションコース
企業・団体名	

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

いかに市民は都合良く利用されているのかが分かりました。
もっともっと勉強の必要があります。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

税金という財源に頼らず「民」の力を活用するか、その知恵、行動力が
これからの時代に必要だと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

基本的に行政サービスは全て可能だと思いますし、文化、福祉、教育でのPPPが日本で必要かと思います。

◆ PPPに関する期待、質問

市民社会が根付いていない日本でのPPP

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

無い

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

無い

総合評価

B

PPPの意義は理解してもらったようです。もっと勉強してもらいたい

整理番号	172
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	横浜国立大学
企業・団体名	

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見

官主義の日本で、民も気づいていなければ官も気づいていないフリをしています。官にとっては温かい温泉につかっているのだから、そこから出たくないのだと思います。温泉の根もとからブッタ切るような事はできないのでしょうか。

コメント：それは国民にも責任がある。

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント

逆に、どのような要因があったのか等、PPP が失敗した事例を知りたかったです。

答え：市場への理解の失敗、政治的継続性への手法を考えなかった、人材がいなかった等いろいろあります。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

私の地元の青森でも地域開発を若干進めています。
しかし、一向に失業率は日本でワーストであり、最低時給も最も低く、
原因に「雇用がない→人が出て行く」という事があると思います。
PPPの考え方をを用いて何とかならないのか、と感じます。

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

青森でも、どこでもPPPは可能です。勉強し、理解され、実践してもらいたい

整理番号	173
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	4年生
企業・団体名	早稲田大学第二文学部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

民が官を経営するという地域経済の本質ではないかなと思いました。
面白い話でした。
日本の役人がいかにヒドイ人かを実感しました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

私の地元の日黒区、世田谷区には国家公務員住宅（大橋住宅、駅前住宅）という役人団地が戦後からあります。現在、建築中ですが、贅沢、そして、安い家賃でとんでもない団地です。

何とかならないかといつも思っています。何とかできないものでしょうか。

コメント：このお役人が作ったシステムで壊して行くのは難しい。しかし、民主主義を浸透させることで官が強い官主主義をつぶしてもらいたいですね

◆ PPPに関する期待、質問

子供が少なくなり廃校になった小、中学校を地域経営の活性化にならないかと現在、世田谷で活動中です・

エンターテイメントを中心に、PPPをもっと研究したいと思いました。

紫波町注目です。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

ない

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

ない

総合評価

B

もっと勉強し、実践してもらいたい

整理番号	174
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	3年生 / 代表
企業・団体名	成蹊大学経済学部経済経営学科 / 教職研究会

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>大変感動しました。もっと世界を見て、使命感がわいてくる限りです。 本当に、今勉強しなければいけないと感じました。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>民の力を借り、いかに過疎地（例えばの話）を活性化させるか、具体的な内容をもっとお聞かせ願いたいと思いました。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

官と民は共存すべきというニュアンス、可能性を見出せるということで理解しています。
では、例えば、日本の教育に関しては、どのように民間は参入できるのでしょうか。
コメント：国レベルから地方レベルに教育のコントロールを動かす事は如何ですか？そうすれば地方で、官と民が協働できるでしょう。

◆ PPPに関する期待、質問

今日のお話の中心は都市の活性化におけるPPPの可能性といったように”経済化”に関してPPPの有効性は物凄く理解できました。
他の産業、例えば、教育に関して民は介入できるのかどうか……………
コメント：今の日本の教育は地に落ちているように思えます。アカウンタビリティを付け、教育者の成果が見れるようになればレベルは上がるでしょう。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

もっと勉強し、教育でのPPPを考え実行してもらいたい

整理番号	175
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	EDWARD

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

非常に楽しかったです。
また、現状の土地、及び、政府に対する有意義な見識、単なる政府の批判ではなく
こういう風に語らねばならないのだと分かってきました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

新しいヒーロー像、感動的な町興しのストーリーを NHK のプロジェクト X のような形で
盛り上げればイイと思いました。新しいヒーロー像、紳士像、エリート像が Work すると
考えました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

私はビスポーク・スーツのアパレル業をやっておりますが、2008年の紳士像を創り上げたくジェントルメンズクラブをつくっております。
”Economist 誌”も洋服屋がつくったと読みました。

◆ PPPに関する期待、質問

”株式会社日本”のパフォーマンスを民間のものさしで語り合える日が来ると信じています。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

A

理解はされた。もっと、広めてもらいたい

整理番号	176
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	マクセン LLP

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>大変刺激を頂きました。 心地よく、豊かな時間をありがとうございました。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>日本は大変豊かな国です。 もっと使っていないと勿体無いですよ！ ジャンジャン使いましょう！ という可能性に光が射しました！ PPP についてもっと知りたいです。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいが、何は解らない

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

とくには

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

とくには

総合評価

A
理解された。もっと、実践に持って行ってもらいたい

整理番号	177
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	区役所

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

まさに、その通り！これが日本の官の実態です。残念ですが。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

学びたいと考えています。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

正直「官」の仕事のすべて！
一番は企画経営室（官を動かす中枢）

◆ PPPに関する期待、質問

危機感のない官の職員をどう動機付けるのか？
答え：リーダー、首長が解雇勧告、これが効きます。出なければ破綻ですから

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

今は無い

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

今は無い

総合評価

A

官の人ゆえ、よく理解できた。もっと学んで実践してもらいたい。協力もしたい。

整理番号	178
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	慶応義塾大学商学部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
漠然とあった地方自治体の問題意識が解決方法と一緒にはっきりと認識できて大変興味深い内容でした。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
これからのトレンドになるコンセプトだと思いました。 この流れは世界でより大きくなると確信しました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

私の母方の地元、兵庫県三木市において、地方自治体の財政が圧迫されています。
ハコモノの利用や私が来年寄贈する予定の日本家屋などポテンシャルを
発揮していないと思います。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPの問題点や課題についてもっと考察したいと思います。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
若い方にもっと学んでもらいたいですね

整理番号	179
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	4年生
企業・団体名	早稲田大学商学部

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
自分の知らない世界で大きくパラダイムが変化していることに驚きました。

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
“官”に不足している“経営”という概念を導入する。とても良い仕組みだと思いました。勉強していきたいと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

まず、官に所属する人、予備軍の人達への“教育”の仕組みにPPPを導入すべきかと思いました。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPを行う上での負の側面について。

日本の政治システム、そのものを変えずに導入した際には裏金等問題が起こるのでは？

まず、アカウントビリティを推し進めるために必要な事は？

答え：システムを作る事、汚職にならないシステムゆえ、システムは難しくない。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

A

もっと勉強してもらいたい。このような人がPPPを実現させれる。

整理番号	180
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	3年生
企業・団体名	中央大学経済学部国際経済学科 経営戦略ゼミ

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

PPP という名前は知りませんでしたが、現在、千葉県富津市金谷において、ある企業と協力して町おこしをしており、非常に興味深かったため、もっと詳しく勉強していきたいと思いました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

大変素晴らしい考え方もっと多くの人に知らせたいし、自分ももっと勉強したいですし、これを活かして地域で活動していきたいと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

実家（静岡県沼津市）で新設された救急医療センターがすごく新しく大きいのに
会議室等が殆ど使われていないらしいです。

◆ PPPに関する期待、質問

これからどんどん地域が盛り上がってくると漠然と考えていましたが、
それに確信が持てました。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

A

もっと勉強してマスターしてもらいたい人ですね

整理番号	181
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	2年生
企業・団体名	早稲田大学商学部 ”経営学専攻”

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

ありがとうございました。
官と民のパートナーを結ぶことによる成功事例の数々に驚きました。
適材適所の経営を行うことによる成功、官による経営はシステムとして「変えない」という悪循環ができてしまう事を改めて認識しました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

民的な迫った発想による地域の経営、問題解決の糸口として非常に賛同できました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

日本という国。
東京の多摩方面に住んでいるのですが、小学校、中学校等のスペースは少子化の影響で非効率になっていると思います。

◆ PPPに関する期待、質問

広い世界で勉強してこようと思います。
ありがとうございました。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B
若い方は吸収が早いですね

整理番号	182
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	4年生
企業・団体名	早稲田大学(教育、社会科学専修)

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
産官連携の話は聞きますが、まさか成功事例がすでに生まれているとは思いませんでした。時代の最先端を感じました。

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
“危機感”が肝だと感じました。その危機感は与えられるものではなく、生まれるもの。それを感じているのは地方。地方再生の新しい形だと思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

地方の地場産業を担う中小企業と行政の連携の形は考えられないでしょうか？
コメント：リーダーが官と民から出て、やる気になれば十分にやれます。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPを担う人材育成の今後はどう考えているのでしょうか？
コメント：東洋大学ではPPP大学院を設立、育成を始めています。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

A

勉強され、実行できる人になってもらいたいですね

整理番号	183
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	早稲田大学

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

質問に非常に丁寧にお答え頂き有り難うございました。
ビスケインランディングのスキームなど、新しい知識が得られました一方で、
その実行段階における苦労話などもお聞きしたかったです。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

公有地売却が現在の日本のトレンドであり、今後2年で気象庁等も土地が売却されて
いきますが、必ずしも売却がベストな選択肢ではないと考えます。
“公有資産の活用”という視点が重要と考えます。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

よこすか芸術劇場（横須賀市）
米軍基地関連
自衛隊関連

◆ PPPに関する期待、質問

PPPと相性のよい分野と、そうでない分野があるのではないかと……
再開発、産業政策は相性がよいが、福祉はどうか？
コムスン、グッドウィル等の失敗をどう活かすかが重要だと考えます。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B
理解された。もっと学んで頂きたい

整理番号	184
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	OB
企業・団体名	早稲田ビジネスパートナーズ株式会社

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>PPP について非常に興味を持ちました。 ありがとうございました。 PFI や PPP についてもっと学びます。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>社会情勢の変化、財政赤字等の危機的狀態に PPP が有効である事が分かりました。 現状で認識されている PPP のデメリットがあれば研究していきたいと思ひます。</p>

◆ 会社、団体、自治体で PPP が適用できる、あるいは、PPP に関連すると思われる課題、テーマはあるのか？
<p>廃校になった学校の再利用 中小企業振興 文化・芸術振興</p>

◆ PPPに関する期待、質問

PPPのデメリットについて
また、ある程度の改善の方向性

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解は頂いた。質問、問題点等も理解されている。もっと学んでもらいたいですね。

整理番号	185
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	2年生
企業・団体名	早稲田大学政治経済学部経済学科

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

大変貴重なお話しをありがとうございました。
 日本で地域財政の危機的状況が叫ばれている中、このような素晴らしい手法があること、
 しかも、実際に成功された事例である事に驚きました。
 もっと世界の事例に目を向ける必要性があることを強く感じました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

行政が危機感を感じる必要がる、ということをおっしゃっていたのですが、
 どうやれば気づかせることができるのか、という事が気になりました。
 コメント：首長、市民が財政状況から破綻、解雇勧告。これは効くでしょう。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

解りません

◆ PPPに関する期待、質問

もっと学びたい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B

重要性は理解した。もっと勉強し、実行できる人になってもらいたいですね

整理番号	186
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	早稲田大学政治経済学部国際政治経済学部

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見

本当に目からウロコでした。全く新しい発想、考え方を知り、自分の中で今迄の概念が崩れていくのが分かりました。
お話を聞いて本当に良かったです。

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント

今日、初めて知った考えではありますが、これからは官と民が融合する PPP という考え方が必要不可欠になると思いました。

◆ 会社、団体、自治体で PPP が適用できる、あるいは、PPP に関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

途上国の人々の生活改善に PPP が適用できたら良いと思います。
途上国はまだ社会のシステムが成り立っていない“0”の状態ですが、
だからこそ、最初から PPP のシステムで国づくりをやるのではないかと思います。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPという概念が途上国の発展にできようのでしょうか？

答え：良い考えです。が、民主主義が根づいていないと良いシステムでも利用できません

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B

基本的なことは理解はされた。しかし詳細はまだこれから

整理番号	187
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	3年生
企業・団体名	早稲田大学商学部経営コース

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

非常に刺激的でした。
僕自身地方出身者でもあり、日本の将来のためには地方に活力が戻らないといけない、その為にどうすればいいか悩んでいました。
県知事等を交え、話し合いをしたり、企業、NPOの重要性など学んできたつもりでしたが、“PPP”という概念で活性化の道を教えて頂けたのは幸運でした。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

自分の地方でも活用できるのか考えていこうと思います。
はっきりとした活路が見出せたように思います。
ありがとうございました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

僕は鳥取出身なので、鳥取は適用地として考えられます。
建設業が中心をしめ、公共事業にすぎりついている現状です。
仕事の為の無駄な公共事業をやるよりも企業やNPOが何とか地域を作って
いけないか？建設業をメインにして地域独自の文化を築き、アピールポイントに
できないだろうかと思いました。

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

A
理解が出来ている。サポートしてあげればもっと出来る

整理番号	188
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	4年生
企業・団体名	明治大学法学部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

自身に全く知識がないタイプのお話しでしたが、田渕さんのお話に引き込まれました。今後の日本の在り方により一層の危機感を持つと共に自分の知識のなさに恥ずかしくなりました。大変刺激を受けたので、自主的に勉強していきたいと思います。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

財政赤字が続いている中で官が変わらなくてはならないが、変わらない、既得権益の壁を感じます。官に就職する友達は安定性を求めて決めている人が多いです。この状況の限り PPP をより有効に導入していくのは難しそうですが、私も何かしらの形で関わっていきたいです。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

閉鎖間近の幼稚園はどうでしょうか？

◆ PPPに関する期待、質問

是非、多くの方にPPPのお話しを紹介して下さい。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B
理解は出来ている。もっと学べば良い

整理番号	189
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	5年生
企業・団体名	早稲田大学商学部 地域情報化「ITを活用した地域イメージの可能性」について論文を作成

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

驚きました、と同時に反省しました。

PPPのような取り組みは日本の地域再生の有効な手立てになると強く感じましたし、日本の官の仕組みをいかに知らないかと反省しました。

将来は地域の活性化に携わりたいと思っていますので、この分野で勉強をしていきたいと思っています。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

非常に可能性のある考え方であり、仕組みだと感じました。

官をどう動かすか？推進していくリーダーをどう育てるか？

自分ができる事は何か考えていきたいと思っています。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

もう一步 PPP に関して理解を深めて適用シーンを考えていきたいと思ひます。
大変興味深いテーマだと思ひます。

◆ PPP に関する期待、質問

PPP のもたらす負の面、リスク面を聞きたかったです。
サンデイスプリングスの事例に関して、そのスキームをもっと詳しく知りたひです。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B

もっと学んで実行できるようになってもらひたい

整理番号	190
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	副代表理事
企業・団体名	環境NPO

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

歯切れの良いトークが印象的でした。
このようにズバズバ言って下さる方が上の世代にいることは非常に心強く感じています。
「大前研一」さんをイメージしてしまいました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

私は「民間の事業手法を通じて社会問題にアプローチする」ことをテーマに、
今ベンチャー企業でビジネスの修行中ですが、正に「コレだ」と思いました。
まずは、PPP の知名度と内容理解を進めていくのが大事かと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

行政の出張所が駅前の大型SC（ショッピング・センター）に入っています。
行政が作るのではなく、民間が作ったハコモノ（かつ、市民が日常的に利用する場所）に存在していることは、今思えば目新しいことでした。
流山市（千葉県）です。

◆ PPPに関する期待、質問

「市場化テスト」を官がもっと積極的に取り入れる土壌（自分達の仕事がなくなることへの恐怖感）ができてくれば、と感じているところです。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

A

論文等で勉強しているので理解は早いと思います。もっと勉強してもらいたい

整理番号	191
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>とても勉強になりました！！ 僕は会社を経営しているのですが、今後、どのように PPP と関わっていくか勉強し、考えていきたいと思います。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>是非、日本でも PPP を活用して地方を活性化していきたいです。 その際に、この分野で先行している米国でもっとたくさんの事例、もっと大きなスケールの事例が生まれてくる事を期待します。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

体験をギフトとして販売する会社を運営しています。
我々の商品を地域振興に活用したいと地方自治体から声をかけられることが
何度かあったのですが、PPPの発想で進められるかもしれません。

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいですね。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B
もっと学んで進んでもらいたいですね

整理番号	192
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	サービス

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
大変参考になりました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
アカウンタビリティの重要性 民の力の活用 官の果たすべき使命 この3つを心に留めたいです。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

京丹後市の地域再生

◆ PPPに関する期待、質問

FTA等の国レベルでの道州制のような適用を期待したいです。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

A

短い時間でよく要点を理解されたと思います。

整理番号	193
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	2年生
企業・団体名	早稲田大学社会学科

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
<p>率直な感想として全く初めて聞く話だったので理解するのが難しかったです。</p>

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
<p>理論的にとても納得できました。 ただ、初めての話でしたので自分の中で、まだ意見や考えは持てません。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

地元は北海道、小樽市です。

近年は過疎化が進み、少しずつ町も衰退化していると感じています。

自分の地元でPPPが適用できるのかどうかはまだ分かりません。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPを適用して地域を立て直すのが果たして全ての地域にとって良い事なのでしょうか？

コメント：質問の意味が良くわからないのですが、再生できなければ、地域は終わります。その時、住民はどうするのですか？あなたが、あなたの家族がその一人だったらどうしますか？

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

D

理解は出来ていない。地域の活性化の重要性も認識していない。

整理番号	194
日付	平成20年(2008年)1月19日 土曜日
場所	早稲田大学 学生会館

氏名	
役職	
企業・団体名	東京農工大学

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

今、教育においても公教育に塾が入っているということが起きています。
 PPP の動きにしても、これから公や官に民が入る事で変わっていくことを期待します。
 初めて、PPP の話を聴き、その可能性と、日本と自分自身の危うさを感じました。
 税金をかけずに様々な変革を起こす手法があるのに、それを無視して行わなかったことに
 怒りを覚えました。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

単純にもっと官に入っていけばいいと思いました。
 日本企業の中にも、もっと PPP という考えを入れていく必要があるのではないかと
 思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

公立学校の荒れた授業にも民が入れば良いと思います。
国立大学にも民の経営力を入れていく必要があるのではないかと思います。

◆ PPPに関する期待、質問

PPPによって、公務員や官の人達の意識が変わっていく事を期待します。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

とくには

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

とくには

総合評価

C

PPPは全病に効く薬ではありません。何に効くかもっと勉強してもらいたい

整理番号	195
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	課長
企業・団体名	企画振興部企画課

ヒヤリング項目を前記にそろえた。各機関の取り組みは冒頭の質問の前段として含めた。

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>大変現実的で良かったです。現実の施策として展開しようとするアプローチの手法に馴染みがないので、という事になるかとも思っています。</p> <p>企画セクションのとりまとめであり、できるだけ多くの業務の中で民と協働するように指示している。常に先を見て行動するべきだと考えており、現状行っているでは満足していない。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>今後の行政の施策展開のアプローチのひとつの手法として重要な概念だと思います。 (新たな公と行政の協働する地域振興策展開)</p>

◆ 会社、団体、自治体で PPP が適用できる、あるいは、PPP に関連すると思われる課題、テーマはあるのか？
<p>振興 特に、サービス（観光）と1次産業（農林水産業）が連携するパッケージ型 施策の展開</p>

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいし、もっと学びたい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

今の所は

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

今の所は

総合評価

B

ご理解頂いた。もっと学び、実践してもらいたい

整理番号	196
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主任主事
企業・団体名	健康福祉部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

PPP という手法について初めて話を聞き、多くの成功例を紹介して頂きました。
時間を見つけて PPP について勉強したいと思いました。

健康関連の政策に取り組んでいる。基本的には、公立病院と、民間医療機関との調整。医療はもっとも進んでいる分野でありながら、全体が規制されているので、民間も公共的な行動を求められる。その中で、PPP をどう取り入れていくかを考えたい。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

自分が携わる福祉部門では PPP はどう活用できるのか、考えてみたいと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思います。勉強します

◆ PPPに関する期待、質問

勉強しないと

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
もっと勉強して、実践してもらいたい

整理番号	197
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	企画振興部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

「民間で出来る事は民間で」ということを再認識し、民間企業活用の可能性を念頭に置き、今後、仕事に取り組む必要があると感じました。

地域振興が仕事である。ともすれば補助金が仕事だと思いがちになるが、民に利益を上げてもらえるようにすることの重要性、そうしたビジネスチャンスを与えられれば、直接の補助は意味がないことが分かった。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

アメリカでの成功事例を紹介してもらいましたが、「アメリカだから成功した」という要因もゼロではないと思います。

“アメリカだから”という部分と“日本にもあてはまる”という部分の区切りも必要ではないかと思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解してもらったと思う。もっと勉強してもらいたい

整理番号	198
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	企画課

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
<p>首長に聞いてもらわないと、この組織は変わらないと思います。</p> <p>企画の仕事は全体を俯瞰する仕事、新しい行政の仕事を発掘していくこと。もっとも民に近いセンスが必要だが、同時に民に任せられることは民に委ねるべきだと思う。自分が仕事をしないことが仕事だということだと思う。あるいは、民に気持ちよく仕事してもらうためのお膳立てか。</p>

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
<p>アメリカの例が多かったので、少し距離を感じました。</p> <p>答え：まだ、日本では起こっていないゆえ、事例はありません。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

◆ PPPに関する期待、質問

財政負担をなくすためにPPPという視点は是非県でも取り入れられたら、と思います。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

関心はあり、自分より、首長に学んでもらえれば自分もできる？

整理番号	199
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	係長
企業・団体名	市企画 課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

アメリカでの事例は次元が違うのかと思いました。
岩手県での事例や身の事業への可能性についてを詳しく説明してほしいです。

企画の仕事は新しい行政ニーズを的確に捉えて、行政か民間か市民かに振り分けていくことだと思う。そのためには、民間や市民が何をできるかを知っておく必要がある。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

お金の流れ、メリット、デメリットについて標準的なスキームを求めたい。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

海岸線
食

◆ PPPに関する期待、質問

もっと勉強しないとわからない

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解はされた。もっと学んでもらいたい

整理番号	200
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主査
企業・団体名	市企画課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

初めて聞く話で、距離を感じました。内容は理解できたのですが。日本の田舎で活されるには時間がかかるでしょう。

PFI や指定管理者を含めた民間委託のとりまとめを行っている。庁内的には担当部局にできるだけ考えるようにし向けている。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

アメリカで進んでいるからといって、直ぐに日本では行かないでしょう。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

PPPの意義や効果は素晴らしいと理解できましたが、現実像としてイメージできません。
紫波町が今年度どのように成功していくのか大変興味深く思います。

◆ PPPに関する期待、質問

???

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

C
関心はあるがそれ以上はなし

整理番号	201
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
<p>米国の側を見る限り、日本でも活かせそうだと思います。</p> <p>過疎地域の担当をしている。公共事業の世界である。</p>

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
<p>公と民間の利害が一致している。ただ、この考え方や仕組みが日本に浸透するまでまだ時間がかかるのではないかと思います。</p>

◆ 会社、団体、自治体で PPP が適用できる、あるいは、PPP に関連すると思われる課題、テーマはあるのか？
<p>過疎化が進んでいる地域における公共交通機関等の確保、運営等</p>

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいが日本での浸透には時間がかかるのでは

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
可能性は解るが日本では時間がかかる。

整理番号	202
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主任技師
企業・団体名	土木部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

非常に興味深い話を分かり易く説明して頂きました。

「他と比べて何が違うのか、何が優れているのか」ということは PPP だけでなく全ての業務において、もっと意識すべきことだと思いました。

公営住宅建築を担当している。民間にどんどん移している。PPP よりも先に行っているかもしれない。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

それぞれのケースに応じた契約形態の設定は手間がかかるだろうが、効果は非常に大きいと感じました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

「貧すれば……」という点でいくと、能登半島地震被災地の町の復興に関連するのではないかと思います。
また、公営住宅の建替、修繕などのストック活用も財政的な理由から進んでいないテーマです。

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいです

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解したい意識はある。これからですね

整理番号	203
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	総務部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

具体的な事例を出して頂いたのが有難かったです。
時間さえあれば、もっと詳しくお話を伺いたかったです。

行政改革の担当です。行革プランに沿って計画的に推進している。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

どのような事案であっても PPP は考えられるのだと思います。
行政運営の中で常に念頭におくべき考え方だと思っています。

◆ 会社、団体、自治体で PPP が適用できる、あるいは、PPP に関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

お話しにもありましたが、過疎地域の振興にあたっては視点、手法の幅が広がるので
必要なのではないかと思います。

◆ PPPに関する期待、質問

浅い知識でセミナーに参加してしまったので、よく分からないのですが、法的に何か問題となる事がないのか気になりました。

答え：今までの所、法的問題は無い

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

理解はしてもらった。もっと学んでもらいたい

整理番号	204
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	総務部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

アメリカの PPP 事例は規模こそ違いますが、アイディアの方向性として非常に分かり易く、官と民のパートナーシップのあり方が理解できました。

行政改革の仕事をしている。今まではあくまでも官の視点からの改革。外部の目で見たら違うアプローチができると思います。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

官の立場から民間のノウハウ、及び、資産等を活用したくても現時点では官側の職員に知識がなく、意識が低い気がします。大学の派遣や民間職員の官側への受け入れ等、人的交流を進めていかなければ取り組めない面があるように思えます。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

県広告事業
(印刷物や施設への民間企業広告の掲載)

◆ PPPに関する期待、質問

これまでPPPという概念の中には民間委託、PFI、あるいは、市場化テスト等があるだけだということに捉えていましたが、田淵氏が言われたように都市開発全体についてPPPを活かさなければならぬと思います。
(まちづくり全体での官と民の連携)

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B
理解されている。問題点も理解されています

整理番号	205
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県企画振興部

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

論旨がはっきりしていて分かりやすかったです。

とりまとめ部局だが、民との接点はあまりない。原局のニーズを聞いてから、PPP を推進している。PFI や指定管理者を含めるのであれば、かなり進んでいる方だと思う。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

受け皿となる民間企業がどの程度地元周辺に存在しているかによるのではないかと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

二次交通での導入可能性

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいが で可能か？

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

B
理解は出来る。もっと学べば良いと思う

整理番号	206
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	室長
企業・団体名	町企画財政課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

町で民間資金の活用をしても現実に理解してもらう事は難しい状況であり、PPP の具体例や説明等について初めて聴き、大変参考になりました。自信を持って進めていきたいと感じました。

町の行革推進部局。財政的には悲惨な状況にあり、今すぐでも解決の手だてを講じる必要がある。PPP には大いに期待している。指定管理者は手がけている。任せたくても民がないのが最大の課題である。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

現状、及び、今後の財政状況を考慮すると、公の施設の維持は不可能。その為、PPP の活用は不可欠であると思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

温水プールの指定管理にあたり、民間の資金を活用し、改修、増築、施設備品等の整備も含めて実施したいと思います。
また、可能であれば、町の温泉の権利等も活用して公の施設整備を図りたいと思います。
町有地の開発を含めた有効活用

◆ PPPに関する期待、質問

町の現状の問題も含め、個別に相談に応じて頂きたいと思います。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

特には

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

特には

総合評価

A
理解されている。どこをどうすればも解っている

整理番号	207
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	室長
企業・団体名	町企画財政課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

勇気がもらえるが、こういったところから手を付けてよいか分からない。

行革について県や国との調整を担当している。行革を進めても、市町村に何のインセンティブもない。むしろ金を使って補助を交付税をもらう方が得というおかしな事態になっている。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

連携できるものは何でもしたいと思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

◆ PPPに関する期待、質問

民間投資を促すことができるのかが疑問です。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

C

過疎化でのPPP、これもこれからの課題と思います

整理番号	208
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県環境政策課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

今までのように官がリスクを極小で民にリスクを取ってもらうのではなく、官民双方でリスクを
と言う考え方は有効と思います。橋渡し役が大切ですね。

環境政策を担当している。この分野での PPP は企業の環境対策、住民の環境意識の向上。企業に
は経済的な動機を与えることの重要性が理解できたが、住民レベルでは何が動機になるのか。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

PPP は事業のスピードが上がり、官から見れば財政の削減にもなり、よい事が多いと
思いますが、一方で民間のリスクは大きく、また、官民両方の感覚を持つ人材が
必要であり、難しい事も多いと思いました。石川県は高等教育機関が多いので
官と民に学も加えて人材育成から町おこしまで総合的に PPP を考えていけるのでは
ないかと思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

C
もっと勉強してもらいたい

整理番号	209
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主事
企業・団体名	県土地開発公社

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

具体例が豊富で分かり易く実感のこもった講演でした。

土地開発をしている。売れ残りの土地が多い。企業誘致が最大の仕事だが今のご時世で買ってくれるところがない。民にリスクを渡さないようリース制度などが導入されている。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

民の活力を取り込むために行政として地域の優位性を把握し、民間に何を期待するか明確にしておかないと民間からの提案ないようも不十分になると思います。

入札時の条件の決定が重要と思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う。

◆ PPPに関する期待、質問

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

もっと学べば、もっと解る

整理番号	210
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県企画課

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
<p>大変参考になりました。</p> <p>全般的な仕事と、市民参加を担当している。市民も民ととらえると、市民にとっての参加は、経済的な動機なのだろうか。良く理解できない。</p>

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
<p>① 経営破綻した場合、公共サービスの継続の問題はないか？ 答え：SSでは官が引き受ける。民が損をする。</p> <p>② PPP を行う企業の資金担保 日本の金融機関は自治体に債務保証を求めるのではないか？ 答え：PPPではノンリコースです。官への保証は出来ません。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う

◆ PPPに関する期待、質問

???

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

ない

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

ない

総合評価

B

端的な質問ですね。理解されてると言う事です

整理番号	211
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	室長
企業・団体名	市総務課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

アメリカの事例紹介が多いので、日本での事例紹介を詳しく願いたい。

答え：日本ではまだ無い。

行政改革を進めている。今のままの改革ペースでは限界がある。まったく新しい方法を探してきてたどり着いた。非常におもしろかった。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

日本の地方自治体において税制上の工夫がどこまで出来るか。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

過疎地域のバス
公共交通機関の確保

◆ PPPに関する期待、質問

期待できるか？

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

無い

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

無い

総合評価

C
これからですかね

整理番号	212
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

PPP の手法を具体的に分かり易く説明して頂き、地域おこしの参考になりました。

地域興しの担当である。PPP ということではないが、今までのようなお上が補助金を出して民を支えるということができない中で、新しい協働のあり方が必要だ。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

地方自治体では今後 PPP の手法を取り入れる事が大変重要となると思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

中山間地域の定住促進
中心市街地の活性化

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

C

これからもっと勉強してもらいたい

整理番号	213
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

興味深い話であるが、横文字と早い進行で……
もっと分かったかった。
時間が短かった。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

先生のおっしゃることは良く分かりますが、具体的に何を、いつ、どうしていけばよいのか？ 今の給料をこれ以上、下られると意識改革が薄れていくと思いますが…

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

図書館、遊休している幼稚園など……
展覧施設、漁港、健康増進施設

◆ PPPに関する期待、質問

PPPは“公民連携”というが、どんな手法で取り組んでいけばよいのか？
初期 → 中期 → 後期

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

理解は少し出来ている。学びたいと考えているが不安も大きい

整理番号	214
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主幹
企業・団体名	市企画課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>官と民の連携の必要性……</p> <p>官の意識改革の重要性……</p> <p>民の力をどう活用するのか……</p> <p>考えさせられました。</p> <p>市政全般を見る立場。特に中心市街地再生。民の力が弱い中でどうすれば良いかを常に考えている。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>これを小松でできるかどうか？</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う

◆ PPPに関する期待、質問

どうにかして、小松で使えないか？

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

とくに

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

とくに

総合評価

B
理解はされた。もっと学んでもらいたい

整理番号	215
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	主任主事
企業・団体名	県企画振興部

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見

今は、企業誘致が仕事である。地元企業ではなく、首都圏、関西圏の企業に地域の工業団地や工業用地を購入し、地元で雇用し、創業してもらおう。それなりにうまくいっており、特に何かしなければならぬという状況にはない。PPP は日本的な考え方ではないので、国内企業と言うよりも外資系企業誘致の際に使えるのではないかな。

外資等の投資対象として魅力を持つ事を念頭に考えたいと思います。

コメント：そうでは無い。地元で民企業と官がパートナーとして何が出来るかと言うことです。

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント

Public supports private 位がちょうどよいのではないかと思います……

逆ですね。Private supports public です。パブリックが行った事が今を起しています。

コメント：良く理解が出来ていると思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う。

◆ PPPに関する期待、質問

期待したいですね

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解されている。もっと学んでもらいたい

整理番号	216
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	係長
企業・団体名	市企画課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

日本でも取り入れるべき事だと思いますが、首長、議会に理解させること、住民も賛同するかどうか分かりません。

総合調整が仕事。議会、各局、県、国、住民団体……。実に多くの調整先があり、それぞれが各々の利害で動く。主張するだけでなく、互いを尊重しあうというパートナーシップが重要だということが良く分かった。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

市東部地区総合中学校

現在、東部地区に2校の中学校がありますが、生徒数の減少により統合させる計画がありますが、どちらの校舎とも古いものであり新たに建設する必要があります。

お金は勿論ありません。PFIも検討はしているのですが……

◆ PPPに関する期待、質問

本当に協力してもらえる企業があるかどうか分かりません。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

理解はされた、どこで使えるかも理解している。リーダーが旗振りをしなければだめ

整理番号	217
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県農業政策課

◆ PPP 説明・プレゼンについての意見
<p>県も民間との人事交流を積極的に進めるべきだと思います。 幹部の職に民間人を！！</p> <p>農業はもともと民間人である農家の産業。だが PPP という発想はない。</p>

◆ 一般的な PPP についての感想・コメント
<p>民と交流する機会を積極的に設けていかなければならないと思いました。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

県の機能の奥能登移転

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

理解された。リーダーに学んでもらう。民を起用する。もっと勉強して下さい

整理番号	218
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	庶務課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>初めて聞いた概念で、とても新鮮でした。</p> <p>庶務的な仕事をしている。民間との接点は、業者として発注するときだけ。契約は結ぶが PPP とはだいぶ違う。リスクはすべて行政が負担している。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>この考え方が日本で、もっと広がれば行政の仕組みが大きく変わる可能性があると思います。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

現時点では分かりません

◆ PPPに関する期待、質問

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

C
もっと勉強してもらいたい

整理番号	219
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県農業政策課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見
<p>非常に分かり易く、興味深かったです。</p> <p>JA との関係の仕事をしている。国、県、市町村、JA、農家、農業関係企業と複雑に入り組んでいる。互いに役割分担はしているが、PPP でいうところのリスクとリターン関係はないように思う。基本は国の農業予算をどう配分するかという所得分配の問題。それが政治プロセスで決まる。市民は選挙で政治家を選ぶだけ。</p>

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント
<p>更に、理解を深め、これからの業務に役立てていきたいと思えます。</p>

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

あると思う

◆ PPPに関する期待、質問

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

無い

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

無い

総合評価

B
理解しようとする姿勢はある。

整理番号	220
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	県観光交流局交流政策課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

民の力を活用した新たな公民連携の事例を知り得て良かったと思います。

観光の仕事は民間との接点が多い。補助金があるわけでもないのに、民間に自分のメリットと考えて行動してもらえない。PPP の考え方は非常に参考になる。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

官の経費を使用しないで、民の経費での運営は注目すべきことだと思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

新たに、良い方法だとは思いますが、今すぐには思いつきません。

◆ PPPに関する期待、質問

アメリカでは産業観光産業への転換で運営されている事例があることや、観光が世界の最大産業であることを認識させられました。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

ない

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

ない

総合評価

B
理解しようと思われる

整理番号	221
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	課長補佐
企業・団体名	市企画財政課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

具体的なスキームが見えればよかったですと思います。
(資料だけでも)

財政の仕事をしている。地方財政は悲惨な状態なので、今すぐ使える処方箋が必要。どこをどうすればよいか具体的に検討してみたい。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

本当に反応してくれる「民」がいるのか不安です。
でも、興味は大きいものがあります。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

空校舎活用（遊休施設）
公社所有用地

◆ PPPに関する期待、質問

詳細な資料を頂きたいです。

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

ない

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

ない

総合評価

B

可能性は理解出来ている。難しさも。もっと勉強する機会を与えたい

整理番号	2 2 2
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	課参事
企業・団体名	土木部都市計画課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

官の資金投入なくして――

民の資金で地域再生可能へのノウハウを具体的に識りたい。

現在は、都市計画の仕事。規制緩和の要求が多いが、むしろまちづくりのためには規制をかけて地域を守るという発想も必要だと思う。都市計画では、計画を立てて法的に規制することが最大の行政の役割で不慣れな事業に手を出さないようにする。それが三セクの教訓である。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

公民連携について――

指導的な官である為に資料を読ませて頂きたい。

コメント：官指導ではない。官と民がパートナーとして事業を行う。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

講演の中で――

地域資産の発掘について追求していきたい。

裏日本 → 中国・ロシアに近い等

◆ PPPに関する期待、質問

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B

理解された。もっと学べば

整理番号	2 2 3
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	専門員
企業・団体名	教育委員会生涯学習課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

公民連携手法が具体的に国内の色々な自治体で取り入れられ、成果を出しており身近な場所での適用を考えさせられました。

生涯学習を担当している。生涯学習では住民のまったくの個人的な意志であり、そこには競争原理がもともと働いている。行政の役割は、企画し募集し主催しということだが、その中で民間と一緒にやっていける部分は多いと思う。特に企画に対しては、今まで行政の決めたことがすべてであったが、これからは民間の発想を取り入れていきたい。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

PPP を取り入れるにあたって、先ずその地域の背景等を勉強する事が大切であると思います。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

既存の生涯学習の機会の提供等、公民連携できるテーマが考えられると思います。

◆ PPPに関する期待、質問

期待できると思います

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

A

教育委員会で促進してもらいたい

整理番号	224
日付	平成20年(2008年)1月16日 水曜日
場所	県庁

氏名	
役職	
企業・団体名	市総務課

◆ PPP 説明・プレゼンに関する意見

大変参考になりました。

市は 県でも奥 で活性が難しい所です。そんなところでも PPP で活性化と考える事が出来るのかどうか、考えたいと思いました。

過疎地域ではとても PPP はできないと考えていた。いまのところは、せいぜい指定管理者程度。PFI ではできる民間がない。

◆ 一般的な PPP に関する感想・コメント

日本の地方が PPP 手法で活性化出来ればと思いました。

◆ 会社、団体、自治体でPPPが適用できる、あるいは、PPPに関連すると思われる課題、テーマはあるのか？

日本の地方、過疎化地域

◆ PPPに関する期待、質問

期待したい

◆ 文科省東洋大学地域再生支援プログラムへの関心は？

なし

◆ 東洋大学公民連携大学院への興味は？

なし

総合評価

B
理解はされた。学びたいという意識はある。

整理番号	225
日付	2007年11月9日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	前市長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

市長時代の話をしてします。自分は元々医療関係の仕事をしています。医療関係の専門学校も経営しています。したがって経営に関してはそれなりに自信がありました。その傍ら、県議を永年勤め、県議会議長をしているときに市長選がはじまり、周囲から押される形で出馬しました。

市を運営するというのが自分の公約でした。

半世紀を越えても変わらない護送船団システムは、地方の思考停止と個性の喪失を招き、官主導並びに行政の閉鎖性は、行政と市民の乖離と非効率性を露呈していると思います。公務の領域や担い手を再検証し、新たな概念を導入して地方から国を変える突破口とする信念で取り組みました。

小学校の定員数を国の基準よりさらに少なくして少人数教育を徹底しました。校長、教頭、生徒部長の教員がくめばできます。県に掛け合ってキーパーソンはいい人材を出してもらいました。

市には500～600人の職員がいますが、将来は1割でいい。こういう最終的な目標を掲げて地方自立計画を導入しました。わかりやすく言えば、行政業務を有償ボランティアやNPOに移行していきたいと思っています。

自分なりにやり遂げたと思ったので1期で引退しました。今は、自分で研究所をつくってあちこちで講演しながら後生につないでいきたいと考えています。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

市民や議員がなかなか理解してくれないのは事実です。
けんかするのではなく、いい意味で仲良く、議論しながら進めるという姿勢は必要です。
自分だけの経験ですが、どうしても理解してもらえない部分がありますが、理解してもらえる部分も少なくない。少しずつ広げていけば、何もしないよりはるかによい。

東洋大学に対する期待

いつもご苦労様です。
人をつくるというのは非常に大事なことです。

総合評価

S

今や引退されているが素晴らしい指導者である。この経験を生かして多くの場でPPPの良さを広げて行っていただきたい。

整理番号	226
日付	2007年11月16日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	企画課長
企業・団体名	町

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>町は、現在、駅前の土地をPPPを活用して新しい活用を検討している。</p> <p>町としては5年前からPPPには取り組んでいる。上水道をDBOで民間に運営委託した、今度は火葬場をPFIで実施した。東北の町としては非常に進んでいる。今はその成果をPPPに生かしているところである。</p> <p>日本では制度的な枠組みが多く、それを軽視して進めることはできない。進められれば良いが、進められなければ時間がかかり、できない可能性もある。反対する人々を説得しながら少しずつ進めるのが良いと思う。</p> <p>町でも取り組めるものは取り組む。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

財政が厳しいのはPPPを導入する理由として大きいですが、財政が悪い最大の要因は地方交付税が減額されたことであり、その結果をPPPに持っていくのはどうかと思う。官がやらなければならないこと自体には変化はないわけで、金がないの一点張りで、民に持っていても議会や市民が納得しない。

PPPが日本で定着するには、日本流のやり方に形を変えてからなのではないか。

東洋大学への期待

引き続きよろしく申し上げます

総合評価

C

知識がじゃまをして、結果的に抵抗勢力になっている。改革派町長を支えるこうした中間層をいかに意識改革するかは大きな仕事であろう。

整理番号	227
日付	2007年11月30日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	前市長
企業・団体名	市

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>市では、提案型公共サービス民営化制度をはじめている。</p> <p>これは、市民団体や民間企業が、市の仕事の内自分たちでできると考えるものを自由に提案することができるという制度である。最初は、提案が出てきそうな事業を選んで提示することを考えたが、それだと市の職員が出したいものしか出さないことになる。職員はそうはしないと云ったが、悪意でなくてもこれは市の方が上手にやれるはずだと決めつける意識は働くだろう。それで市の全事務事業を対象にするということを決めた。皆さんから画期的なことだとほめていただいた。</p> <p>提案はすべてを対象にすると言っても、すべてを民営化できるとは言えないので、最終的には市が決める。だが、そこに市の恣意が入るといけないので、第三者委員会を作った。委員長には政策投資銀行のOBの方で格付けの研究をしている大学の先生をお願いした。たまたま市内に在住しておられた。</p> <p>もう一つ工夫したのは、提案内容が非常に良かったらその提案者に事業を行ってもらえるという道を用意した。せつかく提案しても、事業者を決めるときは競争になって、知恵を出していない事業者が落札できるということでは、知恵のある提案は出てこないと思った。随意契約で仕事ができるというのは魅力だと思う。</p> <p>この制度は今や市の看板制度になっている。 といえば提案型民営化となれば、日本中の注目が集まる。こういう効果も以外にばかにならない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

私は、小さな政府と大きな公共が必要だと考えている。

官だけが公共を担うという時代ではない。NPOでも企業でも従来官が行っていた仕事はできる。そういう意味では、政府は小さくなるにこしたことはないだろう。だが、それは公共的なものが小さくなるという意味ではない。少子高齢化やいろいろなニーズを考えれば公共的に必要なものはどんどん大きくなっている。それを官だけでまかなうのは無理なので、市民団体や民間企業にどんどん分担してもらいたい。そういう意味では、PPPは必然だと思う。

自分の立場からは、民間のビジネスを広げるというよりは、市民に責任を持って参加してもらいたいという言い方になる。ただ、同じことを違う言い方で表現しているだけだと思う。

市では確実に市民の意識は変わった。今、各地でいろいろな方に話を聞いているが、目覚めつつある市民は多い。こういう動きを大切に育てていきたい。

東洋大学への期待

来年度は自分も参加するので、是非一緒にやりたい。

総合評価

S

市といういわば恵まれた環境にありながら、高い意識を持ち、実績を上げてきた出色の人材。大学としても大いにPRして互いにメリットのある関係を構築すべきであろう。

整理番号	228
日付	2007年12月14日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	前市長
企業・団体名	市

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>自分私は市長として二つのことを大切にしたい。</p> <p>一つは、自分のまちの教育観を持つことだ。まず自分たちはこう考えるという主体性がなければならない。「自分のまちの子供は、自分たちが育てる」という犬山市の教育の大前提となる“気概”である。</p> <p>二つ目は、教育委員会制度の存在だ。教育委員会は校長を中心とする現場の教員たちの実践を支える装置であり、教育委員会と各学校は、互いに自立しながら連携し合う義務教育の基幹組織であるがゆえに、教育委員会と現場の考えたことは、市長として全力で支えなければならない。</p> <p>一番有名になったのは全国共通テストを、公立小中学校の中で唯一テストを実施しなかったことだ。問題の本質は、学力とは何か、ということだ。“真の学力”とはあのような正当率を求めるペーパーテストとはおよそ異質のものではないのか。真の学力とは、知識とは異質の、テストでは計ることのできないものである、ということをもっと認識する必要がある。子どもたちの学ぼうとする意欲、学力を求めて向上していこうという生命力は、どこまでいっても、子どもたちの内にある潜在力を内発的に引き出してやることでしか達成できはしない。少人数授業を徹底するとか、教材を工夫するとか教師の作品とも言うべき授業をおもしろくし、学ぶ楽しさを引き出す努力は無限にある。</p> <p>PPP という用語は知らなかったが、公共サービスの質を上げるために、ありとあらゆる知恵を総動員するという意味では共感する。国が決めたこと、過去からの慣習など一度ゼロにした状態で考えてみると良い。新しい発想が浮かぶ。当然そこに行政と民間の協働があるのであろう。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

行政が今まで通りでようとは誰も思っていない。市民も議員も、そして役人自身もそうだ。必要があれば意識は変わるはず。

東洋大学への期待

このような講座を持っていることに敬服する。

総合評価

A

素晴らしいリーダーと思える。市のため、市民のため、PPPの重要性を理解し、前に進める努力をなさってられる。是非、協力したい。

整理番号	229
日付	2007年12月21日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	前市長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに
取り組み上の課題

人口が減り始め、税収が下落基調にある。税収の根幹となる産業がなく、財源が乏しい。
そんな地方の自治体に、6年間の市長在任期間中に市の税金300億円以上を節約し
た、実証済みのノウハウを余すことなくお伝えし、短期間での財政改善をお手伝いしま
す。IT政策を実施してみたものの、思うような効果が得られない。システムの開発や維
持にかかる費用が財政の負担になっている。多くの自治体が抱えるこんな問題を解決
し、利用者と職員の双方にとって使い勝手が良く、対費用効果の高い電子自治体の実現
をお手伝いします。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

職員の意識は変えられる。自分も市長の時代にまず行ったのは人事異動を止めることだった。職員はすでに決まっていて今から変えると混乱する、外に迷惑がかかると言うが、人事が一番重要だ。役人は人事権に弱いことが霞ヶ関時代に肌で実感している。ずいぶん乱暴な市長だったが、職員と話をしてみても埋もれていた声を抽出できた。それが人事に反映されなければ意味はないだろう。

一方、市民の意識を変えるのは容易ではないと思う。市民には市長の人事権は及ばない。市長は市民から雇われている身分だ。雇われている人間が、雇い人である市民の道を決めるというのはなかなか難しい。責任ある立場と言うことを自覚して、責任ある判断をしてほしいということではないだろう。

東洋大学への期待

なかなかユニークな試みでエールを送りたいと思います。

総合評価

A

実績の中から、多くの教訓を得て自分なりに知識体系を整理している。このぐらいのレベルになると学ぶ、教えるという話ではないだろう。

整理番号	230
日付	2007年11月17日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	相談役（元社長）
企業・団体名	メーカー

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>工場を建設する際に社長をしていた。今でこそ、液晶世界一と言われ、モデルとして評価されているが、その時点でここまでこれるとは思っても見なかった。</p> <p>最初に地域を選んだ理由は大阪の本社に近いことである。液晶はまだ完成された技術ではない。一見大丈夫でも実際に稼働を開始したら何が起きるかわからない。社運をかける大事業をカントリーリスクのある海外で行うことはできない。普通のテレビとは訳が違う。大阪、奈良と工場建設が進んで次が三重というのは工場立地の戦略からいうと不自然なことではない。</p> <p>良く助成金が決め手かと聞かれるが、そういうことではない。ありがたいのは確かだが、数千億円の投資に対しては、補助金より立ち上がりのスピードである。北川知事が民間のスピードを理解してくれた。普通なら許認可に何年もかかることを、実質半年で結論を出してくれた。民にとってこれほどありがたいことはない。</p> <p>大阪に行くのも同じだ。堺の土地は長らく開いていたが、大阪市内からも関空からも近くインフラは整っていて魅力のある場所だ。大阪府も良い土地を持っていたと言えるのではないだろうか。今度は同じ液晶でも大口径の次世代型で実質的には研究所が巨大になったようなものだ。このリスクに対応するのはおひざもとに限る。太田知事にも良く話を聞いてもらったという印象がある。</p> <p>液晶に傾注するリスクは当然あるが、民間としてはリスクを負担せざるを得ない。有機ELとの競争はあり自社でも開発はしているが、すでに液晶に梶を切っておりそう簡単には変えられない。失敗すれば地域にとってもマイナスだろうが、こうしたリスク経営を自治体がうまくタイアップしてくれたということだ。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

やはり民間の意識は理解できるのは、進歩的な首長だと思う。職員レベルでも頭の良い人は多いが、実行するには首長の意識が必要だ。そこが変われば変わるのではないか。ただ、補助金の競争をしているようでは、理解しているとはいいがたい。要は、民間企業の要求するスピードで対応できるかどうか、従来の仕組みにとらわれずに何とかしようという気持ちがあるかどうかだ。

東洋大学への期待

こういう機会をいただいてありがとうございます。

総合評価

A

さすが大企業の元社長。見事に民と官の本質の差を見抜いておられる。

整理番号	231
日付	2007年10月13日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	相談役（元社長）
企業・団体名	JR

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

国鉄民営化は現在のPPPの先駆けといえるだろう。長期債務を抱えたままでの再建は、どう考えても無理で、これに拘泥すると本来の公共サービスである公共交通事業の使命が達成されない。そこで、長期債務を処理するための別法人を作った。これが精算事業団だ。

鉄道事業は地域分割した。分割して弱体化するだけで意味がないという人もいたが、大きすぎる組織はそれ自体が効率的でない。儲けられる場所から儲かっている場所に内部補填するのは、組織の中で勝手に利益を配分することと同じだ。島の会社3社と本州3社に分割した。

東海は事業範囲は中部だけだが、JR東海には東海道新幹線がある。この点は配分の時も考慮されて公平な負担システムができあがっている。今一番問題なのは新幹線の老朽化問題だ。一番先に建設したので一番先に更新しないといけない。長寿命化の工事は行っているが、早晚全面的に建て替える必要がある。

企業として建設資金の調達に頭が痛いのは当然だが、さらに、工事期間中東海道新幹線をストップすることによる国民経済的な損失は計り知れない。飛行機で代替できる量ではない。個人的には、リニア路線を先に建設してその間に更新するということも一つの方法だと思う。PPPでうまい回答が見つかるならたいへんありがたい。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

国鉄からJRになったときに意識は変わった。意外なほど簡単だった感じがする。JRの場合はそれしか道がなかったからであり、追いつめられればできるということを実感した。自治体も同じではないだろうか。

東洋大学への期待

土曜日に勉強する社会人の前で話ができ、光栄です。

総合評価

A

自らPPPの現場にいて体験した重みが違う。アプローチこそ違うが、コンセプトは共有できると思う。応援していただきたい人材。

整理番号	232
日付	2007年11月10日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	理事長（元 愛ちきゅう博事務局長）
企業・団体名	財団法人

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>博覧会には企画段階の途中で参加した。どういう事情だったかという、観念的な状態で具体的な部分に手が着いていない状態だった。もともと、いずれは万博の神様である堺屋太一さんが指導することになっていて、それまでの間は何をしても意味がないという沈滞した雰囲気があったのではないかと。</p> <p>自分の時も堺屋さんとの話はあったが、結局堺屋さんがお考えの万博と、国や地元が今回目指したい万博とはだいぶ違うと言うことがわかってきた。堺さんに任せれば良いと思っていた人たちが自分の頭で考えないといけないと言う状況になった。そこに登場したのが自分である。</p> <p>まずは、出向者の意識を改革したいと思った。派遣元に行ってとにかく会社のことは別にして、万博のために働けるよう協力してほしいと言った。派遣されている社員はそれぞれの思惑があって派遣されていると思いがちだ。そのくびきは解いてあげないとなかなかうまくいかない。自治体や国からの職員も同じだ。親元ばかり見ていると結局何もできない。</p> <p>出向者でも一生懸命やるという気風が生まれるとあとは良い循環に向かったと思う。こういう事業は短期間に成果を出さないとだめ。そのためには、まずは正しいと思う方向を示して各人がそれに向かうようにすることが重要。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

官と民の対等の関係と言うにはまだ日本は未熟だ。官はもちろん民にも官に依存する体質が残っている。むしろ民の方が変わる必要があるのかもしれない。

東洋大学への期待

こういう話で役にたてのかどうか不安。

総合評価

B

イベントの話だったのでPPP本来の話題からは少し離れてしまっていた。

整理番号	233
日付	2007年11月24日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	社長
企業・団体名	不動産 SPC

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>は旧防衛庁の跡地に建設された。PPP の分類では公有資産活用にあたる。売却の時は価格による一般競争入札だった。当時は都心の地価が上昇期に入り、バブル期以降久々の大型落札案件だと言われた。価格が高いのか安いのかは正直わからなかった。投資採算を考え、長期的にあう価格を提示したつもりである。結果的には一社しか入札しなかったのもう少し安くても落札できたのかもしれないが、それは結果論で、応札時点では勝てる条件を提示することが最優先だった。</p> <p>六本木のポテンシャルは高く評価していた。六本木ヒルズやアークヒルズの集積がすでにあり、大規模開発への抵抗感が顧客に少ない。丸の内や新宿と同じような環境だ。どうしても入手したい物件ではあった。</p> <p>条件はほとんどついていないに等しい。敷地を片側に寄せたのは北側制限があったから。その意味では都市計画という規制が民間としての我々の行動を規制したことは事実であるが、この規制は開発前からすでにあったものであり、国有地を買った我々を特に規制するというものではなかった。</p> <p>空地や緑地の配慮、文化機能の誘致は、地元への貢献を考えたものであるが、顧客にも評価してもらえる自信はあった。そういう意味では公共的事業であることと民間ビジネスは矛盾していない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

デベロッパーなので国公有地を譲り受けるケースが一番多い。国有地の場合は価格競争が多い。自治体の土地の場合は、価格も多いが、最近では投資の質を問われることが多い。東京都心ならともかく、地方圏の場合は価格と質はトレードオフになることが多いので、地域貢献を求めるなら価格の競争は最小限にする方法もあるだろう。自分は担当していないのでよくわからないが、横浜みなどみらいは地価がリーズナブルな価格だったので、ずいぶん思い切った提案ができたと聞いている。

公共性と価格という要素をどちらを優先させるかは、自治体にも非常に重要なことだと思う。

東洋大学への期待

院生として一人来ているので良く知っている。

総合評価

B

現場で良く理解している。

整理番号	234
日付	2007年12月15日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	執行役
企業・団体名	小売（コンビニ）

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

今日は、コンビニは市役所になれるかという大きなテーマをいただいた。確かに、今やコンビニは、公共料金の支払いもできる。ATMや宅配便の取り次ぎ、切符も切手も売っているとなると、市役所どころか世の中のサービスのすべてができるようになると考えても不思議ではない。

だが現実には、サービス売上はごく一部である。食料品、日用品と肩を並べるには至っていない。むしろ、サービスを受けに来た方に、ついでに飲み物や雑誌を買ってもらうという効果の方が大きい。来場促進効果を期待しているということである。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

コンビニの立場からしか言えないが、市役所機能を持たされることは正直抵抗感の方が強い。手数料が低すぎる。公共料金や納税もできるとなると多額の現金を扱うことになり、セキュリティを強化する必要がある。個人情報の保護も慎重にならなければならない。

市役所ならそうした機能がもともとあるが、コンビニではわざわざそうした投資や人員体制を整備しないといけない。民間施設に機能を担わせるならそれ相応のメリットを与えていただかないといけない。

納税に来れば他の商品も売れるという意見もあるが、実際には支払に来た人はそのまま帰るという傾向が強い。

東洋大学への期待

いただいたテーマ自体が刺激的だったのでおどろいた。勉強になった。

総合評価

A

まだそこまでは意識が行っていないとの発言だったが、十分検討されているという印象。上滑りしない堅実な姿勢は CH2M になれる可能性のある企業である。

整理番号	235
日付	2007年10月27日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	社長
企業・団体名	

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>企業や官公庁が保有する自家用自動車の運行業務を請け負う車両事業からスタート。その後、各種施設の管理運営や給食、図書館、保育、各種用務などを手がける社会サービス事業に進出。現在、官公庁、企業向けを問わず、幅広い業務に対応できるトータルアウトソーシングビジネスを展開しています。</p> <p>最近では、2008年4月にPFIで受託した仙台市野村給食センターの運営開始、2007年10月「いわき市立いわき総合図書館」の業務を受託、2007年10月北海道小清水町「ふれあいセンター」の指定管理者へ、2007年7月流山市から小学校等複合業務施設をPFIで受託しています。自治体との取引実績は301。自治体業務に従事する社員数3207人です。</p> <p>サンディ・スプリングスのような包括受託も可能です。日本で唯一の包括的な公共サービスアウトソーシング事業者で、すでに北海道えりも町、青森県三戸町など多くの自治体から幅広い業務を一括して受託、自治体の行財政改革のお手伝いをしています。</p> <p>課題は同様のサービスを提供している企業がないため競争にならないということです。PPPは公平性が必要なので、 だけしかないとなると自治体側も頼みづらいと言う事情があります。</p>
--

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

自治体にプレゼンに行く際には、一般論だけではなく、その自治体の現状を評価するレポートを持っていく。行革プランは必ず持っているので、その中にある施設の数や他の自治体と比較して大小を見せる。これは多いなと気づけば効率化の動機付けになる。

抽象的に行革が必要だと言うことはわかっているけどどこから手を付ければ良いか普通は分からないので、数字で見せるのがよい。見せ方はいろいろあると思う。

当社だけでなく他社でもできるが、最大の問題は労務管理である。平たく言えば公務員の人材派遣であり、現場の職員をどううまく使うかが鍵。大手のゼネコンや金融機関のネットワークならいろいろな人材を集めることは可能だが、そういう大企業の社員が上手に使えるかどうかとなると問題は別。意外に泥臭い仕事である。

東洋大学への期待

大学と連携できればありがたい。

総合評価

S

日本唯一の包括的サービスプロバイダー。ビジネスモデルもできあがっており、今後を託したい企業である。

整理番号	236
日付	2007年12月27日
場所	市役所

氏名	
役職	副市長
企業・団体名	市

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>5月までコンサルティング会社にいたので、コンサルタントとしての現場からPPPを見てきた。日本でのアドバイザー業務は正直言ってそう利益の出るものではない。自治体にはソフトに対する費用を評価しない傾向が特に強い。</p> <p>現在、市では、さまざまな面で民間と協働している。首都圏および都市部の自治体としての強みである。PFIや指定管理者も手がけているが、市全体として企業や市民団体とどのように進めていくかの戦略はない。組織的な対応を図る必要があると思っている。</p> <p>とにかく個々の事業をPPPにすれば終わりと考えがちである。それは行政にも、民間にも、市民にも同じ意識があると思う。本来ならもっと大きなくくりで考えた方がよい。市は最初に組織化する自治体となるであろう。</p> <p>大きなものはみなとみらい、メイン駅周辺、文化創造都市、新市庁舎など、都心が多いがそれだけ集中してインフラ整備を考えないといけない時期である。この時期にきちんと考えておかないと後の世代に悔いを残す。PPPはそのための有効な手段である。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

自分が長年いた英国と日本ではかなり状況が違う。PPPに対する意識も大きな差がある。無理に進めようとするとう抵抗にあうことが多いというのはその通りかもしれない。だが、やらなければならないことはある。PPPが必要ならあくまでも必要。

東洋大学への期待

いろいろ頼みたいこともあるのでよろしくお願いします。

総合評価

S

民営化の書籍を著したこともある専門家。市での職を得てますます羽ばたく勢いを感じる。

整理番号	237
日付	2007年12月25日
場所	区役所

氏名	
役職	区長
企業・団体名	区

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題

は行政よりも民間が強い町。民間の力でここまで発展してきた。もともと浅草の商人である高松喜兵衛が作った私製の宿場町だった。江戸に入る職人相手に遊興酒場で儲けようとしていた。2次大戦後焼け野原になった地区を、国ではなく町会で区画整理をして自分たちの町を作ろうとしたのが鈴木喜兵衛。鈴木は、大衆娯楽を導入しようとして歌舞伎座を誘致した。最終的に松竹が来れないことになり、断念したが、その代わりに大博覧会を挙行し、跡地に劇場や映画館の町を作った。それが今の地名の由来である。善し悪しもあるが、昔は官に頼らず民の力だけでまちづくりもできたのだ。

今一番力を入れているが、民にだけ任せていると犯罪の町になってしまったからである。民に力を発揮してもらうための環境整備は官の仕事だと思う。4年前から警視庁、消防庁、入管の3者がくんで徹底的に犯罪を取り締まった。このため犯罪率は激減した。犯罪の温床になっていた風俗店も減った。

問題はその後の空室の処理である。部屋が空いたままだと、賃料が入らずビルオーナーが干上がってしまう。安全のために協力せよというのには限界がある。新しいテナントを入れないといけない。悪い人を追い出すのは官でないとできないが、良い人を入れるのは官ではできない。民にやってもらうしかない。もちろん官としてできることは最大限行う。そこにPPPの存在意義が生じるだろう。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今、大口の地権者である東宝や東急などの四つ葉会、振興組合、町会、鉄道事業者ともくんでルネサンス協議会を開催している。水面下ではいろいろなことを言う人はいるのかもしれないが、こと協議会の席では堂々と正論を議論する。協議会で出た方向性はみな尊重するという意識が出ている。この仕組みはほかでも通用するのではないかと思う。

個人個人の意識を変えるのはそう簡単ではないが、枠組みとして行政と企業と市民が一緒になっているということであれば、自然にPPPになるのではないか。

東洋大学への期待

このプログラムが有用であることは分かった。院生を一人派遣したい。

総合評価

S

PPPの理屈はともかく現場の首長として必要性を痛感している。言い訳せずに建設的に進む姿勢はすばらしい。

整理番号	238
日付	2007年12月11日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	プロジェクト開発推進本部部長
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>もともと官庁営業をPPPと言え言えなくもないが、それは単なる発注と受託の関係に過ぎないかもしれない。</p> <p>基本はPFIである。大型の案件には積極的に参加している。ただ、当初の予想ほど利益が出ない、仕事としてのうまみもない、工数ばかりかかるというデメリットが出ている。このままではじり貧になる。今のところ当初の熱は消えたという感じである。</p> <p>PPPがそれに変わるのかどうかは分からないが、非常に期待している。民間の知恵を上手に引き出せるような姿勢を官に持ってもらえれば、民のスタンスも変わる。今はその様子見の状態。社内的には積極的にPPPを打ち出していく状況にはない。民から動かなければ官も変わらないと、個人的には思っているのだが。</p>
--

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

民にとってはビジネスになるかどうかすべてであり、その可能性が見えれば問題はない。今は壁に突き当たっているPFIだが、民として積極的に関与したい案件が次々に登場するなら、再び盛り上がるだろう。

談合を正当化するつもりは毛頭ない。PFIがもたらした透明性、公平性の理念は確実に浸透している。今その過渡期だ。時計の針を逆に戻すことは絶対にあってはならない。そのためにもPPPの普及が必須だ。

東洋大学への期待

いつも注目している。

総合評価

A

問題の本質を理解している。それだけに現場の悩みが深刻であることが分かる。

整理番号	239
日付	2008年1月11日
場所	市役所

氏名	
役職	市長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>政策投資銀行時代からいろいろお世話になっています。</p> <p>おかげさまで懸案の臨海部の再生に関してはそろそろ着手できそうです。まずは駅前の市有地を使って民間の提案募集をします。総合評価一般競争入札の案件なので第三者委員として評価をお願いしたいと思っています。</p> <p>コンビニ、ホテルなどの適地です。このプロジェクトで駅の南側に注目が集まることで、将来の臨海部本体の知名度を上げることになると思います。</p> <p>市川では民間なしで事業が進むことはありません。常に民の力を活用する。これが基本です。臨海部だけでなく常に民間との連携を心がけています。すべてがPPPだと言っても過言ではないでしょう。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPの目的は、市民のための行政を行うことです。その市民が大きな行政を指向しているようではPPPは成功しません。いかに市民に主体的な意識を植え付ける必要があるかが重要です。

先駆的な取り組みとご評価いただいている1%市民団体支援制度は、2年目を迎えました。いろいろ問題も指摘されていますが、良いことは良いというのが私の信念です。よく議会はどのようにして納得してもらったのかと聞かれますが、1%だけの話ですから、そう目くじらたてて議論するような話ではそもそもありません。夜の席も含めて議員と日常のコミュニケーションができていればさほど問題はないというのが実感です。

今インターネットを使った市民モニターを採用しています。新しい政策を実施したいときは、このモニターに意見を聞きます。最初に本名や住所を教えてください。実名性があるというのが責任ある参加には必要です。こちらは実名でも相手が匿名では議論になりません。Eモニターでは、冷静な意見が出てきていると思います。市には知識人が多く住んでいます。若い世代の方もそれに影響を受けて、自分の意見を堂々と発言します。工夫次第で意識は変わるということだと思います。

東洋大学への期待

人事担当には検討させましょう。

総合評価

A

実践で実績をあげてきた。臨海部では慎重な姿勢もあるが、本能的にPPPを進められる逸材。

整理番号	240
日付	2008年1月9日
場所	先方

氏名	
役職	常務理事
企業・団体名	経済団体

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>PFIは法整備段階から、次世代プロジェクト研究会で提言を行ってきた。民間団体として先駆的な役割を果たしてきたと思う。</p> <p>その後、都市再生の枠組みができるとき、今日銀審議委員の東大西村教授の提唱した社会投資ファンドが出る時、東京都を中心にカジノの発想がでたとき、それぞれごとにプロジェクトチームを作って提言をしてきた。</p> <p>そうしたものを総合したものがPPPだと思う。個々ではなく包含する概念を一度作ることで個々の動きもわかりやすくなった。</p> <p>その上で今一番旬の話は東京オリンピックとからめた臨海部の鉄道新線だ。本気で誘致を実現しようとするなら今のアクセスでは弱すぎる。欧米のオリンピックのコンサルタントの話では、今のアクセスでは到底最終的な誘致は不可能だそうだ。東京都は知事以下まったくやる気がない。多摩などの鉄道プロジェクトがことごとく失敗してきたからである。</p> <p>ここにPPPの出番がある。駅やメインスタジアムの開発の権利を譲渡することで民間に儲かってもらい、それで鉄道建設のリスクも負担してもらおう。全額は無理としても半分でも民にリスクを移転できれば話は違ってくる。そういう検討をしないと、ただ必要だといってみても信頼性がない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPP を使っているいろいろなプロジェクトが起きてくるのが非常に重要である。発展させなければ日本には未来がない。 内に、寺島実郎さんをヘッドにする新チームを発足させる。PPP が切り口ではないが、日本の将来に関する議論を民間ベースで行う。経団連のような抽象的な議論ではなく、個別具体的なテーマを選んでいく。その中で結果として PPP につながるものは大きいと思う。

東洋大学への期待

フォーラムや白書などでいつもコラボレーションを組ませてもらっている。

総合評価

A

民の方向性として PPP しかないことに理解が深い。

整理番号	241
日付	2008年3月7日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	PFI 推進部長
企業・団体名	建設

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>PFI 推進部では、業種を問わず PFI 案件に対して積極的に取り組んでいる。競争は厳しいが、それは民としては当たり前のことであり、それを乗り越える必要があると思う。</p> <p>ただ PFI に限定しているので広がりには乏しい。広い意味での PPP の必要性は感じている。08年度から PFI の名前に変えて、広く PPP を対象にするという意味で、パブリックソリューション部にする。自治体や地域の課題を解決するためのお手伝いである。</p> <p>会社全体としては公有地有効活用による官民共同プロジェクト、市街地再開発事業等も手がけており、広く PPP 全体を進められる状況にはある。</p> <p>今自治体が置かれている状況の厳しさは十分に認識しているので、何とか役立ちたいと思う。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

相当な市場があることは間違いない。すでに今ある市場をPPPの観点から再整理することも重要だ。

公共施設の更新期を迎えて大きなニーズがある中、昔と同じスタンスで営業しても仕事にならない。これは行政も同じ。仕事の仕方を変えるという意識改革がないとだめ。でもそれはできるはずだ。

東洋大学への期待

今度はPPP全体を対象にするのでこれまで以上にご指導願いたい。

総合評価

S

見識も豊かであり、PPPに広げるにあたり障害はない。

整理番号	242
日付	2008年1月29日
場所	先方

氏名	
役職	主任研究員
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>現在新しい公共のあり方について研究を進めている。特に公共施設だ。老朽化している学校や公民館など更新のニーズが強い。民間と違い減価償却をしてくれなかったのが、資金がない。</p> <p>道路や下水道もそうなのだが、ここでの研究としては上ものに限定している。さまざまな活用事例を紹介している。</p> <p>コンサルとしてはこうした必要性を提言して仕事に結びつけることが目的だが、PHP研究所は利益重視ではないので、世の中を変えることが先決だと思う。その結果、自分たちの仕事が広がればそれで十分。</p> <p>手法として行政コスト計算書を使うことを提唱している。この点ではファインコラボレート研究所の望月所長が詳しい。同氏のメソッドが非常に優れている。具体的にみせれば公務員も変わるに違いない。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

市場は無限に大きいと思う。冷静に考えて、従来型の公共事業で問題が解決できるとは誰も思っていない。要はその必要性を認識することだ。

とは言っても簡単には重要性は理解できないので、提言する役割が必要だ。我々はその役割を担うつもりだ。

東洋大学への期待

大学で同じ方向を向いているところは少ないと思う。どんどん発展させていただきたい。

総合評価

A

良く理解できている。 社会的な使命感も高い。

整理番号	243
日付	2008年2月22日
場所	先方

氏名	
役職	常務
企業・団体名	コンサルティング

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>弊社は2006年にグループ内の事業再編に伴って、グループの調査研究部門がシンクタンクとして独立した会社です。と から関連部門の実績とノウハウを、事業譲渡という形で承継しました。グループのシンクタンクとして、グループ各社が計画設計実務を通して培った知見を活かして、都市経営や環境エネルギー問題に係る調査研究に取り組んでいます。</p> <p>PPPの観点では、まちづくりとPFIアドバイジング業務が両輪です。弊社がアドバイザーを務めた仙台市新野村学校給食センターのサービス提供が開始されます。本格的なアレルギー対応のサービスに対して、期待が集まっています。</p> <p>国土交通省総合政策局からPFIのプロセス改善検討に係る業務委託を受け、契約プロセスやモニタリングシステムの改善に取り組んでいます。導入可能性調査に時間と費用がかかりすぎる、モニタリングも費用がかかりすぎるなどの行政側の問題点を解決して、PFIを進めるにはどのような方策があるかを検討中です。</p> <p>当社はコンサル会社なので、自分たちで何かを決めると言うことはありませんが、客観的にみて妥当なPPPの可能性をしらせてあげて、採用してもらおうという道は可能だと思います。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

やはり少数の専門家が引っ張っていくしかないだろう。ただし専門家の使命は、他の大多数の一般の人たちにわかりやすいメッセージを出し続けることだ。PFIの問題は難しすぎて、専門家にしかわからない世界を作り上げてしまったこと。

東洋大学への期待

いつも注目しています。

総合評価

A

コンサルとしての立場の限界を良く知っている。もう少し積極性があっても良いかもしれない。

整理番号	244
日付	2008年1月23日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	総合政策部拠点施設推進室
企業・団体名	市役所

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>現在市内の駅前土地を活用して、市民のための複合施設を計画中である。県の位置づけとしては西部ふれあい拠点とされている。</p> <p>財政的な問題もありPFIを使って整備する方針。この中で特に民の知恵を借りたいのが、創業支援施設と文化ホールである。創業支援施設は、川越の歴史や文化を題材にした新しいビジネスの芽を期待している。県や市では上手に育成することができないので、民間の知恵がほしい。</p> <p>文化ホールは1700席でかなり規模が大きい。市の文化事業は市の仕事として実施するが回数は少ないので、ほかの芸術事業は民のリスクで行ってもらう。今民間の意向を確認しているところだが、大手はだいたい興味を持ってきている。</p> <p>ロケーションがよいので、民間にとってもビジネスチャンスはあると思う。PFIに決めたのはほかに選択肢がなかったからであるが、もっと良い方法があるというのであればもちろん今後は選択肢にはいる。</p> <p>行政としてこれはよいこれは良くないとは考えていない。目的を達成できるなら、手段は幅広く考えている。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

行政にはこだわりはない。民間と組まなければならないことは数多いし、行政だけでもできるとしても民間に一部でも分担してもらえればその分ほかのことに工数を割くことができる。今や行政でそのことに反対する人はいないのではないか。

東洋大学への期待

いろいろ教えてください。

総合評価

B

一応PFIを担当しているが本質をついた理解はもう一息。

整理番号	245
日付	2008年1月31日
場所	県庁

氏名	
役職	企画部 課長補佐
企業・団体名	県

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>現在、国土形成計画の検討にあたり、県の基本計画を作っている。本来はこれが、県の振興計画、都市計画、産業振興計画、観光計画にもつながっていかないとはいけませんが、国土計画には強制力がないので、まずは国土全体の計画と整合性のある計画を作ることが目的。</p> <p>県土の整備の中で何が重要かはその中で議論する。</p> <p>民間との協働は大きな話題。国土計画でも、国土経営の観点が色濃く出ている。従来のように県が旗を振れば市町村がついてきてくれて、自動的に民間もそれに従うということはありません。今県土では、ご多分にもれず財政制約が厳しくなっているが、首都圏の一角としての経済基盤もある。</p> <p>などを区域分けして考えないとはいけない。基盤の弱い県北は県と市町村が主として県土を保全するが、は大学や企業が中心になる。県南はと一体化して、また、沿線を含めて首都圏のベッドタウンになっている。</p> <p>こうした役割を民間がどう分担してくれるか、これから検討していく。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

この点に関する意見は特になし。

東洋大学への期待

こういう分野を取り上げている大学があるとは知らなかった。是非いろいろ助言していただきたい。

総合評価

B

まじめに取り組んではいるが、しょせん公務員の発想の域を出ない。民間に信頼される計画ができるとは思えない。

整理番号	246
日付	2008年2月18日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	記者
企業・団体名	メディア

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>当社は建設会社が主要な読者である。今や建設業は従来型の仕事ができずに苦悶している。会社の数もどんどん減っている。それは当社にとっての経営基盤の喪失につながる。</p> <p>今回紹介していただいたサンディ・スプリングスのケースは、引き受けた企業が建設会社であるということで、非常に注目していた。今日のレクチャーで、建設会社の将来像が見えた気がしたので、いろいろな形で紙面に取り上げたい。</p> <p>PPPは建設産業にとってはさけて通れない道である。今後も、継続的に取り上げていきたい。</p> <p>メディアとして特に注目している点は、読者の反応である。前回紹介記事を書いたときもかなりの反応があった。反応の中身はいろいろだったが、閉塞感のある産業で反応のある記事はそうはない。この分野にいかに関心を持っているかと言うことだと思う。</p> <p>ポーター氏の本も読んだ。直接取材ができるとありがたい。CH2M HILLの話もおもしろい。日本のメディアとして、彼らの役に立つことも考えたいと思う。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPは今や特別なものではない。少なくとも建設会社にとってはPPPを知らなければ仕事ができないと思う。

東洋大学への期待

いつも情報をいただき感謝しています。今回も取材の機会をいただきありがとうございます。

総合評価

S

物事の本質を良く理解している。記者にしておくにはもったいない逸材。

整理番号	247
日付	2008年2月18日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	編集委員
企業・団体名	新聞

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>公民連携が社会にとって良いことだというメッセージをもう少し上手に伝えた方が良い。少なくとも公民連携では十分に伝わらない。</p> <p>新聞としては、様々な機会をとらえて発信していくことは考えている。ただ、読者にとってどの程度なじむのか、伝え方は工夫する必要がある。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

この点に関する意見は特になし

東洋大学への期待

はじめての試みであり大変だとは思いますが、がんばってほしい。

総合評価

B

知識レベルがじゃましてPPPの表面だけで理解した気になっている。

整理番号	248
日付	2007年12月4日
場所	県研修センター

氏名	
役職	産業振興課 副主査
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>産業振興課の仕事の多くは市内の中小企業対策である。商店街再生も大きな仕事だ。いろいろな国の制度を使って取り組んでいるが正直効果が出ているとは思えない。効果が出るようできるかの自信もない。</p> <p>中小企業にしても商店街にしてももともとは民間の話である。なくなると地域として困るのは事実だが、だからといって行政がどこまでできるのか。補助金を出す以上の役割があるのかどうか、補助金を出しても有効に使ってもらえるのか、日々自問している。</p> <p>そもそも行政として取り組むには限界のある分野だ。知識も経験もない。PPPの考え方がその助けになるなら学んでみたい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

今の地方行政だと民間のことを知っているかどうかは問われない。知らなくてもいいことを学ぶというのはよほどの意識の高さが必要だ。

東洋大学への期待

非常に興味がある。自分は高校卒なので、もう少し勉強してからにしたい。

総合評価

A

地方公務員としては出色の水準。

整理番号	249
日付	2007年12月4日
場所	白山キャンパス

氏名	
役職	総括補佐
企業・団体名	省

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>省でもPPPに取り組む体制を取っている。</p> <p>以前日本型PPPの推進として、アウトソーシングをとらえたことがあった。先駆的な取り組みであったと思う。</p> <p>各省がさまざまな取り組みを行っている。省庁の縦割りで民間の動向を左右してはならないと考えている。省の肩書きを全面に出しすぎると、抵抗にあう。正しいことでも進みにくくなる。今は個人的な取り組みを進めている。</p> <p>一つの発想であるが、学会の創設も良いのではないか。東洋大学が中心となって進めるのであれば協力したい。何か一つ方向性を定めて進めることでうまく行くこともあると思う。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

PPPが広がるのは間違いない。ほかに選択の余地はない。

東洋大学への期待

東洋大学には期待しています。

総合評価

A

良く理解しているが、組織と個人の役割の板挟みになっているようである。

整理番号	250
日付	2007年10月3日
場所	先方

氏名	
役職	
企業・団体名	計画事務所

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>都市計画関係の仕事をしていると最近の閉塞状況に胸が痛む。従来の発想では良い都市を造ることができない。何が無いのかを自問している。</p> <p>PPPが答えになるのかどうか自分には分からないが、経済や金融の観点が必要だというのはその通りであろう。ただ、効率性一辺倒のまちづくりは避けなければならない。そのためには何が必要かを考える必要があるだろう。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

特にコメントはなかった

東洋大学への期待

興味深い取り組みをされている。都市関係者が院生に多いのはうなずける。

総合評価

C

このあたりのレベルになると、自分の世界が完成しているので今更何かを学ぶと言うことは期待できないが、逆に本能的に親和性を感じていただいたとも言える。

整理番号	251
日付	2008年2月1日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	行政改革推進部
企業・団体名	都道府県

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>市場化テストに取り組んでいる。我孫子市の例同様に、全事務事業を対象にした。の場合は我孫子市の予算の数百倍であり、このインパクトは大きいと思っている。残念ながら提案件数は少なかったのは残念である。</p> <p>2年間市場化テストを行ってきた官民競争入札ができたのは、産業労働局の職業訓練校だけである。6件の実施件数は少ないが、次に続くものがない。なぜできないかと担当部局に聞くと、市場化テストにかけるためには、負けたときの対策を予め決めておく必要がある、つまり、もともと委託に出すつもり案件しか出ないということだ。今の市場化テストの枠組みではその方法しかないという。</p> <p>来年度はもう少し広げて、市場化テスト以外の方策も検討していくことにしたい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

別にこのままでよいと思っているわけではないが、行革推進部の孤軍奮闘という状態である。

東洋大学への期待

事例の紹介はありがたいし、いつも 行革の取り組みを取り上げていただいて感謝している。

総合評価

A

頭では理解していてもさらなる行動が必要。

整理番号	252
日付	2008年1月26日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	社長
企業・団体名	コンサルティング

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>から商業コンサルタントとして独立したところ。</p> <p>自治体からの相談は、公有地や地場産業センターの物販を伸ばしたいということである。PPPの枠組みで表現すれば行政側のアドバイザーということになる。</p> <p>商業は行政がもっとも不得意な分野であり、アドバイザーが必要だ。海千山千の商業事業者にいいようにあしらわれて、必要のない施設を作らされたりもうけ主義の施設ができて数年で撤退されたりとか、地域にとって良くないことが起きる。</p> <p>自治体を応援することは、地域のためにもなることである。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

自治体の職員も自分では消費者である。つまり商業施設の善し悪しは自分でも実感できるということである。簡単なことである。たぶん、ホテルも住宅も同じではないか。PPP というと専門的な響きに聞こえるが、そうではなくて、実は簡単なことだということに気づいてほしい。

東洋大学への期待

地域再生支援プログラムは非常によい取り組みである。
地域に自信を持ってもらうことができればよい。

総合評価

A

地域を大切にしている視点を持っている。

整理番号	253
日付	2008年2月5日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	社長
企業・団体名	サービス

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p> <p>指定管理者の提案支援を行うのが本業。PPPの広がりには自社にとってはビジネスチャンスである。最初はPFIから入った。もともとは石油会社で海外企業との合弁の契約書を書いてきた。PFIの制度ができたときに、契約の難しさが問題点とされたが英語での契約になれた自分にとっては、その応用に過ぎなかった。</p> <p>PPPも同じで契約概念をそう深刻にとらえる必要はない。要は必要なことを約束しそれを履行することである。あるいは相手に履行させることである。指定管理者も同じである。地方自治法上は行政処分だが行政が一方向的に破棄できない以上、契約である。PFIと同じ考え方が成り立つ。</p> <p>そのうち自分たちも運営事業者として参加することにした。図書館はその最初の例である。夜10時までの営業、本をできるだけ貸さない方針、ボランティアによる運営など従来の図書館にはなかった発想で話題を呼んでいる。基本はできることを契約していくこと。PPP全体でもこのシンプルな原理を徹底すればそれほど複雑なことはないだろう。</p> <p>次は図書館の運営にも参加したいと考えている。公共サービス型のPPPはまだまだ広がる。大きなビジネスチャンスがある。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

行政も市民もそう簡単には変わらない。だが確実に変わる部分を確実に変えていけばどんどん広がる。図書館も、区が任せてくれているのでできるが、これで区の職員の意識が変わったとは言えない。徐々に変えるのである。

東洋大学への期待

目指す方向が同じである。是非いろいろと一緒に行動させていただきたい。

総合評価

A

アプローチは違うが目指す道は同じ。力強い同志である。

整理番号	254
日付	2008年2月4日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	開発事業本部 統括部長
企業・団体名	電鉄

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに
取り組み上の課題

駅の周辺大改造の構想の相談を受けている。自分たちは鉄道事業者であるとともに、地権者であり商業施設やホテルも運営している。

市との関係は深くいつも相談されているが、民間への期待が大きくて困っているのが実状。駅はインフラであり基本的には市が責任を持って整備するのが基本。特に東西通路は民間事業者にはインセンティブがない。

他の地域のことは分からないが、行政が民間に押しつけるだけでは先に進まないのではないかと思う。

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

行政の意識の変革が必要。

東洋大学への期待

おもしろい教育をされている。

総合評価

B

民間デベロッパーとしての実績がある。

整理番号	255
日付	2008年2月8日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	企画財政部 企画経営室長
企業・団体名	市

<p>現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題</p>
<p>財政的には非常に困っている。来年度公共施設の見直しをするところ。コンサルに依頼して基礎資料を集めている。</p> <p>市民からは必要だという声が出るが、全部を今のまま維持することはできない。どうすれば良いのか教えてほしい。</p> <p>(行政コスト計算書を詳細に算出し、費用対効果を明らかにすれば、必要性の高い低いを市民の視線で議論できることを示唆)</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

市民の意識を変えてもらわないと・・・。

東洋大学への期待

いろいろ教えてください。

総合評価

B

若干他律的。勉強したくないということではないので必要性を丁寧に理解してもらえれば次に進める。

整理番号	256
日付	2007年11月14日
場所	大手町サテライト

氏名	
役職	企画政策部 企画調整担当課長
企業・団体名	市

現状の各機関のPPPへの取り組み方針、取組状況および今後の取り組み予定、並びに取り組み上の課題
<p>市は高齢化が異常な勢いで進んでいる。ニュータウンの造成時に入居してくれた方が団塊の世代でリタイヤする。膨大な高齢世代を抱える。</p> <p>一方では少子化が進んでいる。団塊ジュニアがニュータウンに残っているわけではないからである。今後はさらに深刻になる。現在の課題は遊休化した学校舎の使い方である。校舎を再利用する方策が必要だ。当然、行政側だけではできないので、民間に入ってもらいたい。それをPPPと言っても良いなら、まさに今PPPを必要としていることになる。</p> <p>来年度は是非具体的な検討を進めたい。</p>

我が国におけるPPPの発展可能性に関する意識

この点に関しては特に意見はなかった。

東洋大学への期待

地域再生支援プログラムを申請したので是非お願いしたい。

総合評価

A

理解はしているが今ひとつ積極性に欠ける。